

平成24年11月16日開催

石狩市教育委員会会議（11月定例会）資料

<議案>

- 1 石狩市教育委員会の点検・評価報告書（平成23年度分）について（別冊）

<協議事項>

- 1 平成25年度教育委員会予算要求について（非公開）

<報告事項>

- 1 平成25年石狩市成人式の開催について P 1
- 2 第57回石狩市民文化祭の実施状況について P 2～P 3
- 3 第13回石狩市民図書館まっりの開催結果について P 4
- 4 平成24年度蔵書点検結果について P 5
- 5 平成24年度「いじめ根絶！メッセージコンクール」管内表彰について
. P 6

石 狩 市 教 育 委 員 会



教育委員会の点検・評価報告書
(平成23年度分)

平成24年11月
石狩市教育委員会

目 次

点検及び評価について

- 1 点検及び評価の対象について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- 2 点検及び評価の手法と方針について・・・・・・・・・・・・ P 1
- 3 学識経験者の知見の活用について・・・・・・・・・・・・ P 1

教育委員会の活動状況に関する点検及び評価

- 1 教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
 - (1) 教育委員会会議の状況・・・・・・・・・・・・ P 2
 - (2) 教育委員会会議での審議事項・・・・・・・・・・・・ P 2
 - (3) 教育委員会会議以外の活動状況・・・・・・・・・・・・ P 7
- 2 教育に関する事業の点検及び評価・・・・・・・・・・・・ P 9
 - (1) 施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性（一覧）・・・・ P 10
 - (2) 主要事業の内容（一覧）・・・・・・・・・・・・ P 11
 - 施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性・・・・ P 13～52
 - 平成24年度（23年度実施事業）事業評価シート・・・・ P 53～112

点検及び評価に対する学識経験者による意見について・・・・ P 113～116

資 料

- 資料1 教育委員会委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・ P 117
- 資料2 石狩市教育委員会外部評価委員会設置要綱・・・・・・・・ P 118

点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の改正により、平成20年4月より教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされました。

石狩市教育委員会は、地教行法に基づき、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、平成23年度の教育委員会の活動状況及び主要な施策・事業について、点検・評価を行い、教育に関し学識経験を有する方々による「石狩市教育委員会外部評価委員会」の意見を踏まえ「教育委員会の点検・評価報告書（平成23年度分）」としてまとめました。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 点検及び評価の対象について

平成23年度の教育委員会の活動状況のほか、教育委員会において実施した施策・事業等を対象としています。

2 点検及び評価の手法と方針について

教育委員会会議の開催及び審議の状況など、教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、教育に関する事業を個別に評価し、課題を踏まえ、今後の改善に向けた方針を明らかにしています。

3 学識経験者の知見の活用について

教育委員会の活動状況や教育に関する施策・事業の執行状況の点検・評価の客観性を確保し、今後の取組への活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から、点検及び評価に対する意見や助言をいただき、本報告書に付して報告します。

教育委員会の活動状況に関する点検及び評価

1 教育委員会の活動状況

教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び石狩市教育委員会会議規則に基づき、教育長を含む5人の委員が、主要な教育施策の確立、変更及び実施に関すること、教育委員会規則の制定など、教育に関する様々な議題について審議しています。

それぞれの会議においては、事務局から付議された議案・報告案件及び協議事項・報告事項について、委員相互の入念な審議・協議・意見交換などを経て決定しています。

また、市民が教育行政に関心を持っていただけるよう、平成24年度より石狩市ホームページにて、会議録の公開を開始しています。

※平成22年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員会から、石狩市の教育の一層の充実発展のために、今後も教育委員会の審議内容等の広報を充実するなど、市民が教育行政に関心を持ち、参加意識が高まるような工夫も期待したい旨、意見をいただいたところです。

なお、平成22年4月にスタートした「新教育プラン」は、教育委員会の会議において協議・審議を重ね策定されたものであり、この計画の確実な推進を図るため、様々な教育課題や取組などについて、審議・協議並びに教育現場の視察や関係者との意見交換を重ねてきました。

(1) 教育委員会会議の状況

教育委員会会議については、石狩市教育委員会会議規則第2条第2項の規定に基づき、毎月25日前後の日程で定例会を開催、また同条第3項の規定に基づき、必要に応じて臨時会を開催しています。

平成23年度については、下記のとおり合計15回の会議を開催しました。

また、会議以外に事務局と施策に関する勉強会も随時実施しています。

- ① 定例会 12回（毎月1回）
- ② 臨時会 3回（6月1回・3月2回）

(2) 教育委員会会議での審議事項

教育委員会会議への付議案件は、石狩市教育委員会事務委任規則などに基づく議案等88件でしたが、その内訳は次のとおりです。

- ① 石狩市教育委員会事務委任規則に基づく審議事項 53件
 - ・議決案件 38件
 - ・報告案件 3件

- ・承認案件 1 件
 - ・協議案件 11 件
- ② 同規則に規定されていない教育施策に関わる事業等の報告事項 35 件

③ 付議案件一覧

日 時	付 議 案 件
23. 4. 25	(議案) ・石狩市奨学審議委員会委員の委嘱について ・中学校用教科用図書の共同採択の承認について (承認) (報告事項) ・東日本大震災被災地 (宮城県名取市) への支援について ・東日本大震災により被災した児童生徒の受入れ状況について ・平成22年度いじめ・不登校の状況について ・学校図書館等整備基本方針について ・平成23年度市内小中学校の児童生徒数・学級数について
23. 5. 20	(議案) ・石狩市立学校設置条例の一部改正について ・石狩市奨学審議委員会委員の委嘱について ・石狩市社会教育委員の委嘱について ・平成23年度奨学生の決定について ・異議申立てに対する決定について (協議事項) ・平成23年度教育行政執行方針について ・平成23年度一般会計補正予算 (第2号補正) について ・平成23年度石狩市教育委員会の点検・評価の実施について (報告事項) ・平成23年度市内小中学校の児童生徒数・学級数について ・平成22年度石狩市在住の青少年における不良行為・犯罪行為等について
23. 6. 2 (臨時会)	(議案) ・平成23年度教育行政執行方針について ・平成23年度一般会計補正予算 (第2号補正) について
23. 6. 28	(議案) ・石狩市学校給食センター運営委員の委嘱について ・石狩市立学校管理規則の一部改正について

日 時	付 議 案 件
23. 7. 26	(協議事項) ・平成23年度学校等訪問の実施について (報告事項) ・平成22年度社会教育施設等の利用状況について ・平成23年度石狩市教職員研修「サマーセミナー」について ・平成23年度情操教育プログラム事業について ・平成22年度学校給食費収納状況について ・いじめの把握のためのアンケート調査について (議案) ・招致外国青年就業規則の一部改正について ・教職員の懲戒処分の内申について (協議事項) ・教育委員会の点検・評価（平成22年度分）について (報告事項) ・石狩市外国語指導連絡協議会担当者会議の開催について ・あい風寺子屋事業の実施について ・石狩市教育委員会文化芸術支援制度要綱の一部改正について ・いじめ実態把握調査結果について ・「ジュニア・ライブラリアン養成プログラム」について ・科学の祭典 in 石狩（案）について
23. 8. 30	(議案) ・石狩市立学校施設使用料条例の一部改正について ・平成23年度一般会計補正予算（第3号補正）について ・平成24年度から使用する中学校用教科用図書の採択について ・石狩市学校の体育施設の開放に関する規則の一部改正について ・石狩市文化財保護審議会への諮問について ・教職員の処分について（報告） (協議事項) ・教育委員会の点検・評価（平成22年度分）について (報告事項) ・平成23年度石狩市教職員サマーセミナー実施報告について ・平成23年度「俳句のまち・いしかり」実施報告について
23. 9. 29	(議案) ・石狩市教育委員会委員長の選挙について ・石狩市教育委員会委員長職務代理者の指定について

日 時	付 議 案 件
23. 10. 25	・石狩市立学校管理規則の一部改正について ・教職員の処分の内申について (協議事項) ・教育委員会の点検・評価（平成22年度分）について (報告事項) ・平成23年度石狩市・恩納村中学生交流（派遣）事業について ・第56回（平成23年度）石狩市民文化祭の開催について (議案) ・石狩市教育委員会の点検・評価報告書（平成22年度分）について (報告事項) ・東日本大震災被災地（名取市）への支援について ・第12回（平成23年度）図書館まっりの開催について
23. 11. 22	(議案) ・教職員の処分について（報告） (協議事項) ・平成24年度教育委員会予算要求について (報告事項) ・高等学校生徒遠距離通学費等補助事業の延長及び拡充を求める要望について ・第56回（平成23年度）石狩市民文化祭の実施報告について ・平成24年石狩市成人式の開催について ・平成23年度蔵書点検結果について
23. 12. 20	(議案) ・平成23年度石狩市教育委員会表彰受賞者の決定について ・石狩市文化財保護審議会からの中間答申について（報告） (報告事項) ・「聚富中学校の今後に関する保護者の意見を聴く会」実施報告について ・平成23年度石狩市教職員研修「ウィンターセミナー」について ・第12回石狩市民図書館まっりの実施報告について
24. 1. 31	(議案) ・教職員の処分の内申について (協議事項)

日 時	付 議 案 件
24. 2. 16	・「(仮称)厚田区の学校検討会」について (報告事項) ・平成23年度石狩市教職員研修「ウィンターセミナー」実施報告について ・今後の学校給食の食材調達等について (議案) ・平成23年度一般会計補正予算(第6号補正)について ・平成24年度教育行政執行方針について ・平成24年度一般会計予算について ・石狩市民図書館条例の一部改正について (協議事項) ・聚富中学校の将来の方向性について (報告事項) ・いじめ実態把握調査結果について
24. 3. 14 (臨時会)	(議案) ・石狩市立小中学校の教職員人事異動に係る内申について
24. 3. 21 (臨時会)	(議案) ・教育委員会職員の人事異動について
24. 3. 28	(議案) ・石狩市教育委員会行政組織に関する規則の一部改正について ・石狩市教育委員会職員職名規則の一部改正について ・石狩市教育委員会事務専決規程の一部改正について ・石狩市スクールバス管理運営規程の一部改正について ・石狩市立学校管理規則の一部改正について ・石狩市民図書館条例施行規則の一部改正について ・石狩市民図書館協議会への諮問について ・教職員の処分の内申について (協議事項) ・平成23年度全国学力・学習状況調査問題を活用した北海道における学力等調査の結果分析について (報告事項) ・平成23年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の調査票を活用した石狩市における調査結果の状況について

(3) 教育委員会会議以外の活動状況

教育委員は、教育委員会会議の出席以外に教育委員会を代表した教育関係機関の会議や研修、関連行事への出席などの公務や教育現場への訪問・視察など実態把握を行っています。

また、教育委員会は、市長部局と独立した中立的・専門的な機関ですが、効果的・効率的な行政運営を行うため、市長と教育委員の協議、意見交換などを積極的に行っています。

なお、関係する審議会などとの密接な連携も図っており、平成23年度においては石狩市民図書館協議会委員と意見交換を行い、学校図書館整備方針（平成23年3月策定）に基づく学校図書館整備の具体的な推進を図りました。今後も、地域の教育課題を市民、各種委員等と共有できるような場の充実を図ります。

※平成22年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員会から、社会教育委員との意見交換等を継続するなど、地域の教育課題を市民と教育委員、社会教育委員等が共有できるような場の充実を期待する旨、意見をいただいたところです。なお、平成22年度においては、社会教育委員と意見交換を積極的に行い、「あい風寺子屋事業」などの取組などに活かされました。

その他にも、教育委員間の打合せや事務局職員からの報告・相談への対応及び情報交換など、教育行政や教育委員会会議運営に関わる調整活動も行っています。

平成23年度の主な活動（教育長を除く）は、次のとおりです。

① 各種関係機関等への出席・意見交換や研修活動

北海道都市教育委員会連絡協議会、石狩管内教育委員会協議会の会議や研修会に出席し、文教施策に関わる審議や情報交換等を行っています。

また、市議会への出席や、校長会や各種審議会等との意見交換等を行い、市の教育行政推進に努めています。

- ・石狩管内教育委員会協議会
総会（4月） 部会（4、3月） 研修会（10月）
- ・市議会本会議 定例会（6、9、12、3月） 臨時会（4、5月）
- ・新任校長との交流研修会（6月）
- ・北海道都市教育委員会連絡協議会定例総会（8月）
- ・石狩管内教育委員会委員交流会（10月）
- ・石狩市民図書館協議会委員との意見交換会（11月）
- ・市長と教育委員の懇談（12月）
- ・市町村教育委員会新任委員研修会（2月）

② 教育現場の実態把握等（学校訪問・視察等）

入学式や卒業式のほか、実態把握を目的とした学校訪問、視察等を行っています。

また、情操教育プログラム、あい風寺子屋事業、学び交流センターなど、社会教育施設や各種事業を視察するなどして、実態把握に努めました。

- ・運動会・体育祭（6月）
- ・情操教育プログラム「おしゃべランド」事業視察（6月）

- ・紅南小学校、学び交流センター、北海道星置養護学校石狩紅葉山校舎視察（７月）
- ・厚田区教育関連施設視察（７月）
- ・北海道星置養護学校石狩紅葉山校舎・石狩市学び交流センター合同開所式（７月）
- ・浜益区教育関連施設視察（１０月）
- ・学校給食センター視察 厚田（１０月） 第１、第２（１２月）
- ・あい風寺子屋事業視察（１１月）
- ・いしかりっ子いきいきカルタ大会事業視察（１月）
- ・花川南小学校「放課後学習教室（退職教員等活用事業）」視察（２月）
- ・小中学校卒業式（３月）

③ 各種行事・事業への参加等

市民スポーツまつり、ユネスコ協会事業、文化団体事業など市内のスポーツ・文化関係団体等の教育全般にかかる各種事業や、その他の事業等に参加し、広く自己研鑽に努めています。

- ・石狩ユネスコ協会創立３０周年記念式典（４月）
- ・単Ｐ会長・市教委交流会（６月）
- ・石狩まるごとフェスタ２０１１（８月）
- ・砕氷艦しらせ入港歓迎式等（９月）
- ・市民スポーツまつり（９月）
- ・石狩海岸の自然と保全～保護と活用～（１０月）
- ・ユネスコ絵画展表彰式（１０月）
- ・科学の祭典 in 石狩（１０月）
- ・石狩市社会福祉大会（１１月）
- ・青年主張大会（２月）
- ・東日本大震災追悼「忘れない！３.１１」（３月）
- ・石狩大谷子供劇団「碧い海」（３月）

④ その他の教育行政の運営に関する諸活動

- ・教育関連機関等への要請、調整活動等
- ・教育行政に係る各種団体等との意見交換活動等

⑤ 市民、団体等との意見交換の場への参加

上記のような多様な公務活動のほか、市民への様々な情報発信、市民や関係団体との情報、意見交換を求めているほか、体育協会、文化協会、青年会議所など各種団体の会合や行事にも積極的に参加しているほか、委員自らが自主的な活動を通じて、教育現場の実態把握や、自己研鑽にも努めています。

- ・石狩市新年交礼会（１月）
- ・石狩市文化協会新年交流会（１月）
- ・石狩青年会議所新春交礼会（１月）
- ・いしかり市民カレッジ開校３周年記念交流会（２月）
- ・その他各種団体の会合や行事など

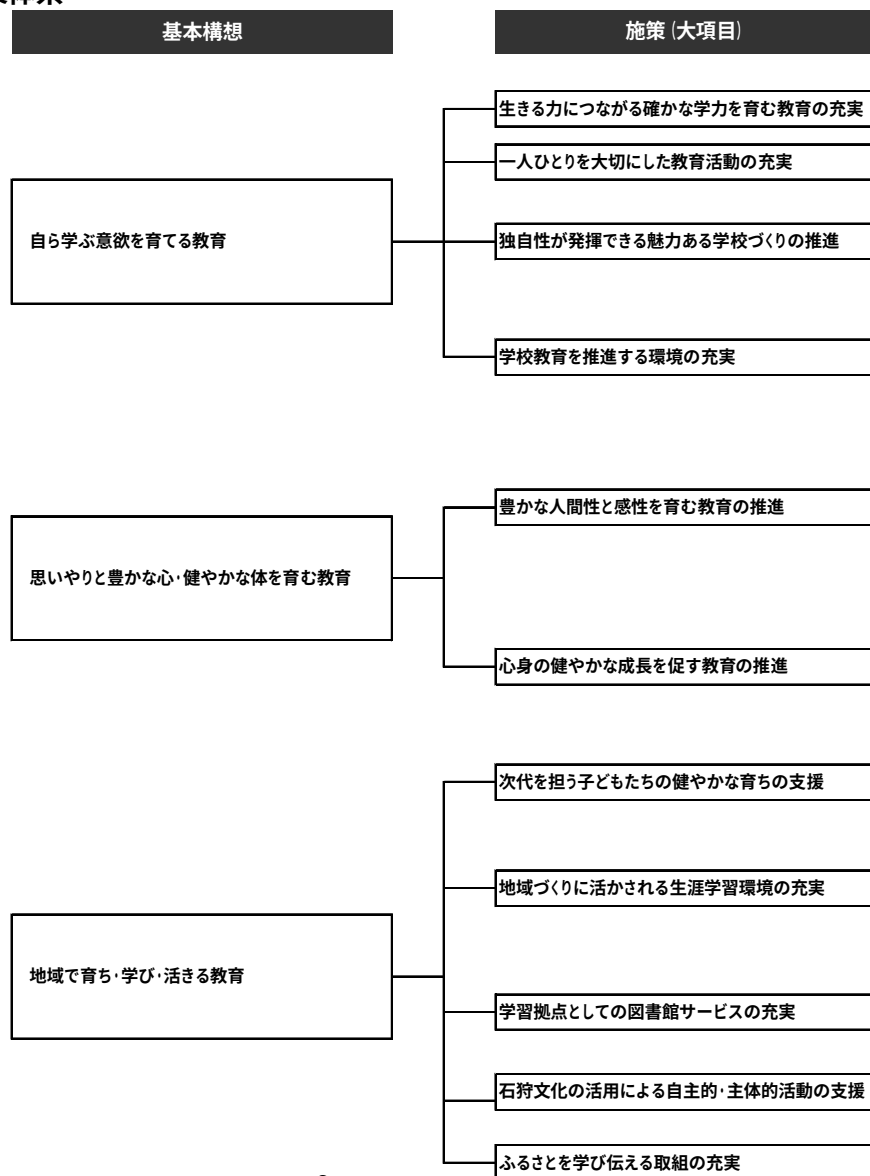
2 教育に関する事業の点検及び評価

教育に関する事業の点検・評価について、石狩市教育委員会では、教育プランの施策体系に基づく施策（大項目）ごとに取組状況を点検し、分析・評価を行っています。また、施策ごとに「石狩市教育委員会外部評価委員会」から、評価・意見・助言などをいただくこととしています。

また、本市の平成23年度実施事業の評価は、各課による1次評価の後、評価対象事業※の一部について石狩市行政評価委員会による外部評価をいただき、評価対象事業の全部についてパブリックコメントによる意見等を踏まえて、2次評価（最終評価）が行われています。本市の教育に関する事業については、事業評価を点検・評価の一環と位置付けて行っているところであり、本報告書では、平成23年度の評価対象事業54事業の内、主要な30事業を教育プランの施策体系と対応するよう抽出し、掲載しています。

※ 全事業のうち、評価対象外事業（法定受託事務や既に廃止された事業など、評価対象として相応でない事業）を除いたもの。

○教育プランの施策体系



(1) 施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性（一覧）

石狩市教育委員会では、教育プランの施策体系に基づく施策（大項目）ごとに取組状況を点検し、分析・評価を行い、今後の方向性を検討しています。

施 策 （ 大 項 目 ）	詳 細 ページ
1 生きる力につながる確かな学力を育む教育の充実	13
2 一人ひとりを大切にした教育活動の充実	16
3 独自性が発揮できる魅力ある学校づくりの推進	18
4 学校教育を推進する環境の充実	21
5 豊かな人間性と感性を育む教育の推進	25
6 心身の健やかな成長を促す教育の推進	32
7 次代を担う子どもたちの健やかな育ちの支援	37
8 地域づくりに活かされる生涯学習環境の充実	40
9 学習拠点としての図書館サービスの充実	44
10 石狩文化の活用による自主的・主体的活動の支援	47
11 ふるさを学び伝える取組の充実	50

※評価結果は13ページから52ページのとおりです。表の「ページ」に該当する施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性を参照してください。

(2) 主要事業の内容（一覧）

平成23年度の教育に関する事業のうち、事業評価を行った主要な事業は次のとおりです。

事業名	新規・継続	詳細ページ
1 学力向上推進事業	継続	53
2 外部指導者活用事業	継続	55
3 英語指導助手招致事業	継続	57
4 子どもの読書推進事業	継続	59
5 読書・学習支援事業	継続	61
6 特別支援教育運営事業	継続	63
7 スクールカウンセラー設置事業	継続	65
8 不登校児童生徒支援事業	継続	67
9 奨励プログラム推進事業	継続	69
10 小中学校施設整備事業	継続	71
11 小中学校教育用コンピュータ整備事業	継続	73
12 教育情報化整備事業	継続	75
13 学校給食事業	継続	77
14 奨学金支給事業	継続	79
15 芸術鑑賞会開催事業	継続	81
16 沖縄県恩納村交流事業	継続	83
17 生徒指導上の諸問題対策事業	継続	85
18 体力・運動能力向上推進事業	継続	87

事業名	新規・継続	詳細 ページ
19 子どもへの暴力防止プログラム事業	継続	89
20 家庭教育支援事業	新規	91
21 石狩市PTA連合会運営支援事業	継続	93
22 生涯学習講座開催事業	継続	95
23 公民館管理運営事業	継続	97
24 図書館運営事業	継続	99
25 石狩市民文化祭開催事業	継続	101
26 石狩市文化協会運営支援事業	継続	103
27 地域創造アトリエ事業	継続	105
28 いしかり砂丘の風資料館管理運営事業	継続	107
29 厚田資料室管理運営事業	継続	109
30 はまます郷土資料館管理運営事業	継続	111

※評価結果は53ページから112ページのとおりです。表の「ページ」に該当する事業評価シートを参照してください。

※新規・継続の欄について、新規とは、当該年度において新たに取り組む事業として、本市の事業評価において事業評価シートが新規に作成された事業であることを表しています。また、継続とは、当該年度以前に既に取り組んでいる事業であり、当該年度以前に事業評価シートが作成されている事業であることを表しています。

教育プラン基本構想 重点テーマ1 自ら学ぶ意欲を育てる教育

施策（大項目）1 生きる力につながる確かな学力を育む教育の充実

●大項目のねらい

子どもたちに自ら学び自ら考え行動する力などの「確かな学力」を育むため、創意ある教育課程の編成・実施、学習指導の工夫・改善等を通じて、子どもたちの学ぶ意欲を高め、「わかる授業」を目指した積極的な授業・指導内容の改善や「楽しい学校」づくりに向けた、学校の主体的な教育活動を推進します。

●平成23年度の実施状況

確かな学力を育む教育活動の推進

- 各学校では、全国学力・学習状況調査やC R T標準学力検査の結果を踏まえ、学校改善プランの見直しを行うとともに、朝読書や授業時間以外の補充的指導を実施したほか、家庭学習習慣や望ましい生活習慣の定着を図るため、家庭へ働きかけをしました。
- 市教委では、全国学力・学習状況調査やC R T標準学力検査結果の分析や各学校の取組に関する指導・助言・相談を実施したほか、特に市小中学校学力向上対策拡大チームを設置し、授業内容の改善、教職員の意識改革、学校自らの積極的な学校改善について議論を重ね、学校に改善を促しました。
- 学校への人的支援としては、S A T（大学生などによる学習指導補助）配置のほか、学力向上サポーター（元教職員による補助指導）を、南線小学校、紅南小学校、厚田小学校、花川中学校に配置し、国語、算数・数学のT Tや教材づくりなどの支援を行いました。
- よりきめ細やかな学習支援のモデル事業としては、退職教員を非常勤補助教員として配置する「エキスパート・サポーター事業」を双葉小学校で実施し、2名のエキスパート・サポーターがシフトを組み、全学級の算数の授業を中心に、T T指導、習熟度別指導、補充指導を行いました。
- 道教委の教職員加配や道外部指導者活用事業などを活用し、T Tや放課後指導者として人材を派遣しました。

○外部指導者及び加配教員配置数

区	H21	H22	H23
S A T	50名(15校)	30名(10校)	41名(10校)
学力向上サポーター (21年度 スーパーS A T)	4名(4校) 延べ約1,400時間	4名(4校) 延べ1,824時間	4名(4校) 延べ981時間
エキスパート・サポーター	—	2名(1校)	2名(1校)
加配教員	25名(14校)	32名(14)	36名(14校)
その他道費外部指導者	4名(3校)	10名(10校)	12名(11校)

- 総務省が実施する「フューチャースクール推進事業」については、全国2ブロック10校の対象校に紅南小学校が選定（平成22年度から3年間）され、タブレットP C、電子黒板等の機器整備、校内無線L A Nの整備がされるとともに、I C T協働教育の実践が図られています。また、市独自事業として、浜益小学校においてもタブレットP C、電子黒板、無線L A N等の整備を行い、I C T活用事業を実施しています。
- 新学習指導要領本格実施に対応するため、平成23年度に小学校（5、6年生）専属のA L Tを招致しました。
- 学校司書については、双葉小学校に続いて南線小学校に司書を配置し、市民図書館とのオンラインネットワークの活用などにより、蔵書の活用、読書指導、調べ学習等の授業支援や教員支援などを行いました。また、平成22年度に策定した学校図書館等整備方針に基づき、市内小中学校図書館の現状を把握し、古くなった蔵書の廃棄と魅力的な蔵書の整備に努めました。

- ・ 司書未配置校については、計画的な図書の購入と巡回文庫（ブックンボックス）により、子ども達が本に触れる機会の増加を図るとともに、学校図書館活性化事業として、八幡小学校で分館職員による読み聞かせ、緑苑台小学校図書館の校内移転など、使いやすい学校図書館作りを進めました。

○巡回文庫（ブックンボックス）の状況

区 分	H21	H22	H2
購入冊数	—	500 冊	520 冊
実施学校数	小 12 中 2	小 12 中 1	小 12 中 3
実施学級数	小 89 中 6	小 117 中 12	小 138 中 19

【関連する主要事業】事業評価シートを参照

学力向上推進事業・外部指導者活用事業・英語指導助手招致事業・
子どもの読書推進事業・読書・学習支援事業・家庭教育支援事業

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

指標の名称	単位	プラン掲載 実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
CRT標準学力検査において、「全観点評定1」の児童の割合（小学校5年国語）	%	—	11	14	↘
同上、生徒の割合（中学校2年国語）	%	—	2	1	↘
CRT標準学力検査において、「全観点評定1」の児童の割合（小学校5年算数）	%	—	22	28	↘
同上、生徒の割合（中学校2年数学）	%	—	14	7	↘

※全観点評定では、区分1とは、「努力を要する」、区分2は「概ね満足」、区分3は「十分満足」を指します。

指標の名称	単位	プラン掲載 実績	実績値		目標値
		H19	H21※	H23	H26
国の図書整備指針による学校図書館図書標準が達成されている小学校数	校	5	3	2	↗
国の図書整備指針による学校図書館図書標準が達成されている中学校数	校	1	3	3	↗

※実績値覧 H21 については、調査が隔年で実施されていることから、平成 21 年度調査の数値を記載しました。

【分析・評価及び今後の方向性】

- ・ 確かな学力の定着に向けた各学校の取組や市教委の支援は、継続的な実施が必要であることから、平成 24 年度以降も学力向上アクションプランや学校改善プランを通して、積極的に推進します。特に、分かりやすい授業づくりや、授業と補充的指導・家庭学習を連続させることにより、学習効果を高めるよう、各学校に働きかけ、道教委で作成しているチャレンジテストの活用などに積極的に取り組むとともに、少人数指導や習熟度別指導の推進に取り組めます。
また、基礎基本を活用する力を育む必要がありますので、新聞や学校図書などを活用して、調べ学習と発表などを組み合わせた授業などの取り組みを推進します。
- ・ 道教委は、平成 26 年度の全国学力・学習状況調査までに学力を全国平均以上にすることを大きな目標として掲げ、その実現に向けてオール北海道で目指す目標へのロードマップを設定して取り組んでいることから、市教委においては、積極的に取り組んでいます。今後、新たな目標などについての検討を進めます。
- ・ 家庭学習習慣の定着のためには、基本的な生活習慣の確立が必要であることから、今後、「生活リズムチェックシート」の活用による生活習慣の定着に向けた啓発の取組を、市 P T A 連合会と連携しながら推進します。
また、ボランティアや退職教員など地域の教育力を活用し、補充学習等による基礎学力の向上と学習習慣の定着へ向けて、学校支援地域本部事業やあい風寺子屋事業を推進します。
- ・ 学力向上対策拡大チームの検討結果や道外視察研修報告では、ノート指導の重要性や I C T 活用の有効性について指摘されていますので、今後ノート指導を効果的に行う実践例の紹介や、I C T 活用の効果的な機器として授業に即活用できる書画カメラの整備を推進します。
- ・ 学校 I C T については、フューチャースクール推進事業（総務省、紅南小学校、H22～H24）の検証を踏まえ、平成 23、24 年度に、「教育情報化推進検討委員会」を開催し、本市の方向性（機器・人員整備等）を定めます。
- ・ 外部指導者については、より安定的な活用や人材確保面の課題等もありますので、今後、教員免許を持つ人材などを中心に学校の改善プラン実践に連動した人材の派遣を進めます。
- ・ 小学校専属の A L T については、平成 23 年度に招致し新学習指導要領本格実施に対応しましたが、平成 24 年度においては、国際社会で必要とされる能力を持つ人材育成のため、小学校 3・4 学年に生きた英語に触れる学習の場を多く取り入れることとし、A L T の 1 名増員を図ります。

=====

※平成 22 年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員から、今後も小学校専属の A L T の招致など様々な学校支援体制の充実を期待したい旨、意見をいただいたところです。

=====

- ・ 学校図書館については、古くなった図書の廃棄を各校で進めたことで、蔵書数が減っていることから、蔵書の充実を図るとともに、今後調べ学習用の資料を中心に購入するほか、巡回文庫（ブックンボックス）の活用を更に推進します。
また、平成 24 年度においては、双葉小・南線小学校に続いて、緑苑台小学校に司書を配置するとともに、八幡小学校に分館職員（司書）を週 2 回派遣、厚田分館と厚田小学校図書館を統合して地域開放するなど、蔵書の充実や学校司書の積極的な配置など、学校図書館の計画的整備に取り組めます。
学校図書館ボランティアについては、各校の状況を把握し、学校図書館機能活性化の検討を進めます。

施策（大項目）2 一人ひとりを大切にした教育活動の充実

●大項目のねらい

障がいのあるなしにかかわらず、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育を行うため、石狩市教育支援センターを設置するとともに、特別支援教育の取組の環境整備を推進します。

●平成23年度の取組状況

特別支援教育の推進

- ・ 石狩市教育支援センターは、開設2年目にあたり、特別支援教育の振興、不登校・いじめ対応などに関わるスタッフの連携を図り、児童生徒・保護者及び教職員への相談・支援体制を充実し、よりきめ細かい対応に努めました。
- ・ 特別支援教育の推進にあたっては、市内小中学校における特別支援教育コーディネーターの配置や学校の実態に合わせた地域コーディネーター（特別支援教育担当）、特別支援教育支援員等の配置などの体制を整備し、特別支援学校との連携を図りながら、支援の必要な児童生徒とその保護者の支援に努めました。
- ・ 特別支援教育支援員については、平成23年度から10名の増員を図り、21名体制にしました。

○特別支援教育関連スタッフの状況

	H21	H22	H23
地域コーディネーター（特別支援教育担当）	7名	6名 ※2	5名 ※4
特別支援教育支援員	8名	11名 ※3	21名 ※5
市特別支援教育コーディネーター	5名 ※1	5名 ※1	5名 ※1

※1 小中教諭3、言語聴覚士1、保育士1

※2 花川小1、南線小2、花川南小1、紅南小1、教育支援センター1

※3 石狩小1、花川小1、花川南小3、紅南小3、緑苑台小3

※4 花川小1、南線小1、紅南小1、双葉小1、教育支援センター1

※5 石狩小1、花川小2、南線小5名、花川南小4、紅南小4、緑苑台小3、双葉小2

【関連する主要事業】事業評価シートを参照

特別支援教育運営事業、スクールカウンセラー設置事業、不登校児童生徒支援事業

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

指標の名称	単位	プラン掲載 実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
市主催教職員研修において、特別支援教育関連講座に参加した小中学校数	校	16	20	19	21

【分析・評価及び今後の方向性】

- ・ 教育支援センター設置によるスタッフの集中化や連携体制の強化により、きめ細やかな支援を図りましたが、スタッフ数は必ずしも十分でないことから、今後は、業務分担等の工夫を図りながら支援をします。
特別支援教育支援員の配置については、平成 23 年度から 10 名の増員を図り、21 名体制にしましたが、今後は、各小学校（1 学年）における支援の必要な児童を有する学級の支援に極めて有効であり、地域コーディネーター（特別支援教育担当）の配置もあわせて検討し、より学校事情に合った配置が可能となるよう取り組みます。

※平成 22 年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員会から、今後も特別支援教育支援員の配置などの効果を検証しながら、更なる取組の充実を期待する旨、意見をいただいたところです。

- ・ 身近な地域で障がいのある子ども一人ひとりの教育ニーズに応じた、専門性の高い指導・支援が受けられる体制が求められていた中で、平成 23 年度に星置養護学校石狩紅葉山校舎が開設されたことは、児童生徒や保護者をはじめ、関係者の念願が実現しました。
今後は、障がいのある子どもが、地域の中で幼児期から就労までの一貫した支援を受けられるよう、小学部・中学部に加え高等部の設置が強く望まれていますので、引き続きその設置に向けて、関係団体等と協議しながら取り組みます。

施策（大項目）3 独自性が発揮できる魅力ある学校づくりの推進

●大項目のねらい

現在の学校教育が抱える課題の多くは、学校のみならず地域社会と一体となって解決することが求められています。そのような課題に対して、教職員が一体となり、地域とともに魅力ある学校づくりを進める学校独自の取組の充実を推進します。

●平成23年度の取組状況

教職員の主体的な研究・研修活動の推進

- 石狩市教職員サマーセミナーについては、7月26日～29日、8月2日までの5日間の日程で実施し、計10講座で延べ364人の教職員が参加しました。（実人数は309人の参加）
例年実施している特別支援教育に関する講座に加え、平成23年度から小学校において、新学習指導要領がスタートしたことに伴う外国語活動講座のほか、学校図書館の有効活用に関する講座など、その充実に努めました。
なお、実施にあたっては、東日本大震災からの教訓、今日におけるケータイとネット事情など日々変化している出来事をテーマとした講座、実際に学力日本一の秋田を訪問し、秋田の教育から感じたものをテーマとした講座（学力向上策）のほか、先生のためのコーチングスキル（児童生徒との双方向のコミュニケーション）など、現場で実践しやすいものを重点的に選定し、ミニトマト収穫体験（食育）や地元の石狩湾新港を学ぶフィールドワークなど参加しやすく、総合学習にも生かせるよう、参加しやすいテーマの設定に工夫を凝らしました。
また、新たに、1月10日に「ウインターセミナー」を開催し、教員歴2年から9年の職員を対象に、よりよい学級経営を行うために必要な専門的な知識や実践力を養うための研修を小学校、中学校別を実施し、1講座55人の教員が参加しました。
- ICTに関連しましては、9月7日に、実物投影機の授業における有効な活用方法について研修を実施し、67人の教員が参加しました。
- 石狩市教育振興会は、研究集会の開催・各校通知票及び評価方法検討・新教育課程編成に向けての交流・進路指導の研究・小学校社会科副読本の研究・創意工夫展の開催・生徒指導の研究・教育機器の研究・へき地教育の研究・中文連行の開催・市内小学校文集製作・小中学校図工作品展開催などの活動を行っており、その経費の一部を助成しました。

教育課題に積極的に挑戦する学校づくりの推進

- 学校改善プランの作成・改訂・実践を通し、学校運営の改善を推進するとともに、学校自己評価・関係者評価などにおいても学校運営を検証しました。
また、教育委員会によるヒアリングでも、実施状況を確認するとともに、積極的な学校運営の改善を促しました。
- 各学校で特色ある教育活動に加え、総合的な学習の時間などで環境教育・人権教育・平和教育・国際理解教育を実践できるよう「学校奨励プログラム」に位置づけ、その活動費を交付するなど、取組を推進しました。（環境教育 18校、人権教育 10校、平和教育 8校、国際理解教育 14校）
- 幼・保・小・中連携教育については、平成18年度から中学校区ごとに連携した取組を進めていますが、平成23年度については、重点テーマとして「進学への不安を取り除き、早く学校生活に慣れさせるための取組」（中1ギャップ対策）、「園児が学校生活への順応をスムーズに図られるための取組」（小1プロブレム対応）及び「学びの連続を高め、学力の向上を促進させるための取組」（学力向上対策）を推進しました。モデル地区の設定なども進め、小中間でのCRT標準学力検査結果情報の共有、参観日交流、小学生への部活動公開、中学校教員の小学校への出前授業など、様々な取組を行いました。

- ・ 学校間の情報交換の場として、学校教育推進会議（４月）及び連携教育交流会（１２月）を開催しました。

地域とともに歩む学校づくりの推進

- ・ 学校評価結果や教育活動の状況については、保護者などに広く情報提供するために学校ホームページの開設を推進し、平成 22 年度中に全校で学校ホームページが開設され、平成 23 年度は継続して更新の指導を行いました。
- ・ 学校と家庭や地域の団体などが連携し、地域のボランティアを中心に登下校時などにパトロールや見守りなどを行う「スクールガード」、「声かけ運動」の活動などを通して、地域全体で学校安全に取り組む体制を整備し、子どもたちが安心して生活できる地域づくりを図りました。
（平成 23 年度 実施学校数 11 校、ボランティア数 600 名程度）
- ・ 地域住民の学校教育活動への参加の取組としては、地域 SAT（10 名）、中学校部活動外部指導者（6 名）、学校支援地域ボランティア（延べ 419 名）の活動が行われました。

【関連する主要事業】 事業評価シートを参照
奨励プログラム推進事業・外部指導者活用事業

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
小中学校全教職員のうち、市主催の教職員研修に参加した割合	%	71	71	75	80

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
「奨励プログラム」に取り組んだ小中学校数	校	12	19	20	21

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
教育活動の情報について、ホームページを開設して情報提供している小学校の割合	%	50.0	100	100	100
教育活動の情報について、ホームページを開設して情報提供している中学校の割合	%	37.5	100	100	100

【分析・評価及び今後の方向性】

- 石狩市教職員サマーセミナーについては、平成 23 年度では、従来の特別支援教育に関する講座に加え、平成 23 年度から小学校において新学習指導要領がスタートしたことに伴い、外国語活動や学校図書館の有効活用に関する講座の充実を図りましたが、今後においては、引き続き災害への的確な対応、今日におけるケータイとネット事情など日々変化している出来事をテーマとした講座、ＩＣＴ機器の授業での利活用方法、先生のためのコーチングスキル（児童生徒との双方向のコミュニケーション）など、今日的なテーマを内容とする研修の充実に取り組みます。

※平成 22 年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員会から、研修参加率の向上を目指し、受講者の意見を聴くなど、事業の分析評価を行い、次年度の事業計画に反映させるなどの取組を今後も継続していくことを期待する旨、意見をいただいたところです。

- 奨励プログラムについては、今後も限られた総合学習の時間の中で学校の特色ある教育活動とのバランスをとりつつ、交付金の配分などを考慮しながら全校で積極的な取組が図られるよう推進します。
- 幼・保・小・中連携教育の推進については、中学校区ごとの独自の取組に加え、市教委が提示した 3 つの重点テーマ（「進学への不安を取り除き、早く学校生活に慣れさせるための取組」、「園児が学校生活への順応をスムーズに図られるための取組」、「学びの連続を高め、学力の向上を促進させるための取組」）を意識した活動が進められましたが、平成 24 年度においては、重点テーマについて、より学力向上に資する取組として、「中学校教員による出前授業」「ＣＲＴ結果等の学力情報交流」「入学前の丁寧な引き継ぎ」及び「春休み学習帳（中学入学準備）」を推進します。
- 学校間の情報交換の場については、学校教育推進会議などの各種会議のほか、学校ホームページの情報活用も含め、継続的に推進します。
- 学校ホームページの有効活用のため、必要な情報を迅速かつ的確に提供するよう、平成 24 年度より最低月 1 回ホームページを更新することを目標とし、学校自己評価シートに位置付けます。
- 「スクールガード」・「声かけ運動」については、登下校時など学校や子どもたちだけで身を守ることに限界もあり、地域の子どもたちは地域で育て、守り、子どもたちが安心して生活できる環境を整えることが必要です。不審者の発生件数にあまり変化はないものの、大きな事件が起きていないことから、地域の人たちによる見守りが定着してきた成果とも分析されます。一方、学校区によって活動に温度差があることから、市内全域で学校と地域が一体となって活動を行っていただけるよう働きかけます。
- 地元にある藤女子大学の学生や地域の方々による SAT 活動、読み聞かせ活動、中学校部活動指導などについては地域の教育力を活用した有効的な手段であることから、平成 24 年度以降も積極的に展開します。学校支援地域本部事業にかかる学校支援地域ボランティアは、学校ニーズの掘り起こしと地域との連携が深められたことにより増加しており、これまで花川北中学校区で行われてきた学校支援ボランティア活動、花川南小学校で実施したあい風寺子屋事業や、放課後こども教室を活用した放課後の学習支援などの取組に、保護者の方々から大きな期待が寄せられていることから、今後更なる充実に向けて取り組みます。

施策（大項目） 4 学校教育を推進する環境の充実

●大項目のねらい

児童生徒が多く時間を過ごす学校の環境は、子どもの健全な成長にとって大きな影響を与えます。少子高齢化等の影響により、学校を取り巻く環境が大きく変化してきていると同時に、学校の安全安心の重要性がクローズアップされており、これらに対応する必要があります。そのような中、子どもたちが安心して学べるような良好な環境の中で学習することができるよう、学校教育にかかわる環境整備を進めます。

●平成 23 年度の取組状況

学校施設・設備の整備・充実

- ・ 学校施設改修については、花川小・石狩小・石狩中・花川南中の玄関のオートロック化、地デジ化に伴う紅南小・花川中の電波障害対策アンテナ等の撤去、花川南小プールの濾過装置改修、浜益中移転に伴うテレビ・LAN配線・グラウンド整備等の改修などを行い、教育環境の整備を図りました。
- ・ 地域の熱供給事業廃止に伴う花川中・花川北中・双葉小の暖房設備改修、緑苑台小の増築、花川北中の大規模改修工事や、石狩中屋体の大規模改修に係る実施設計を行いました。
- ・ 新学習指導要領の実施に向け、中学校保健体育の武道やソフトボールの用具など、教具教材の整備を図りました。
- ・ 石狩中の教育用パソコンの更新を行うとともに、平成 22 年度に引き続き、教職員用パソコン（不足分）を配置しました。
- ・ 車両更新スケジュールに基づき、スクールバス（大型 66 人乗り）1 台を更新しました。

安全な学校づくりを目指した環境の整備

- ・ 耐震補強工事は、厚田小屋体・浜益小屋体・花川北中校舎・屋体を実施したほか、また、石狩中屋体の耐震化及び校舎棟の非常用階段改修に係る実施設計を行いました。
- ・ 教職員用パソコンの整備などを受け、学校情報セキュリティ委員会などを中心に、各学校における学校情報機器セキュリティマニュアルの適切な運用を推進しました。
- ・ 道教委が示した「学校における危機管理の手引（改訂版）」や「学校安全推進資料」などを参考に、緊急対応（危機管理）マニュアルの見直し、避難経路の再チェックを全校で行いました。
3.11 東日本大震災により、新たに津波に対する避難訓練を実施した学校は、小学校では 13 校中 9 校、中学校では 8 校中 5 校でした。
なお、不審者対応訓練は、中学校では減少傾向です。

就学に関する経済的な支援の充実

- ・ 児童生徒が安心して学習活動ができるよう、各種制度に基づき、要保護・準要保護就学援助（1,474 人）・奨学金（50 人）・特別支援教育就学奨励金（61 人）を支給し、児童生徒の保護者に対する経済的支援を行いました。

安全・安心な学校給食の充実

- ・ 給食用の温食缶等の購入など食器具の充実を図りました。

- 給食施設の改修等については、第2給食センターでは、手洗器の修繕や、物品庫・風除室を改修し、厚田給食センターでは、調理室床フロアを修繕するなど、衛生的な調理環境の整備を図りました。
また、第1給食センターでは、食品の安全確保と作業効率を高めるため、冷蔵庫・冷凍庫を更新しました。
- 地産地消等については、9、10月に石狩でとれる農産物を多く使用した給食メニューを取り入れる「石狩デー」を実施したほか、厚田産たこを使った「厚田たこかま揚げ」や、しそを使い「厚田しそプレート」、石狩産小麦で「うどん」を提供するなど、地元の農水産物を使った給食メニューの充実を図りました。

【関連する主要事業】事業評価シートを参照

小中学校施設整備事業・小中学校教育用コンピュータ整備事業・教育情報化整備事業・学校給食事業・奨学金支給事業

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H19	H22	H23	H26
小中学校の教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数	人	7.7	7.8	7.8	3.6

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H19	H22	H23	H26
小中学校の職員用コンピュータ1台当たりの職員数	人	19.8	1.1	1.0	1.0

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H21	H22	H23	H26
耐震補強が未完了な小中学校数 (耐震診断の結果、耐震補強が必要と判断された学校数の内、耐震補強工事未完了の学校数)	校	4	6	4	0

※平成21年度については平成21年12月末現在、平成22年度以降については各年度末の数値を記載しました。

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
緊急対応マニュアルを作成している小学校の割合	%	42.9	100	100	100
防災訓練を実施している小学校の割合	%		100	100	
不審者対応訓練を実施している小学校の割合	%		76.9	84.0	
緊急対応マニュアルを作成している中学校の割合	%	0.0	100	100	100
防災訓練を実施している中学校の割合	%		100	100	
不審者対応訓練を実施している中学校の割合	%		62.5	50.0	

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
学校情報機器セキュリティマニュアルを運用している小中学校の割合	%	0	100	100	100

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
子育てに関し経済的に不安に思う割合	%	72.4	72.0	68.4	↘

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H19	H22	H23	H26
学校給食における石狩産食材の使用状況(米・野菜の全使用量に対する地場産数量の割合)	%	38.7	40.4	45.7	45

【分析・評価及び今後の方向性】

- 学校施設の耐震化については、文部科学省の定める「公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針」に基づき、平成 27 年度末までのできるだけ早い時期に完了できるよう、引き続き計画的に取り組めます。

※平成 22 年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員会から、防災対策をはじめとした安全な学校づくりに向け、学校施設の耐震化を、今後とも計画的に進めることを期待する旨、意見をいただいたところです。

- 厚田区の良い教育環境づくりを進めるため、厚田区の学校のあり方及び聚富中学校の複式化問題について、地域の理解を深め今後の方向性を見出すよう、検討会の開催や意見交換会を開催します。

- ・ スクールバスについては、通学が困難な地域の遠距離通学児童・生徒の支援として円滑かつ安全な運行体制を確保するため、計画的な更新が必要なことから、平成 24 年度についてもマイクロバス 1 台を更新します。
- ・ 防災に関する学習や避難訓練については、子どもたちが「生きる力」を身につけるため、大変重要なことから、各校の緊急対応（危機管理）マニュアルの見直しのほか、津波を含む災害発生時の避難経路や緊急時の対応の確認などについて、迅速に取り組みます。

※平成 22 年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員会から、防災対策をはじめとした安全な学校づくりに向け、緊急時の対応マニュアルが着実に実施されることを期待する旨、意見をいただいたところです。

- ・ 就学援助については、検討の結果、平成 24 年度から新たに P T A 会費を援助項目に追加できるよう取り組みます。
- ・ 学校給食については、東日本震災後、食材の放射能汚染が懸念される中、安全性を確保するため地元石狩産、道内産などを中心に納入業者の協力を得ながら調達を行っていましたが。今後は、1 年を通して地元産が使用できるよう関係機関の協力を得て、より一層地産地消を図り、安全・安心な給食の提供に努めます。

教育プラン基本構想 重点テーマ2 思いやりと豊かな心・健やかな体を育む教育

施策（大項目）5 豊かな人間性と感性を育む教育の推進

●大項目のねらい

「確かな学力」や「健やかな体」とあわせ、「豊かな心」を育むにあたり、その出発点となる家庭の役割の重要性を市民全体でしっかり理解し、市民ぐるみの取組が進められるよう、体制の整備を進めます。

学校においても「心の教育」、「情操教育」、「豊かな感性」、「コミュニケーション能力」を育む教育活動を推進するとともに、いじめ等の問題行動・不登校などに対し、一人ひとりを大切にした支援を行う体制の充実を図ります。

また、子どもが言葉を身につけ、感性を磨き、表現力を高めるために欠くことのできない読書活動を推進するため、すべての子どもがあらゆる機会と場において、本に興味、関心を持ち、読書活動を行うことができるよう、環境の整備を図ります。

●平成23年度の取組状況

豊かな人間性を育む教育活動の推進

- 市内小中学生を対象に、音楽朗読劇や幅広い音楽ジャンルの鑑賞、演奏体験などの機会を提供する情操教育プログラムを実施しました。

○情操教育プログラムの実施状況

区分(対象)	実施校(実施日)	内 容
スタートプログラム (全小学校)	全小学校 (6/21,6/23,6/24,6/29, 7/1)	情操を育む事業として、高い芸術性と臨場感あふれた本市オリジナルの参加体験型プログラム「おしゃべランド」を、アートウォームで開催しました。 音楽朗読劇のほかに、ものの見方の視点を変えていくことの大切さを伝える「くるりんぱ」や、世界の教育環境に恵まれない子どもたちの存在を学ぶ、ユネスコ世界寺子屋運動のお話など、「おしゃべランド」ならではの世界を子どもたちに提供しました。
セカンドプログラム (中学校1年)	花川南中学校 (3/21)	試行実施している“The music”では、中学生が即興（アドリブ）、掛け合いなどの特長を持つ「ジャズ音楽」を鑑賞するとともに、演奏者とのコラボレーションによる、「パーカッションの演奏体験（セッション）」では、コミュニケーション能力の大切さや、会場全体の一体感を共有し、「その場で、その瞬間に生まれるジャズ音楽」の素晴らしさ、感動を体験する機会を提供しました。
あい風コンサート (小学校全学年)	7校※1 (5/10,7/6,8/22,8/30, 9/1,10/5,11/11)	子どもたちが様々な楽器・ジャンルによる生の演奏を鑑賞するとともに、楽器の構造や由来、歴史等を学ぶ機会を、保護者・地域住民も参加できる方式で提供しました。
美術館へ行こう (中学校1年)	5校※2 (6/7,9/17,10/24,10/25, 10/31,12/8,12/9,12/12)	思いやりと豊かな心・健やかな体を育む教育の関連事業として、市内唯一の美術館である石狩美術館において、貴重な美術・芸術作品を鑑賞する機会を提供しました。

※1 望来小、生振小、石狩小、八幡小、厚田小、聚富小中、浜益小

※2 石狩中、花川中、花川南中、樽川中、浜益中

- 道徳教育については、各学校の道徳教育推進教師などが中心となり、8割以上の学校で「心のノート」が活用されたとともに、道徳授業を保護者に公開するなど、その充実を図りました。

- 子どもたちが文化芸術に触れる機会の充実を図る取組として、情操教育プログラムに加え、札幌広域圏組合が行うK i t a r aジュニアコンサート（主に小学 6 年生対象）に 8 校が参加したほか、「俳句のまち - いしかり事業」では、子どもの部（市内小中学生対象）で 2,030 作品の応募があり、子どもたちが文化芸術に触れる機会となりました。また、石狩ユネスコ協会の「わたしの町のたからもの絵画展」への参加についても奨励しました。

○関係事業の実施状況

事業名	参加者数等					
	H21		H22		H23	
札幌広域圏組合ジュニアコンサート（H23.6.28）	小 8 校	492 名	小 11 校	432 名	小 8 校	279 名
「俳句のまち - いしかり事業」	小 9 校	641 名	小 9 校	902 名	小 13 校	1,339 名
子どもの部（H23.5～7 月）	中 6 校	302 名	中 6 校	369 名	中 8 校	691 名

◆札幌広域圏組合

札幌市・江別市・千歳市・恵庭市・北広島市・石狩市・当別町・新篠津村の石狩管内 8 市町村によって構成される特別地方公共団体で、共同ソフト事業を中心に、圏域にまたがる政策推進に取り組んでいます。

- 【18 ページの再掲】各学校で特色ある教育活動に加え、総合的な学習の時間などで環境教育・人権教育・平和教育・国際理解教育を実践できるよう「学校奨励プログラム」に位置づけ、その活動費を交付するなど、取組を推進しました。
（環境教育 18 校、人権教育 10 校、平和教育 8 校、国際理解教育 14 校）
- 沖縄県恩納村交流事業（平成 3 年より開始し、隔年訪問は 11 回目）では、10 月に石狩の中学生 16 名が恩納村を訪れ、安富祖小中学校の生徒と交流（文化交流、学校給食体験など）や珊瑚植え付け体験、民泊などを行いました。
- 職業体験学習では、中学校 8 校の生徒延べ 723 名が、市内の事業所などで職業体験学習をしました。

○平成 23 年度職業体験学習の実施状況

学校名	実施学年	人数	実施日	日数	備 考
石狩中	2 年	29	10 月 17 日～18 日	2	11 事業所
花川中	3 年	133	8 月 24 日～25 日	2	30 事業所
花川南中	2 年	95	10 月 19 日	1	34 事業所（新規 3）
花川北中	2 年	95	10 月 25 日	1	22 事業所 2 事業所
	特支	8	11 月 10 日～11 日	2	
樽川中	2 年	164	10 月 13 日～14 日	2	43 事業所
	3 年	143	8 月 22 日～23 日	2	
厚田中	2 年	7	7 月 14 日～15 日	2	7 事業所
	3 年	9	7 月 14 日～15 日	2	
聚富中	1 年	8	7 月 22 日	1	10 事業所（新規 2）
	2 年	10	7 月 22 日	1	
	3 年	10	7 月 22 日	1	
浜益中	2 年	12	10 月 28 日	1	5 事業所（新規 3）

- ・ パートナースクール事業では、市の豊かな地域資源を活用し、異なる環境における様々な体験活動や学習等を通して、浜益地区・厚田地区の学校と旧石狩地区の学校で相互に交流することを目的に、パートナースクール事業を実施し、花川小学校と厚田小学校、双葉小学校と望来小学校、石狩小学校と浜益小学校、緑苑台小学校と聚富小学校の児童が様々な交流を展開しました。

○平成23年度パートナースクールの実施概要

パートナー校 →			実施月日	事業概要
1	花川小	厚田小	7月21日	ウォークラリー
	厚田小	花川小	11月24日	全校集会、合同授業（国・総・体）
2	双葉小	望来小	8月23日	砂浜ドッジボール、水遊び
	望来小	双葉小	9月13日	合同授業（国・社・算・理・音・体）
3	石狩小	浜益小	7月21日	さくらんぼ狩り
	浜益小	石狩小	10月13日	協働学習（国・体）
4	緑苑台小	聚富小	9月13日	収穫体験
	聚富小	緑苑台小	11月24日	合同授業（体・音）

子どもの読書活動の推進

- ・ 幼少期の子どもの読書活動推進については、10ヶ月健診の会場で絵本パックを配付し、本を通した親子のふれあいを支援する「ブックスタート事業」、1歳6ヶ月健診の会場で読み聞かせを行う「ブックスタートフォローアップ」を実施したほか、「あかちゃんと絵本のへや」を図書館で開催し、乳児とその親への読み聞かせ等を行うなど、家庭での読書活動を働きかける取組を実施しました。

○子どもの読書活動推進に係る市民図書館の事業

事業名	回数	内容
ブックスタート	月1回	乳児健診（10ヶ月児対象）会場において、保健師、ボランティア、図書館司書連携のもと、乳児の健診と併せて、ボランティアが絵本の読み聞かせを行い、図書館司書が赤ちゃんと保護者の方一人ひとりに、「乳児へのことばかけ」の重要性を説明しながらブックスタートパックを手渡しました。 （H23年度のパック配付数 379セット [H22年度 386セット]）
ブックスタートフォローアップ	月1回	上記のフォローアップとして1歳6ヶ月健診の会場で読み聞かせを行いました。 （H23年度のブック配付数 11セット [H22年度 2セット]）
あかちゃんと絵本のへや	月1回	市民図書館（おはなしのたまご）を会場に親子での参加を想定し、職員が乳幼児向けの絵本を紹介しました。 （H23年度の参加者数 50人 [H22年度 116人]）

- ・ 学校図書館活性化事業としては、八幡小学校で分館職員が読み聞かせを実施したほか、緑苑台小学校図書館の移転など、魅力的な図書館づくりを進めました。
- ・ 巡回文庫（ブックンボックス）は、15校に実施し、学級貸出の拡充を図りました。
- ・ ジュニア・ライブラリアン養成プログラムは、子ども未来館との連携により、小中学生の読書リーダー養成を実施（全9回）し、12人が参加しました。
- ・ 市民図書館の利用方法や調べ方について、ガイダンスを15校で実施したほか、職業体験（カウンター・本の修理・配架等）を5校から受け入れました。
- ・ 花川南小学校でブックトークを実施したほか、花川中学校で朗読を実施し、学校での読書活動の支援を行いました。

- ・ 子どもの読書週間においては、全小中学校で朝読、読み聞かせ、啓発活動など読書活動を推進しました。
- ・ 市民図書館では、ヤングコレクションの充実を図るとともに、こどもの読書週間にあわせた特別事業として、一日中おはなし会、特集展示等を行い、小・中・高校期の読書活動を推進しました。

問題を抱える児童生徒とその保護者への支援体制の充実

- ・ 教育支援教室「ふらっとくらぶ」を年間238日開設し、不登校児童生徒の通級を促しました。市内不登校児童生徒の2割程度にあたる13名が通級しており、通級児童生徒の学校復帰、社会的自立に向けた支援を行いました。平成23年度においては、これまでの学習支援や生徒同士の交流活動のほか、生徒や保護者との関係づくりを目的とした訪問支援活動も行いました。
- ・ 不登校児童生徒への支援と支援体制の充実を図り、恵庭市、北広島市、千歳市と、ミニバレーを通した子どもたちの交流や支援スタッフの情報交換など、他の自治体との連携した取り組みを行いました。
- ・ 問題を抱える児童生徒とその保護者への支援の取組については、家庭訪問、学校訪問、相談対応などを教育支援センターのスタッフが行いました。
- ・ 市内全中学校へのスクールカウンセラーの配置（道費4名、市費1名で、週1・2回、1校あたり35日程度）を行い、児童生徒・保護者の相談対応、不登校児童生徒への家庭訪問を実施しました。
- ・ 平成19年度から設置している「いじめ通報ホットライン」は、平成22年度より教育支援センターに移し、専門的な知識を持つスタッフや相談員が平日の9時から16時まで電話対応をしました。
- ・ 相談員、支援センター配置職員により、（週2回、1日2時間程度）インターネットパトロールを実施しました。
- ・ 花川北中・樽川中・厚田小・南線小・紅南小では、Q-U検査を実施することで、いじめなどの人間関係に関する問題の早期発見を図りました。

◆Q-U（検査）

Questionnaire-Utilities(楽しい学校生活を送るためのアンケート)の略。学級集団の状態や、子ども一人ひとりの意欲・満足感などを測定できることから、学級経営のための有効な資料が得られるとともに、いじめなどの問題行動の予防と対策に活用できると言われています。

【関連する主要事業】事業評価シートを参照

芸術鑑賞会開催事業・沖縄県恩納村交流事業・生徒指導上の諸問題対策事業・子どもの読書推進事業・読書・学習支援事業・スクールカウンセラー設置事業・不登校児童生徒支援事業・奨励プログラム推進事業

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
情操教育プログラム参加者のうち、プログラムに感動した児童生徒の割合	%	—	95.9	97.0	↗

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
1年間に体験活動に参加した児童生徒の延べ人数	人	—	6,788	7,233	↗

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
「朝の読書」等の一斉読書の時間を設けている小学校数	校	13	13	13	13
「朝の読書」等の一斉読書の時間を設けている中学校数	校	5	6	8	8

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
「読書が好き」と回答した児童の割合	%	70.2	72.7	74.9	↗
「読書が好き」と回答した生徒の割合	%	69.6	66.9	67.6	↗

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
巡回文庫による貸出点数	点	5,200	7,605	10,270	7,800

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
不登校児童数の割合	%	0.24	0.38	0.35	↘
不登校生徒数の割合	%	3.76	2.78	3.12	↘

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
小学校いじめの件数(認知件数)	件	113	34	27	↘
中学校いじめの件数(認知件数)	件	92	43	17	↘

【分析・評価及び今後の方向性】

- ・ 情操教育プログラムについては、「おしゃべランド」に参加にした児童の 97%が面白かったとアンケートで答えており、子どもたちの情操（芸術などに触れ感動する心）や豊かな感性、コミュニケーション能力を育み、協調性の大切さを学び、音楽が持つ可能性や素晴らしさを再認識してもらう事業として、今後も継続します。なお、実施時期については、会場室温やスクールバス運行などを考慮し 6 月に開催します。
- ・ セカンドプログラム“ The music ”については、参加者全体の 95%が「感動した」と回答しており、「おしゃべランド」と同様の効果があるものと分析しています。
 なお、平成 23 年度は、実施校の希望により、実施校体育館にて行いましたが、今後においても、実施校における日程確保面も考慮しながら実施時期や会場など検討します。
 更に、中学生に対して平成 23 年度は、世界的に貴重な美術・芸術作品に触れる機会を提供するため、石狩美術館の鑑賞“美術館へ行こう”を実施し、90%の参加者が「楽しかった・面白かった」と、アンケートで回答しており、一定の効果があったものと分析しています。
 しかし、石狩美術館が、平成 23 年 12 月をもって閉館となったことから、平成 24 年度は、その代替策を含め検討します。
- ・ 道徳教育については、各学校の道徳教育推進教師などが中心となり、平成 23 年度に一定の取組がなされたことから、今後も様々な場面を通じて更なる取組を働きかけます。
- ・ 「俳句のまち - いしかり事業」については、子どもたちが芸術に触れる機会のひとつとして、引き続き実施します。
- ・ 【20ページの再掲】奨励プログラムについては、今後も限られた総合学習の時間の中で学校の特色ある教育活動とのバランスをとりつつ、交付金の配分などを考慮しながら全校で積極的な取組が図られるよう推進します。
- ・ 沖縄県恩納村交流事業については、中学生に、異なる生活・文化・習慣等を理解する機会を提供し、社会性を養うという意味で有効な事業であることから、今後も継続して実施します。
 また、平成 23 年度においては、参加者への補助を増額し、経費負担の軽減を図りましたが、引き続き、実施方法などを工夫しながら、生徒が参加しやすい環境を整えます。
- ・ パートナースクールについては、小規模校の児童が大規模校での生活を体験し、都市部の児童が豊かな自然を活かした学習を体験できるとともに、浜益小学校と紅南小学校での ICT も活用した交流など、市内の学校間の交流を図る有効な事業であり、今後も推進します。
- ・ ブックンボックスについては、中学校向けの内容を充実させたことで新たに 1 中学校から申込みがあったほか、小規模校から配本回数を増やしてほしいとの意見もありますので、内容と合わせて見直すとともに、司書未配置校への効果的な支援として 24 年度も引き続き蔵書の充実を図ります。
- ・ ジュニア・ライブラリアン養成プログラムのノウハウを活かし、各小中学校の図書委員会活動が活性化する支援プログラムを検討します。

- ・ 学校図書館ボランティアについては、各校の状況を把握し、学校図書館機能活性化の検討を進めます。
- ・ 学校図書館に司書を配置することで、子どもが本に親しむきっかけとなり、貸出冊数も増えているので、平成 24 年度も継続（配置：緑苑台小、派遣：八幡小、分館との統合：厚田小）するとともに、司書未配置校への支援をメニュー化し、学校図書館の活性化を図ります。
- ・ 「家読」については、親子のコミュニケーションに有効なことから、平成 24 年度は、南線小学校・八幡小学校において冬休み中の実施を検討します。
- ・ 石狩市子どもの読書活動推進計画にもとづいて、さまざまな読書活動推進へ取り組み、また、その成果などと併せ、積極的に広報活動など行い、読書活動が全市民に普及拡大するよう取り組みます。

※平成 22 年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員会から、読書活動推進の取組やその成果が、様々な広報活動などを通じて中学生、更には市民も含め、全市的に普及拡大することが期待される旨、意見をいただいたところです。

- ・ 不登校児童生徒の割合は、ここ数年減少傾向でしたが、平成 23 年度は、パソコンや携帯電話（スマートフォン）の普及による、昼夜逆転やひきこもり、さらには周りの子どもたちとのコミュニケーション不足などにより、若干増加したものと分析しています。
この様なことから欠席する児童生徒が増えていますので、引き続き小中連携によるカウンセラー派遣や、子ども相談センターなどとの連携を図りながら、子どもが抱える不安の解消を目指し取り組みます。
- ・ 人間関係や心的理由により、学校へ行くことができない児童生徒に対して、将来的自立支援や居場所としての「ふらっとくらぶ」の活動は大切なことから、今後も継続して取り組みます。
また、学校や不登校に対する支援機関との関係がつくれず、支援を受けることができていない児童生徒や、「ふらっとくらぶ」に通うことができていない児童生徒に対しては、学校や関係機関等とも連携しながら、家庭訪問や電話による働きかけなどを積極的行います。
- ・ 他の自治体との、子どもたちや支援スタッフの情報交換などの交流を、今後とも継続的に実施し、不登校児童生徒への支援と支援体制の充実を図ります。

※平成 22 年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員会から、不登校児童生徒の対応については、他の自治体の子どもたちや支援スタッフと連携した取組の成果が見込まれることから、今後とも積極的に交流を深められたい旨、意見をいただいたところです。

- ・ いじめの認知件数は、小中ともに減少していますが、市内全小中学校でのアンケート実施や懇談などにより未然防止、早期解決が図れたことや、いじめはいけないことであるという日頃からの指導の成果と考えられます。
今後も 1 年を通して、いじめの実態把握を通じた未然防止に取り組みます。
- ・ Q-U 検査については、平成 23 年度に実施した 5 校において、人間関係に関する問題の早期発見に有効であるとの評価を得ていますので、今後、実施校の拡大を図ります。

施策（大項目）6 心身の健やかな成長を促す教育の推進

●大項目のねらい

児童生徒自らが生涯を通じて健康な生活を送ることができる力を身につけるため、健康や安全に関する知識と基本的な生活習慣を育む取組とともに、生涯にわたって運動等に親しむ資質や能力を育成するため、体力・運動能力の向上を図る取組を支援します。

また、核家族化や少子化を背景に、子育てへの不安の高まりが指摘されている中で、すべての教育の出発点である家庭で望ましい生活習慣や学習習慣を定着させられるような環境づくりを進めます。

●平成23年度の実施状況

健康な身体を育む教育活動を推進

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査については、平成22年度から抽出方式になりましたが、本市では、市内全体の児童・生徒の状況や学校の取組状況などを把握するため、全校で実施しました。
- 体育科授業では、市のスポーツであるソフトボールを取り入れている花川南小学校及び双葉小学校に、ソフトボール協会が指導者を派遣したほか、中学校の部活動外部指導者活用事業により、6名の地域の人材が指導者として活動しました。また、スポーツ支援SATとして、水泳やスキー授業での外部指導者活用を行いました。

○スポーツ関連の外部指導者等の状況

区分	H21	H22	H23
スキーSAT	延べ 166名 14校	延べ 194名 15校	延べ 182名 15校
水泳SAT	1名 1校	1名 1校	1名 1校
中学校部活動外部指導者	6名 5校 (野球、剣道、ソフトテニス、バレーボール)	6名 4校 延べ 392日 (野球、剣道、ソフトテニス、バレーボール)	6名 4校 延べ 494日 (野球、剣道、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン)
ソフトボール協会指導者	—	3名 1校 9時間(6年2クラス、10月に実施)	6名 2校 20時間(6年5クラス、9～11月に実施)
非常勤部活動指導者(道費)	—	1名 1校 週あたり4日(12時間)	—

- 小学校が実施するスキー学習については、バス借り上げ料を交付し、北国特有の冬のスポーツであるスキーの習得とともに、冬場の外でのスポーツ・運動機会の確保に努めました。(12校 参加児童数 2,173名)
- 遊具については、6月に全小学校の点検を実施して必要な修繕を行い、子どもたちの遊びを通じた運動の場を提供しました。
- 薬物乱用防止教室については、保健体育などの授業等において、市内全中学校で実施しました。
- 子どもへの暴力防止教育プログラム(CAPプログラム)については、全小学校(3年生を中心)で実施し、子どもが自分の心と身体を大切に生きていくための人権意識を育てると同時に、いじめ、虐待、性暴力、誘拐などの様々な暴力から、子ども自身が自分を守るための教育を推進しました。
- 食育推進支援事業としては、食育DVDを活用し、小中学校における食育活動を推進しました。

- ・ 参観日や出前講座時では、パンフレットを配布し、学校・家庭と連携した食に関する指導を実施するとともに、栄養教諭による食に関する指導（栄養教諭未配置校へ訪問指導）により、食に関する指導の充実を図りました。
- ・ 【22ページの再掲】地産地消等については、9、10月に石狩でとれる農産物を多く使用した給食メニューを取り入れる「石狩デー」を実施したほか、厚田産たこを使った「厚田たこかま揚げ」や、しそを使い「厚田しそプレート」、石狩産小麦で「うどん」を提供するなど、地元の農水産物を使った給食メニューの充実を図りました。

市民皆スポーツを目指した生涯スポーツの推進

- ・ 市民スポーツまつりでは、小学生駅伝、中学生駅伝に加え、平成22年度から「小学校低学年タスキリレー」が新設されました。これらに児童生徒の積極的な参加がなされ、子どもたちが運動習慣を身に付けるきっかけにもなりました。

○市民スポーツまつり参加チーム数

区 分	21 年度	22 年度	23 年度
小学校駅伝	52 チーム (10 校)	55 チーム (10 校)	51 チーム (8 校)
中学校駅伝	25 チーム (5 校)	18 チーム (6 校)	10 チーム (5 校)
小学校低学年タスキリレー	-	21 チーム (10 校)	悪天候の為中止

基本的な生活習慣定着のための家庭環境づくり

- ・ 望ましい生活習慣の定着に向けて、更に家庭に働きかける必要があることから、市PTA連合会と連携し、生活習慣啓発かるた「いしかりっ子いきいきカルタ」を作成したほか、広報いしかり 12 月号及び 1 月号において、望ましい生活習慣について、周知を図りました。
- ・ ブックトークが、読書習慣の形成に役立つことから、館内で年間を通した研修会を実施しました。
- ・ ぴよぴよ広場については、子育て支援課において行うことが行政組織機能の点から効率的であることから、平成23年度は同課が実施する事業に包括的に移管されました。
- ・ 携帯電話教室・非行防止教室などの安全教育の積極的実施を促すために、専門的知識を持つ警察や電話会社についての情報を市内小中学校に提供しました。

【関連する主要事業】事業評価シートを参照

体力・運動能力向上推進事業・子どもへの暴力防止プログラム事業・家庭教育支援事業・外部指導者活用事業

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
「体力・運動能力調査」の総合得点の全国平均値を 50とした場合の石狩市の小学校5年生の値(男子)	—	—	47.5	47.5	50以上
「体力・運動能力調査」の総合得点の全国平均値を 50とした場合の石狩市の小学校5年生の値(女子)	—	—	46.0	47.0	50以上
「体力・運動能力調査」の総合得点の全国平均値を 50とした場合の石狩市の中学校2年生の値(男子)	—	—	45.4	47.8	50以上
「体力・運動能力調査」の総合得点の全国平均値を 50とした場合の石狩市の中学校2年生の値(女子)	—	—	43.8	43.9	50以上

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
体力・運動能力調査で、週1日以上体育の授業以外で運動・スポーツをすると答えた小学校5年生の割合(男子)	%	—	87.9	83.1	100
体力・運動能力調査で、週1日以上体育の授業以外で運動・スポーツをすると答えた小学校5年生の割合(女子)	%	—	79.4	69.4	100

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
薬物乱用防止教室・キャラバンカーによる指導を実施した中学校数	校	3	5	8	8

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
栄養教諭による食に関する派遣指導(配置校外での指導)延べ回数	回	103	132	135	160

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
市民意識に関するアンケートで「この1年間で継続的にスポーツを行っていますか」という問いに「はい」と答えた割合	%	29.7	39.8	38.5	

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
びよびよ広場の参加延べ人数	人	320	328	29	480

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
「朝食を毎日食べていますか」という設問に対して「している」又は「どちらかといえば、している」と回答した児童の割合	%	93.3	95.7	94.4	100
「朝食を毎日食べていますか」という設問に対して「している」又は「どちらかといえば、している」と回答した生徒の割合	%	92.4	92.1	88.1	100

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、インターネットをしますか」という設問に対して「3時間以上」と回答した児童の割合	%	5.9	5.9	10.8	3.3
「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、インターネットをしますか」という設問に対して「3時間以上」と回答した生徒の割合	%	11.1	13.2	20.2	7.9
「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、インターネットをしますか」という設問に対して「4時間以上」と回答した児童の割合	%	3.5	2.7	5.4	1.6
「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、インターネットをしますか」という設問に対して「4時間以上」と回答した生徒の割合	%	6.5	5.2	11.1	4.0

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
ケータイ・ネットゲームの望ましい利用方法についての指導などを実施した中学校数	校	—	6	6	8

【分析・評価及び今後の方向性】

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、石狩の子どもたちは、体格では全国を上回っているものの、実技調査では、多くの項目（特に敏捷性や全身持久力など）で全国を下回っており、特に、女子の運動習慣が前年に比べ低下していました。また、基本的な生活習慣にも課題がありました。このため、平成 24 年度以降についても本調査を全市で実施するとともに、各学校で児童・生徒の状況を把握しながら、一校一プランの実践、体育授業の進め方の検討や、新体力テストの取組など、学校生活内における運動習慣の定着を図るための特色ある取組を推進します。
- 新指導要領への移行により、体育の授業でボール運動のベースボール型（Ｔボールやソフトボール）を取り組む学校のうち、希望する学校については、ソフトボール協会から指導者を派遣するなどの支援をいただけることになりました。また、外部指導者活用事業では、スキースキーの指導において安全確保のほか、よりきめ細やかな指導が求められていることから、スキースキーによる支援を行います。
- 食育については、食指導や食育に関して、学校におけるニーズが増加していることから、今後、栄養教諭の効率的な活用の推進を図ります。
- 駅伝・タスキリレーなど、市民スポーツまつりへの児童生徒の参加が、更に拡大されるよう働きかけるとともに、参加に向けた支援を行います。
- 望ましい生活習慣の定着に向けては、早寝、早起き、朝ごはんなどの項目を記載した「生活リズムチェックシート」を活用するなどして、今後においても、市ＰＴＡ連合会と連携をしながら取組を進めます。
また、インターネットについては、今日の情報化社会において、娯楽的な利用のみならず、学習や生活面での有用性が高まっていますが、誤った利用方法等による弊害もあることから、実生活時間とインターネットを行う時間とのバランスやその利用内容等について、学校の情報に関する教育の場において、子どもたちへ適切な指導がなされるよう働きかけます。

※平成 22 年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員会から、携帯電話やインターネットなどにかかわる情報モラルについての啓発活動は、今後とも大切であり、継続した取組を期待する旨、意見をいただいたところです。

- 薬物乱用防止については、学校においても子どもたちが薬物に対する正しい知識を持つことが必要であるとの認識のもと、市内全中学校において指導に取り組んでいます。今後も中学校はもちろんのこと、小学校においても実施に向け、学校の年間計画に取り入れるよう働きかけます。

教育プラン基本構想 重点テーマ3 地域で育ち・学び・生きる教育

施策（大項目）7 次代を担う子どもたちの健やかな育ちの支援

●大項目のねらい

核家族化や少子化などの社会変化や地域の結びつきの低下などを背景に、青少年をめぐる問題が深刻化しています。

このような中で、地域の大切な一員である青少年の健やかな成長のため、多様な活動の場や機会の充実を図るとともに、地域で子どもを育てる環境づくりを進めます。

また、我が国が批准した「児童の権利に関する条約」を踏まえ、子どもの生存、発達、保護、参加という包括的な権利を実現・確保するための環境づくりを進めます。

●平成23年度の実施状況

子どもの権利の保障の推進

- 【32ページの再掲】子どもへの暴力防止教育プログラム（CAPプログラム）については、全小学校（3年生を中心）で実施し、子どもが自分の心と身体を大切に生きていくための人権意識を育てると同時に、いじめ、虐待、性暴力、誘拐などの様々な暴力から、子ども自身が自分を守るための教育を推進しました。

○CAP事業参加状況

区分	H22	H23
学校数（校）	13	13
児童数（人）	817	562
教職員数（人）	155	118
保護者数（人）	110	75

地域で子どもを育てる環境づくりの推進

- 学校と地域とが連携して安全、安心への取組を進めるため、関係機関が情報を共有し、子どもたちのためにどのような支援をすることができるのかを協議し、学校を核とした地域で子どもたちを見守る体制づくりを目指す「石狩市子ども安全・安心連絡推進協議会」を開催しました。（6月、12月）
- 事故発生の未然防止や子どもたちの緊急避難場所の確保並びに警察への速やかな通報体制整備を目的として、こども110番いしかりサポート事業を実施しました。

◆こども110番いしかりサポート事業

登録者にステッカーを配布し、こども110番の家として登録し、子どもの緊急避難場所として子どもを保護するとともに、警察へ通報するしくみです。

（平成23年度末までの登録件数は877件、平成23年度における通報件数は0件）

- 【19ページの再掲】学校と家庭や地域の団体などが連携し、地域のボランティアを中心に登下校時などにパトロールや見守りなどを行う「スクールガード」、「声かけ運動」の活動などを通して、地域全体で学校安全に取り組む体制を整備し、子どもたちが安心して生活できる地域づくりを図りました。
（平成23年度 実施学校数 11校、ボランティア数 600名程度）
- 【19ページの再掲】地域住民の学校教育活動への参加の取組としては、地域SAT（10名）、中学校部活動外部指導者（6名）、学校支援地域ボランティア（延べ419名）の活動が行われました。

【関連する主要事業】 事業評価シートを参照
石狩市PTA連合会運営支援事業・子どもへの暴力防止プログラム事業

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
市民意識に関するアンケートで「児童の権利に関する条約」を知っていると答えた割合	%	12.0	11.7	13.5	20

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
CAPプログラム実施小学校数	校	5	13	13	13

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
メール配信サービス登録件数（不審者情報）	件	791	1,342	1,515	↗

【分析・評価及び今後の方向性】

- 子どもへの暴力防止教育プログラム（CAPプログラム）については、全小学校において取組が実施されました。このことにより、全ての児童に対して計画的に自分の心と身体を大切に生きていくための人権意識を育てると同時に、いじめ、虐待、性暴力、誘拐などの様々な暴力から自分を守るための教育をする機会の提供ができるようになりました。平成24年度以降も、計画的なプログラムの実施を推進します。
- 石狩市子ども安全・安心連絡推進協議会については、市内各小学校で行われている学校や地域の取組を把握し、学校間においては他校の取組を参考とすることができることから、今後も継続して実施します。
- こども110番いしかりサポート事業については、安全・安心連絡推進協議会において協議がなされ、一定の抑止効果があるため引き続き登録者を拡大していくことが確認され、正確な状況を把握するため、平成23年3月から4月にかけて登録者の再確認を行いました。今後も定期的に確認を行い、より正確な登録者情報を学校や子どもたちに提供します。
- 【20ページの再掲】「スクールガード」・「声かけ運動」については、登下校時など学校や子どもたちだけで身を守ることに限界もあり、地域の子どもたちは地域で育て、守り、子どもたちが安心して生活できる環境を整える必要があります。不審者の発生件数にあまり変化はないものの、大きな事件が起きていないことから、地域の人たちによる見守りが定着してきた成果とも分析されます。一方、学校区によって活動に温度差があることから、市内全域で学校と地域が一体となって活動を行っていけるよう働きかけます。

- ・ 【20 ページの再掲】 地元にある藤女子大学の学生や地域の方々による SAT 活動、読み聞かせ活動、中学校部活動指導などについては地域の教育力を活用した有効的な手段であることから、平成 24 年度以降も積極的に展開します。

学校支援地域本部事業にかかる学校支援地域ボランティアは、学校ニーズの掘り起こしと地域との連携が深められたことにより増加しており、これまで花川北中学校区で行われてきた学校支援ボランティア活動、花川南小学校で実施したあい風寺子屋事業や、放課後こども教室を活用した放課後の学習支援などの取組に、保護者の方々から大きな期待が寄せられていることから、今後更なる充実に向けて取り組みます。

※平成 22 年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員会から、あい風寺子屋事業に代表される、新しいスタイルの地域で子どもを見守り育てるシステムは展望の持てる地域活動であり、一層の充実を期待する旨、意見をいただいたところです。

施策（大項目） 8 地域づくりに活かされる生涯学習環境の充実

●大項目のねらい

市民の生活様式の多様化に伴い、学習に対するニーズも多様化・複雑化・高度化が進んでいます。このような中、市民一人ひとりの学びへの意欲を喚起し、学習の方向性を見出し、互いに学び合う生涯学習を充実するため、人生各期に応じた学習機会の充実を図るとともに、自らの主体的な学びを支援します。

また、学習を通じた地域社会の活性化を目指すため、市民の学習ニーズを的確に捉え、積極的な支援を行うとともに、自らの学習成果や能力を生かし、互いに学び合うことができる環境づくりを進めます。

●平成 23 年度の実施状況

多様な学習機会の提供・主体的な学習活動の支援

- ・ 市民ボランティア「いしかり学びをつくる会」と教育委員会が協働でつくる新しい学びの場「いしかり市民カレッジ」は、誰でも、いつでも、学ぶことができ、更に自ら企画したり教えたりできる新しい学びのかたちを創生しており、主催事業は 19 講座、48 回と着実に取組が進んでいます。
- ・ 仕事や趣味などで得た知識、経験、技術などを活かした講座を自ら企画・運営し、講師として市民の学びの手助けをする「まちの先生企画講座」を 3 講座、10 回開講し、講師と受講者との学びあいを大切に市民が主役の新しい生涯学習の推進に寄与しました。
- ・ 生涯学習事業のうち、シニアを対象とした地域ごとの講座は、はまなす学園を 16 回開催したほか、おらが元気塾（厚田区）、いきがいくろ学園（浜益区）などを実施しました。なお、このほかの講座は、市民カレッジの講座にシフトしています。
- ・ まちづくり出前講座（68 メニュー）により、市が推進する施策をテーマとした学習機会の提供を図りました。（34 件利用）

学習成果の発表・交流の場の充実

- ・ 旧紅葉山小学校の跡地利用として、「石狩市学び交流センター」を開設（平成 23 年 4 月）し、新たな学習活動と交流の場を提供するなど、その充実を図りました。

社会教育を進める主体的な団体活動の支援

- ・ 公民館まつりを 3 月 17・18 日に開催し、公民館を使用して活動している団体・サークルの日ごろの成果を発表する機会を提供しました。（26 団体参加）
- ・ 市内単位 P T A の連絡調整を図り、市内教育の振興に寄与している石狩市 P T A 連合会に対し、その活動経費の一部を補助するとともに側面支援することにより、教育活動の振興や地域における教育環境の改善充実を図りました。
- ・ ユネスコ憲章の精神に基づき、地域に根ざした民間ユネスコ活動をしている団体に対し、その運営費の一部を補助するとともに側面支援することにより、石狩市の教育・科学・コミュニケーションの向上、平和に対する意識を高めました。なお、平成 23 年度は生振小学校に続き、双葉小学校において、「ユネスコ・スクール認定」のための取組を行いました。

- ・ 青年交流、文化祭など、地域行事のサポートなどの活動を行う石狩市青年団体連絡協議会に対し、その運営経費の一部を補助するとともに側面支援することにより、各地域の融合や地域づくり、さらにはまちづくり等を推進しました。
- ・ 青少年の健全育成、地域福祉支援等の取組を行う石狩市女性団体連絡協議会に対し、その運営経費の一部を補助するとともに側面支援することにより、女性の特性を活かした自主的・積極的取組を推進しました。

学習活動を支援する環境整備の充実

- ・ 公民館（3箇所）・ふれあい研修センター・美登位創作の家・カルチャーセンターについて、その機能や利用者サービスが確保されるよう、適切な施設管理を行いました。また、平成23年4月に、学び交流センターを開設し、市民の学びの場の機会の拡充に努めました。
- ・ 社会教育主事の配置については、平成23年4月1日現在で、社会教育課：主事2、市民図書館：主事2 厚田生涯学習課：主事1の計5人です。

【関連する主要事業】事業評価シートを参照
生涯学習講座開催事業・公民館管理運営事業

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
いしかり市民カレッジの登録者数	人	—	209	200	200

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
市民アンケートで「自ら進んで芸術・文化、ボランティア、趣味・教養などの学習活動を行っていますか」という問いに「はい」と答えた割合	%	38.6	37.2	31.2	50

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
石狩市学び交流センター・公民館・カルチャーセンターの延べ利用者数	人	51,000	50,021	61,297	↗

指標の名称	単位	プラン掲載 実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
社会教育関係団体の登録数	団体	148	150	152	↗

指標の名称	単位	プラン掲載 実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
社会教育主事の配置人数	人	6	5	5	↗

【分析・評価及び今後の方向性】

- ・ 市民アンケートからみると、自ら進んで生涯学習活動を行っている割合が伸びていないのは、高齢化の影響や若い世代に共働きが増え、時間的な余裕がないことなどが要因と推察されます。今後は、石狩市学び交流センターを拠点に、体験講座等の開催により新たな団体・サークルの設立を目指すなど、自ら進んで生涯学習活動をしやすききっかけづくりや環境づくりを図ります。
- ・ いしかり市民カレッジについては、主催事業を増やすなど、誰でもいつでも学ぶことができるとともに、自ら企画したり教えたりできる学びの形として取り組んだ結果、市民に定着してきていますが、今後は市民主体の組織として全国的にその成果を発信し、市民とその成果を共有することができるよう取り組みます。

※平成22年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員会から、いしかり市民カレッジについては、市民主体の組織として全国的にその成果を発信し、市民とその成果を共有することが大切であり、一層の充実を期待したい旨、意見をいただいたところです。

- ・ はまなす学園、おらが元気塾（厚田区）、いきがづくり学園（浜益区）については、それぞれの地域におけるシニア世代を対象にした講座を通した通年の学習・交流の場となっており、参加者も定員を超える状況です。今後は、さらにその需要が高まることが予想されることから、魅力的な学習内容を提供するとともに、参加者の自主性も発揮できるような事業内容とすることに努めます。
- ・ まちづくり出前講座については、34件の利用で前年よりは増加しましたが、特定のメニューが集中的に利用されている状況にあります。市役所内の連携・調整を強化し、メニューにない講座の申込みがあったときは、可能な限り要望に沿う内容での開催や、新たな社会情勢や各種制度、市民ニーズに対応したメニューの設定に努めます。
- ・ 石狩市学び交流センターは、特別支援学校、児童発達支援及び放課後等デイサービスを行う事業所との複合施設であり、教育と福祉の連携による地域に根ざした施設として、平成23年4月に開設しました。今後は、その特性を活かしつつ、公民館等の既存施設との機能分担を図り、より地域住民が利用しやすい施設となるよう努めます。
- ・ 各種団体活動の支援については、引き続き運営経費の一部を補助するとともに、社会教育関係団体登録制度を通して施設使用料の減免などを行うほか、これから活動しようとする市民への情報提供など活動しやすい環境づくりに努めます。同制度の登録申請件数は、横ばいの状態ですが、今後とも市民の自主的な社会教育活動を支援します。
なお、ユネスコ活動については、平成23年度は、双葉小学校のユネスコ・スクール認定に向け活動中であり、今後とも計画的な認定校指定に向けた支援を検討します。

- ・ 社会教育事業の推進や関係団体の育成・支援にあたっては、社会教育主事の専門性に基づく指導・助言が必要なことから、今後、職員の社会教育への専門性を高める取り組みを図ります。

※平成 22 年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員会から、社会教育主事ほか、生涯学習の関連職員の研修を行うなど、専門性を高めて行くことを期待する旨、意見をいただいたところです。

施策（大項目） 9 学習の拠点としての図書館サービスの充実

●大項目のねらい

図書館は、社会の発展を縁の下で支える施設です。子どもから高齢者まで多くの人々に開かれた施設である図書館は、情報が溢れかえる現代社会においても、市民の人生を充実したものとするうえで、重要な役割を担っています。主体的に学び、活動しようとする人々の思いを受け止め、その実現を支援するため、生涯学習や地域文化の創造、郷土理解の重要な拠点として、市民図書館のサービスの充実を図ります。

●平成 23 年度の実施状況

情報発信を通じた生涯学習への支援

- 石狩市民図書館では、海浜植物保護センター、公民館、砂丘の風資料館で構成する「いしかり館ネットワーク」において、「いしかり館めぐり MAP」の作成、「いしかり館めぐりツアー」を実施するなど、横断的な情報発信と学習機会の提供に努めました。
- 図書館講座や特別展示などを行い、学習機会の提供を図りました。

○図書館講座・特別展示等の実施状況

事業名	時期	内 容
図書館講座	① 7/2（土） ② 1/29（日） ③ 3/20（火祝日） ④ 3/31（土）	① 石狩の海と松本十郎【参加 51 人】 ② 未成年期からの宿題【参加 115 人】 ③ 探偵はバーにいる～映画と原作【参加 102 人】 ④ 庄内藩のハママシケ（浜益）開拓【参加 98 人】
特別展示	① 12/ 8（木）～ ② 12/17（土）～ ③ 1/ 7（土）～ ④ 1/31（火）～	① 鈴木トミエ追悼展示 ② 子母澤寛生誕 120 年「子母澤寛の世界」 ③ 真岡の風景（図書館講座関連行事） ④ 平成 23 年度石狩市教育委員会表彰 受賞者特別展示
特集展示	通年	テーマを設定して資料を展示し、各種情報を発信しました（計 17 回）

- 図書館ホームページの更新に努め、情報提供の充実を図りました。
- レファレンス記録の整理と研修を実施し、レファレンスサービスや資料提供機能の向上を図りました。

サービスを支える基盤の整備

- 「子ども図書館だより」や「図書館資料（図書館要覧）」を発行したほか、図書館ホームページの内容の見直しと更新頻度を上げるなど情報提供の充実を図るとともに、いしかり館ネットワーク事業において、図書館見学を取り入れた館めぐりツアーを実施するなど、開かれた図書館づくりに努めました。
- ボランティア活動団体の育成や協働等を進める取組として、6 月に修理ボランティア講習を実施したほか、読書活動関係団体及び各種団体との連携を進めました。また、ブックマーチ（本のリサイクル市）などを通して、石狩市市民情報活動センター「ぼぼらーと」との連携を図りました。
- 図書館職員等の研修については、全道図書館初任者、中堅職員研修会や、石狩管内図書館研究会協議会研修会のほか、北海道古文書解読講座などに積極的に参加し、図書館職員としての専門性を高め、サービス・事業の質的向上を図りました。

期待に応える蔵書・情報源の構築

- 基本的な資料の収集・整理・保存を中心に、児童書及びヤングコレクションの充実などを図るとともに、石狩や北海道に関する資料の収集を図りました。

○年度毎の地域資料の収集状況

区分	H21	H22	H23
収集点数	11,380	13,552	16,210
内、石狩・北海道関係資料	1,071	1,231	873

- 平成 22 年度より導入した新聞記事データベースの継続的な充実に努め、レファレンスに活用するなど、調べものに役立つ環境の整備を進めました。

【関連する主要事業】 事業評価シートを参照
図書館運営事業

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
石狩市の人口に占める市民図書館利用登録者の割合	%	31	21	21	35

※平成 22 年度の登録者数は減少は、平成 22 年 4 月以降、利用者カード作成後 3 年間 1 度も借りていない人の除籍を開始したことによります。

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
直近の1年間に受け入れた資料数が蔵書全体に占める割合	%	4.5	5.0	5.6	6.0

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
地域行政資料の点数	点	22,772	25,066	25,933	31,200

【分析・評価及び今後の方向性】

- ・ 図書館新規登録者数については、各種事業の開催時にPRしたほか、市職員やブックスタートパック配付時にPRするなどした結果、昨年度より101人多い3,268人となりました。今後においても、市内の大きなイベントでのPRや転入者に利用案内を配布するなど、計画的に石狩市民の登録者数増加を図り、目標値の達成を目指し取り組みます。

※平成22年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員会から、利用者一人当たりの貸出数は増えているものの、利用登録者数については、目標値との差が広がっているため、計画的な取組が必要である旨、意見をいただいたところです。

- ・ 図書館講座や各種展示を実施し、本に関わる興味、関心を醸成するとともに学習機会の提供を図りました。平成24年度においても、関係機関と連携して図書館の蔵書を活かした地域情報や各種情報の提供に努めます。
- ・ 蔵書全体に占める新しい資料の割合は、16,210点（昨年度より2,658点増）の新規受入により5.6%となりました。今後は購入だけでなく、寄贈受入体制（特に雑誌・人気本など）も含めて魅力的な蔵書の整備を進めます。また、地域行政資料については、前年度比867点増を図ることができましたが、絶版・個人出版など流通していない場合も多く、寄贈を含めて受入体制を強化します。
- ・ 情報発信については、ホームページの充実や図書館の話題をお知らせする「図書館トピックス」を試験的に作成したほか、レファレンス研修を行って情報提供機能を高めました。今後も情報発信の機能を強化し、ホームページの更なる充実、レファレンス・ブックの充実やレファレンスの記録の整理を行い、市民の生涯学習を支援します。
- ・ 宅配サービスについては、対象は全市民ですが、視覚障がい者の利用にとどまっています。今後は、特に交通の不便な地域への周知など、効果的な利用促進を図ります。
- ・ 分館の活性化については、蔵書の入替（全分館）や八幡分館のリニューアルを行いました。今後も、リサイクルコーナーの設置（花川南）、分館だよりの発行（厚田）、施設利用者へのPR（全館）を行うなど、図書館サービスの充実を図ります。
- ・ 開かれた図書館づくりについては、図書館資料等により図書館の運営状況を周知したほか、いしかり館ネットワーク主催で「いしかり館めぐりツアー」を行い、利用促進を図りました。平成24年度は、図書館協議会でより良い図書館づくりを協議いただくなどして、さらに利用者とのコミュニケーションを図ります。
- ・ 市民との協働については、ボランティア・団体と協力して読書推進を進めたほか、市内団体の事業に共催、または協力するなど、地域拠点としての市民図書館の役割を果たしていますが、今後も継続して市民との協働による事業展開を図ります。
- ・ 図書館職員等の研修については、図書館職員としての専門性を高めることにより、サービスや事業の質的向上が図られることから、今後も継続して取り組みます。

※平成22年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員会から、図書館職員等の研修参加など、その専門性をより高めていくことを期待する旨、意見をいただいたところです。

施策（大項目）１０ 石狩文化の活用による自主的・主体的活動の支援

●大項目のねらい

心の豊かさを求める時代において、市民がともに感動し、交流を図りながら、生活にうおいや生きがいを見出すことが求められています。

質の高い、個性的な文化の創造を図るため、多様な芸術文化に触れ、創作活動への支援を図るとともに、「心のふるさと」としての地域を再認識し、新たな地域文化の創造を目指した環境づくりを進めます。

●平成 23 年度の実施状況

芸術文化に親しむ機会や交流の場の充実

- 石狩市公民館では、平成 23 年 10 月からの第 56 回石狩市民文化祭、厚田生涯学習フェスティバル、浜益区文化祭、クリスマスコンサートのほか、共催事業、協賛事業への支援を通して、市民が芸術文化に親しむ機会や発表・交流する場の充実を図りました。

○第 56 回石狩市民文化祭の実施状況

部門	会場	実施日	内 容
展示会場	花川南コミセン	10 月 14 日 ～16 日	絵画・写真、書道、文芸（俳句・短歌）、手工芸、生け花、雅楽等の作品展示、陶芸など
舞台会場	花川北コミセン	10 月 15 日 16 日	日本舞踊、伝承芸能（詩吟、詩舞、三味線、琴、大正琴）、洋舞（フラダンス、バレエ、バトントワリング）など
厚田生涯学習フェスティバル	厚田総合センター	11 月 6 日	〔舞台〕厚田区小学校音楽のつどい（器楽演奏等）、サークル発表（和太鼓、舞踊等）〔展示〕厚田区小中学生の作品展示（絵画・書道等）、サークル発表（手芸、絵画、書道等）
浜益区文化祭	浜益コミセン	11 月 6 日	〔舞台〕太鼓、詩吟、舞踊、カラオケ、浜益小劇場など、〔展示〕写真、手工芸、スタンドグラスなど
クリスマスコンサート	花川北コミセン	12 月 10 日	出演団体／石狩エンジェル・クレア少年少女合唱団、南線小学校リコーダークラブ、花川中学校吹奏楽部、花川北中学校吹奏楽部、花川南中学校吹奏楽部、樽川中学校吹奏楽部、石狩翔陽高等学校吹奏楽局、石狩南高等学校吹奏楽部

○市民文化祭共催事業の実施状況

事業名	会場	実施日	内 容
いしかり菊花展	花川北コミセン	11 月 1 日 ～3 日	〔展示品〕大菊（3 本仕立て、1 本仕立て、福助作り、布袋作り、だるま作り、数仕立て）小菊（懸崖作り、小懸崖作り、盆栽作り、玉作り、特作・アイディア作り）
オータムコンサート	花川北コミセン	10 月 1 日	出演団体／当別混声合唱団パストラルクワイヤ、音の会、女声コーラスいしかりエコー、石狩エンジェル・クレア少年少女合唱団、コル・ソナーレ、アルバ・コラーレ、石狩混声合唱団

- 【25 ページの再掲】市内小中学生を対象に、音楽朗読劇や幅広い音楽ジャンルの鑑賞、演奏体験などの機会を提供する情操教育プログラムを実施しました。
- 【26 ページの再掲】子どもたちが文化芸術に触れる機会の充実を図る取組として、情操教育プログラムに加え、札幌広域圏組合が行う K i t a r a ジュニアコンサート（主に小学 6 年生対象）に 8 校が参加したほか、「俳句のまち - いしかり事業」では、子どもの部（市内小中学生対象）で 2,030 作品の応募があり、子どもたちが文化芸術に触れる機会となりました。また、石狩ユネスコ協会の「わたしの町のたからもの絵画展」への参加についても奨励しました。

- ・ 市役所ロビーで、ロビーコンサート（５回）及びロビー展（５回）を実施し、身近に芸術文化を発表、鑑賞できる場を提供しました。

市民の主体的な芸術文化活動の支援

- ・ 石狩市芸術文化振興奨励補助事業を通して、市民の自主的な芸術文化振興の奨励を図りました。（交付団体等：石狩青年会議所）
- ・ 地域創造アトリエ事業補助金を交付し、NPO 法人アートウォームが行う芸術文化活動（創作活動・情報発信活動）を支援しました。
- ・ 石狩市文化協会に対しては、拠出金を交付したほか、事業の周知や関係機関との調整等の側面的な支援を行いました。なお、同協会は、平成 23 年 4 月に開設した石狩市学び交流センターへ事務所を構え、俳句のまちいしかりこども俳句コンテストや、同センターを活用した新たな主催講座の開催などを積極的に行っています。
- ・ 地域に根ざした企業などが、平成 22 年度に創設した「石狩市教育委員会文化芸術支援制度」に基づき、文化芸術に関する担い手となる団体等へ継続して寄付をしていただき、石狩市の文化芸術の振興に多大な貢献をしていただいています。

【関連する主要事業】事業評価シートを参照

石狩市民文化祭開催事業・石狩市文化協会運営支援事業・地域創造アトリエ事業

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
市民文化祭の入場者延べ人数	人	6,193	5,843	6,113	↗

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
石狩市文化協会の主催・共催事業数	回	7	6	9	9

【分析・評価及び今後の方向性】

- ・ 市民文化祭については、実行委員会は、自らのデザインによるポスターの作成、各世代に配慮したプログラム作成や「お茶席」「手打ちそばの実演・販売」を実施するなど、手作り感の醸成と鑑賞環境の工夫を図りました。また、厚田会場では、多くの地元小中学生が参加し、地域の一体化を図り、浜益会場では、旧石狩市地域の文化団体の参加など、地域間の交流も図られました。今後も実行委員会によるこのような様々な工夫をこらした取組を支援します。
- ・ 【３０ページの再掲】情操教育プログラムについては、「おしゃべランド」に参加にした児童の９７％が面白かったとアンケートで答えており、子どもたちの情操（芸術などに触れ感動する心）や豊かな感性、コミュニケーション能力を育み、協調性の大切さを学び、音楽が持つ可能性や素晴らしさを再認識してもらう事業として、今後も継続します。
なお、実施時期については、会場室温やスクールバス運行などを考慮し６月に開催します。
- ・ 【３０ページの再掲】「俳句のまち－いしかり事業」については、子どもたちが芸術に触れる機会のひとつとして、引き続き実施します。
- ・ ロビー展・ロビーコンサートについては、応募、集客とも堅調であり、市民の身近な芸術活動の発表・鑑賞の場として定着しているので、今後も継続して開催します。
- ・ 石狩市文化協会については、組織基盤の強化を図るため、平成２２年１１月にＮＰＯ法人化を図り、また、平成２３年度には活動拠点として、石狩市学び交流センター内に事務所を設けており、当該施設を利用した活動や、文化活動の担い手育成など積極的に展開し、芸術文化活動が一層市民に広がり、質が高まるよう取り組んでいますことから、引き続き支援します。

※平成２２年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員会から、石狩市学び交流センターを拠点に、文化活動の担い手育成につながる研修を実施するなど、芸術文化活動が一層市民に広がり、質が高まることを期待する旨、意見をいただいたところです。

- ・ 石狩市芸術文化振興奨励補助事業については、平成２３年度は「いしかりミュージカル」に対し補助を行い、約８００人が来場しました。今後は、さらに市民の自主的な文化芸術活動を促し、芸術文化に触れる機会を創出するため、補助事業の効果的な周知等を図りながら、継続して取り進めます。
- ・ 地域創造アトリエ事業補助金については、アートウォームを運営するＮＰＯ法人に補助を行いました。同施設は演劇・演奏などの講演などが行われるほか、子育て世代の親子が一緒に楽しめるカフェが併設され、芸術文化に触れることのできる身近な施設として、広く活用されるようになっていること、また、同施設を運営するＮＰＯ法人は、施設所有者との賃貸借契約期間を更新し、安定的な事業運営が可能となったことから、今後とも、芸術文化及び教育活動の振興を図るため、同法人へ補助事業による支援と、助言・指導等側面的支援に努めます。
- ・ 文化芸術支援制度については、地元企業の支援が、文化芸術を担う団体の活動に直接的に活かされ、文化芸術振興策として有効であることから、今後もより多くの団体に支援がなされるよう、新たな支援企業等の確保に向けた制度のＰＲなどに努めます。

施策（大項目） 1 1 ふるさとを学び伝える取組の充実

●大項目のねらい

郷土への理解と愛着を深め、文化・伝統を継承するため、文化財を適切に保護、保存し、その活用を図るとともに、ふるさとを学ぶ機会の充実を図ります。

●平成 23 年度の取組状況

- ・ 砂丘の風資料館では、石狩紅葉山 49 号遺跡を会場に 7 月と 10 月に土器作り教室（野焼き）を開催したほか、10 月に紅葉山 49 号遺跡を巡る遺跡ツアーを実施しました。また、市指定文化財となっている旧長野商店、旧白鳥番屋（はまます郷土資料館）の内部公開を引き続き行いました。
- ・ 上記以外の文化財にかかわる情報発信としては、4 月に砂丘の風資料館収蔵資料から、高橋儀兵衛の万博表彰状を中心とした展示を市民図書館を会場に開催したほか、6 月には厚田資料室で厚田出身の作家子母澤寛の自筆原稿を中心にした「子母澤寛と大道書房」展を開催しました。
また、紀伊國屋書店札幌本店において展示「ウミベオグラフィー／石狩海辺博物学」（10 月 29～11 月 3 日、来場者約 1,000 人）及びトークイベント「ウミベオロジー／石狩海辺学」（11 月 3 日、参加者 78 人）を開催し、石狩の海辺の自然誌について、広く市外に情報を発信しました。
- ・ 石狩、厚田、浜益各地域の指定文化財候補を調査しました。
- ・ 文化財保護活動としては、6 月～11 月に緊急雇用対策事業を活用し、古地図や古写真の画像データ化を図ったほか、厚田区の古文書（佐藤弁蔵家文書）の整理を行いました。
- ・ 石狩ファイルの刊行については、10 月に 3 項目を追加し、砂丘の風資料館・市民図書館等で配布、ホームページ上で公開しました。

123 石狩のワカサギ
124 石狩の野鳥
125 開拓使石狩缶詰所

- ・ テーマ展、体験講座・野外講座を開催し、石狩の自然や歴史について、実体験や実物を伴った学習機会を提供しました。

○テーマ展（展示）実施状況

タ イ ト ル	開 催 期 間	備 考
貝蛸大漁！アオイガイ大量！	4 月 29 日～ 6 月 26 日	
子母澤寛と大道書房 — 石狩市民図書館貴重書コレクションから —	7 月 9 日～ 7 月 31 日	市民図書館でも開催
石狩の遺跡と縄文文化	9 月 7 日～10 月 24 日	
資料館のお宝展 2011／めざめよ！剥製たち	1 月 22 日～ 3 月 27 日	

○体験講座・野外講座の状況

タイトル	開催日	参加者数	内 容
石狩ビーチコーマーズ／春の漂着物	4月17日	14	石狩浜の漂着物を観察・採集し、起源を考える。
地層と化石	6月18日	23	800 万年前の地層や化石を観察する。
勾玉づくり教室	7月23日	21	古代のアクセサリー勾玉を作る。
縄文土器復元講座	7月30日、8月6日	16	縄文土器を製作する。
化石のレプリカをつくる	8月13日	10	アンモナイトや石狩の化石のレプリカを作る。
フライドチキン骨格標本をつくる	9月3日、10日	7	フライドチキンから部分骨格標本を作る。
石狩ビーチコーマーズ／秋の漂着物	10月16日	14	石狩浜の漂着物を観察・採集し、起源を考える。
石狩大学博物学部(全3回)	11月12日、11月19日、12月10日	79	石狩の自然や歴史に関する研究成果を紹介する。
石狩の遺跡と世界遺産	12月3日	50	石狩市内の遺跡と世界遺産に関する講演
石狩ビーチコーマーズ／冬の漂着物	2月26日	10	石狩浜の漂着物を観察・採集し、起源を考える。

- ・ 社会教育関連施設 4 館（市民図書館、砂丘の風資料館、市公民館、海浜植物保護センター）で、事業連携と情報の一元化を目的とし、「いしかり館ネットワーク」を構築しました。各館を紹介する「いしかり館めぐり MAP」の発行、連携講座などを実施しました。
- ・ ボランティアについては、イベント活動のほかに標本処理などのメニューの追加を行い、参加者の自主的な活動の支援や、消耗品等の支援を行うことで、郷土への理解と愛着を深めることができる、魅力あるボランティア環境の整備を図りました。
また、各種の講座参加者などに P R を行い、参加者数の増加を図りました。

【関連する主要事業】 事業評価シートを参照

いしかり砂丘の風資料館管理運営事業・厚田資料館管理運営事業・はまます郷土資料館管理運営事業

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値		目標値
		H20	H22	H23	H26
市内3資料館の延べ入館者数	人	4,374	5,868	5,649	5,000

【分析・評価及び今後の方向性】

- ・ 砂丘の風資料館では、今後も紅葉山49号遺跡を学ぶ機会の提供に努めるほか、石狩市指定文化財旧長野商店及び旧白鳥番屋の公開や資料館に収蔵している資料を使ったテーマ展の開催などにより、文化・自然遺産の活用を図るとともに、調査研究を進め、研究紀要などでその成果を公表します。

- ・ 札幌市（紀伊國屋書店）で実施したイベントには、多くの札幌市民等が来場・参加し、石狩の自然や歴史について、市外にも広く知ってもらうことができました。平成 24 年度も同様のイベントを、違ったテーマで開催できるよう取り組みます。
- ・ 石狩、厚田、浜益各地域の指定文化財候補の調査を進めます。
また、指定文化財候補である、石狩八幡神社から市教委が寄贈を受けた江戸時代の手水鉢については、文化財指定（平成 24 年度）に向けた調査を進めます。
- ・ 平成 23 年 12 月に石狩市文化財保護審議会に「資料の展示・保管について」諮問を行い、はまます郷土資料館については 1 月に中間答申を得ましたが、石狩市全体の資料館体制については、平成 24 年度に継続して審議していただくこととしています。

※平成 22 年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員会から、市内に 3 つの資料館の整備プランについて前向きな取組を期待したい旨、意見をいただいたところです。

- ・ 資料館の運営状況（入館者数）は、砂丘の風資料館は、ほぼ前年並み、厚田資料室は、リニューアル 2 年目ということもあり約 2 割の減、はまます郷土資料館は、豪雨災害により例年の三分の一しか開館できなかった 22 年度に比べ約 6 割の増加となっています。東日本大震災の後であり全体的に入館者数は伸び悩んでいます。今後さらに一層魅力あふれる資料館の運営に取り組みます。
- ・ ふるさとを学ぶ資料の整備については、市内の縄文遺跡に関する資料集の作成のほか、市内の災害に関する資料についても充実を図ります。
- ・ 石狩市郷土研究会は、市内の文化・歴史の調査などを行い、その成果は毎年会誌「いしかり暦」で公表しています。今後も、こうした活動については継続して支援します。
- ・ 砂丘の風資料館では、資料館主催の講座、講演会のほか、いしかり館ネットワークを活用し、ふるさとを学ぶ機会の充実を図ります。
- ・ 博物館講座の開催については、市民カレッジ等による生涯学習講座と連携を深め、学芸員の研究成果を反映した資料館の独特色のあるメニューを提供します。
- ・ 文化・自然遺産の保護活用や資料館の展示、講座の質の向上には、学芸員体制の強化と学芸員個々の専門性の向上が不可欠なことから、調査研究活動を活発にして資質の向上を図るとともに、研究紀要などで研究成果を積極的に公表します。

※平成 22 年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員会から、学芸員の採用等について前向きな取組を期待したい旨、意見をいただいたところです。

- ・ いしかり館ネットワークについては、平成 24 年度は「親子で学ぶ・楽しむ」をテーマとして、情報発信の一元化と効率的・効果的な連携事業の実施に向け取り組みます。
- ・ ボランティアについては、イベントや資料等の充実が図られることにより、ボランティア参加者のみならず、市民にとっても、ふるさとを学ぶ機会がより充実することから、今後とも、魅力あるボランティア環境の整備を図り、講座参加者等がボランティアとして参加していただけるよう努めます。

※平成 22 年度分教育委員会の点検・評価において、外部評価委員会から、講座参加者が資料館等でボランティアとして参加してもらえるような環境づくりについて、意見をいただいたところです。

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号	27 - 6	事業名	学力向上推進事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいききと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策 (小)	1	学習内容・学習指導の充実							
平成24年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	山下 和乃	電話	72-3171	内線	428
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	山下 和乃				
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 1 項 3 目)			事業名	学力向上推進事業費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等	エキスパートサポーターの職務に関する要綱									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 22 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	→	対象数 21 校
	児童生徒	→	対象数 5,182 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	各小中学校が学力向上対策に向けた様々な取組を進めやすくする。 児童生徒の学力・学習意欲が向上するようにする。		
	→ 成果指標		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	→ 活動指標		
	・全国学力・学習状況調査、CRT標準学力検査の分析と活用を図る。 ・よりきめ細やかな学習支援を行うため、エキスパートサポーターを配置、モデル事業を双葉小で実施する。 ・全校を対象に、学力向上アクションプランを策定。(市の学力向上対策行動計画) ・学力向上対策拡大チームを設置し学力向上対策の研究と検討を行う。(対象:全校) ・その他学力向上に向けた学校支援と研究等。(チャレンジテスト、道外部指導者活用事業の実施検討)		
	④事業実施の背景・個別計画等		
石狩市教育プラン・次世代育成支援行動計画後期計画「こども・あいプラン」			
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円		3,665	3,737	3,737
		小計(A)	千円	0	3,665	3,737	3,737
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人		0.50	0.01	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	0	4,755	95	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	0	4,755	95	
		総コスト(A)+(B)	千円	0	8,420	3,832	
事業費の 用途等	エキスパートサポーター報酬 3,737千円						

27 - 6 学力向上推進事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	エキスパートサポーターの延べ活動授業時数	時間	目標値	-	未設定	未設定	未設定
			実績値	-	1,003	1,051	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	学力向上対策チームの開催回数	回	目標値	-	未設定	未設定	未設定
			実績値	-	3	4	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	国語の授業の内容がよく分かる・どちらかといえはわかると答えた割合(小6・中3平均)	%	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	69	74	68	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	算数・数学の授業の内容がよく分かる・どちらかといえはわかると答えた割合(小6・中3平均)	%	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	67	67	60	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
	施策への貢献度		上がっていない		事業の実施方法	●	低い		行政の関与		小さい
		●	高い			●	効果的			●	市が実施すべき
			中位				中位				民間等でも実施可能
		低い		改善の余地あり		民間等が実施すべき					
現状の課題		エキスパートサポーターは、モデル校に配置されているため、効果を検証するため継続実施が必要。補充授業を行うなど、きめこまやかな指導を行う必要がある。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		習熟度に合わせた指導や補充事業を行うなど、引き続き事業を実施する。									
	[参考] 前年度2次(部長)評価	2名スタッフの効率性を高めるため、H23年度では学年別担当あるいは教科別担当を取り入れて試行を行っており、今年度の結果を踏まえ、さらに修正するか判断する。									

事業に対する市民意見等		※委＝行政評価委員会、パ＝パブリックコメント	
・「確かな学力」の手ごたえが確認できる成果指標の検討と具体的な目標値の設定が必要である。〔委〕 ・学力向上に関する各種事務事業の推進にあたっては、児童生徒に過度の負担感が生じないよう、十分に配慮しながら取り組んでいただきたい。〔委〕			

部長評価 (2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答		●	反映		児童生徒の学習に対する意欲を高めることをねらいとしていることから、現指標とするが、学力向上に対する成果の見方については、今後の課題とする。						
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位				中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い	事業の実施方法	●	効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い	
			中位			中位				中位	
			低い		改善の余地あり					低い	
現状の課題		・課長評価と同様									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		現行の実施に努めるとともに、学校力向上に関する総合実践事業や学校支援地域本部事業等の実践も踏まえ今後のあり方の検討に努める。									

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号		27 - 1		事業名		外部指導者活用事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいききと活動するまち									
	策	2	学校教育の充実									
	策 (小)	1	学習内容・学習指導の充実									
平成24年度担当		所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	吉田 学	電話	72-3171	内線	432	
前年度担当		所管	生涯学習部 学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	吉田 学					
予算科目		会 計	一般会計 (10 款 1 項 3 目)			事業名		外部指導者活用事業費				
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)										
実施形態		☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他										
根拠法令、条例等		外部指導者活用事業交付金要綱										
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 平成 22 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	→	対象数 21 校
	市内児童生徒	→	対象数 5,182 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	→ 成果指標 各小中学校で児童生徒の学力向上や体力・運動能力向上などに向け、外部指導者等の活用により、授業や補充的学習、部活動などの場において、一人ひとりに応じた、きめ細かな指導ができるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	→ 活動指標 スクール・アシスタント・ティーチャー(通称:SAT~学生・地域のボランティア指導者)、学力向上サポーター(教員免許を持つ外部指導者)、部活動外部指導者を活用する学校の活用経費の一部を交付する。(外部指導者活用事業交付金)		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市教育プラン・次世代育成支援行動計画後期計画「こども・あいプラン」		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業の コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円		3,510	3,245	4,392
			小計(A)	千円	0	3,510	3,245	4,392
事業費の 使途等	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人			0.40	0.10	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人					
		従事正職員の人件費	千円	0	3,804	951		
		その他間接経費	千円					
		小計(B)	千円	0	3,804	951		
事業費の 使途等		総コスト(A)+(B)	千円	0	7,314	4,196		
		○学力向上対策分						
		学生SAT・地域SAT活用費(謝金)		373千円				
		学力向上サポーター活用費(謝金)		1,962千円				
		上記活用に係る事務費		48千円				
		○体力・運動能力向上対策分						
		スポーツ支援SAT活用費(謝金)		665千円				
		部活動外部指導者活用費(謝金)		120千円				
		上記に関わるスポーツ傷害保険料		77千円				

27 - 1 外部指導者活用事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	SAT配置人数	人	目標値	-	未設定	未設定	未設定
			実績値	-	92	154	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	学力向上サポーター配置人数	人	目標値	-	3	4	3
			実績値	-	4	4	
			達成率	#VALUE!	133.3	100.0	
	部活動外部指導者配置人数	人	目標値	-	5	5	5
			実績値	-	6	6	
			達成率	#VALUE!	120.0	120.0	
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	SAT活動日数	日	目標値	-	未設定	590	590
			実績値	-	468	636	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	107.8	
	学力向上サポーターの延べ活動時間数	時間	目標値	-	1,260	1,440	1,244
			実績値	-	1,182	981	
			達成率	#VALUE!	93.8	68.1	
	部活動外部指導者活動日数	日	目標値	-	未設定	未設定	未設定
			実績値	-	392	494	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	

課長評価 (1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法	●	効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
			中位				中位				民間等でも実施可能
			低い			改善の余地あり				民間等が実施すべき	
現状の課題		学生 SAT の確保が不安定である。今後、学力向上サポーターの拡大も検討が必要。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		学生 SAT の確保に向けて、教員課程の学生を主として関係教育機関に働きかけ事業を進める。									
	[参考] 前年度 2次 (部長) 評価	多様なニーズに即応できるよう事業の拡充を検討したい。									

事業に対する市民意見等		※委＝行政評価委員会、パ＝パブリックコメント
・ 施策推進のための人的支援を拡充するため、大学との連携強化や各種専門的な知識や経験を持つ市内の人材活用を促進すべきである。[委]		

部長評価 (2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答		●	反映	・学校教育に関わる人材活用は、SATなど市独自の取り組みも進めているが、学習支援の外、安全・安心の取り組み、地域活動支援など多くの分野において図られている。今後は、総合的な視点から人材活用の充実策を検討する。							
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位			中位	
			上がっていない				低い			小さい	
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度		高い
		●	中位			●	中位			●	中位
			低い		改善の余地あり					低い	
現状の課題		・授業や補充的学習、部活動など目的に応じた外部指導者の安定的な確保									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		学習支援においては、学生の確保の一方、地域の教育関係者の協力による安定的な体制を整備するとともに、安全安心やスポーツ、文化面など各種の外部指導者の総合的把握をするなど効果的な活用にも努める。									

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号		27 - 2		事業名		英語指導助手招致事業								
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち											
	策	2	学校教育の充実											
	策 (小)	1	学習内容・学習指導の充実											
平成24年度担当		所管	生涯学習部総務企画課/学校教育課		課長	上田 均/蛭谷学俊		担当	高石 康弘		電話	72-3169	内線	402
前年度担当		所管	生涯学習部 学校教育課		課長	池田 幸夫		担当	山下 和乃					
予算科目		会 計	一般会計		(10 款 1 項 2 目)		事業名		英語指導助手招致事業費					
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)												
実施形態		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他												
根拠法令、条例等														
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 平成 3 年度 ~ 未定 年度												

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市立小中学校	→	対象数 21 校
	市立小学校5・6年の児童及び中学校の生徒	→	対象数 2,852 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	英語教育の充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	・市立中学校に英語指導助手(ALT)を派遣し、英語教員とともに授業を行う。 ・英語指導助手の採用については、(財)自治体国際化協会の斡旋を受け決定する。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市教育プラン「基本計画」		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
小学校から、配置時間増に関する要望意見がある。			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
本格実施された小学校(5・6年)の外国語活動における支援として、8月から専用のALTを1名増員し、授業支援を実施した。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			千円				
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	8,452	7,862	11,128	16,594
		小計(A)	千円	8,452	7,862	11,128	16,594
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.10	0.20	0.50	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員(両支所生涯学習課)	人	0.70	0.60	0.40	
		従事正職員の人件費	千円	7,050	7,607	8,559	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	7,050	7,607	8,559	
		総コスト(A)+(B)	千円	15,502	15,469	19,687	
事業費の 用途等	英語指導助手3名の人件費及び物件費(旅費、傷害保険料等) 11,128千円						

27 - 2 英語指導助手招致事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	英語指導助手派遣中学校数	校	目標値	8	8	8	8
			実績値	8	8	8	
			目標:事業計画(全中学校数)	達成率	100.0	100.0	100.0
	英語指導助手派遣小学校数	校	目標値			13	13
			実績値			13	
			目標:事業計画(全小学校数)	達成率		100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	英語指導助手を活用した授業日数(中学校)	日	目標値	265	265	265	265
			実績値	283	262	259	
			目標:事業計画	達成率	106.8	98.9	97.7
	小学校外国語活動(5・6年生)のうち英語指導助手を活用した授業日数	日	目標値	95	95	215	395
			実績値	95	89	205	
			目標:事業計画	達成率	100.0	93.7	95.3
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位			●	中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
			中位			●	中位				民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		地域性や校種を考慮しながら必要最低限の人員を有効的に活用するための工夫が必要。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		H24年度から小学校支援向けALTを1名増員し、小学3年4年生外国語活動を希望する小学校(12校)に派遣する。 小学校1・2年生に拡大するタイミングにおいては、ALT増員を検討する必要がある。									
	[参考] 前年度 2次(部長)評価	助手の活用手法において、現場教員との連携を深め、さらに効率的な事業展開を図る。 特に1名増となることから、その配置・活用について実践をととして改善を図る。									

事業に対する市民意見等									
※委＝行政評価委員会、パ＝パブリックコメント									
外国語教育の充実のため、現在のALT配置が効果的であることは理解するが、今後は、配置による成果を明確にしていくための明確な成果指標の設定を行うべきである。[委]									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映	外国人や生の英語に触れることを主たる目的としているため、当面は現指標とする。							
			一部反映								
		●	不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
		上がっていない			低い		小さい				
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位				中位
			低い		改善の余地あり						低い
現状の課題		・課長評価と同様									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		市として外国語活動、国際理解教育の充実を目指していることから、実践を通し効果的な手法等について検討と実践に努める。									

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号		26 - 5		事業名		子どもの読書推進事業								
総合計画	テ	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち										
	策		1	生涯学習の推進										
	策 (小)		2	学習機会の整備・充実										
平成24年度担当		所管	生涯学習部 市民図書館		課長	丹羽 秀人		担当	寺尾 陽助		電話	72-2000	内線	
前年度担当		所管	生涯学習部 市民図書館		課長	丹羽 秀人		担当	伊藤 英司					
予算科目		会 計		一般会計		(10 款 5 項 9 目)		事業名		子どもの読書活動推進費				
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)												
実施形態		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他												
根拠法令、条例等		子どもの読書活動の推進に関する法律、石狩市民図書館条例												
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 平成 18 年度 ~ 未定 年度												

事業の内容	①対象 (この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	0歳から高校生まで	→	対象数 10,000 人
		→	対象数
	②目的・意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	読書環境を整備することで、子どもの自主的な読書活動の推進を図り、読書習慣の形成を図る。		
	→ 成果指標		
	③手段 (具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	→ 活動指標		
	・「ブックスタート事業」市内全ての10ヵ月児と保護者にブックスタートバックを手渡ししながら、絵本の読み聞かせを通した「言葉かけ」や親子のふれあいの大切さを伝える。 ・ブックスタートフォローアップとしておはなし会の開催や団体貸出の推進など。 ・「学校図書館活性化事業」として、学校図書館整備の指導、協力。 ※事業の実施に際し、全般に図書館ブックスタートボランティアやおはなしボランティア「びっくりばこ」等が関与。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
ブックスタートは全国的に実施。(実施市区町村自治体718 ※2010年2月28日現在) 石狩市子どもの読書活動推進計画、石狩市民図書館ビジョン2010、石狩市教育プラン			
⑤この事業に対する関係者 (住民、議会、事業対象者、利害関係者等) からの意見・要望等			
ブックスタート事業の開始については、市議会で要望があった。			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
ブックスタートフォローアップを年4回から毎月にした。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23 (見込)	H24 (予算)
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	1,058	1,858	2,846	1,858
	小計 (A)		千円	1,058	1,858	2,846	1,858
	人件費等	正職員従事人数 (担当課)	人	1.05	0.98	0.98	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員 ()	人				
		従事正職員の人件費	千円	9,254	9,319	9,319	
		その他間接経費	千円				
		小計 (B)	千円	9,254	9,319	9,319	
	総コスト (A)+(B)		千円	10,312	11,177	12,165	
事業費の 用途等		・ブックスタート、学級団体貸出用図書購入費 1,350千円 ・研修会講師謝礼 50千円 ・ブックスタート等各種消耗品 459千円 ・学校図書館連携機能構築業務委託 987千円					

26 - 5 子どもの読書推進事業

活動指標	指 標 名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	ブックスタートパックの配布人数	人	目標値	465	391		
			実績値	430	386	390	
			達成率	92.5	98.7		
	おはなし会の開催回数	回	目標値	52	52	52	52
			実績値	55	55	67	
			達成率	105.8	105.8	128.8	
	学校図書館整備の対象校数	校	目標値	2	2	2	3
実績値			2	2	1		
達成率			100.0	100.0	50.0		
成果指標	指 標 名	単位		H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	児童書の貸出冊数	点	目標値	145,690	153,100	159,960	164,540
			実績値	164,615	159,127	155,413	
			達成率	113.0	103.9	97.2	
	おはなし会への参加人数	人	目標値	780	780	780	780
			実績値	775	853	1,071	
			達成率	99.4	109.4	137.3	
	学級団体貸出冊数	点	目標値		7,800	7,800	7,800
実績値				7,605	10,270		
達成率				97.5	131.7		
目標:教育プラン(平成22年度スタート)							

課長評価 (1次)											
有効性	期待する成果	☐	上がっている	効率性	費用対効果	☐	高い	妥当性	事業実施の意義	☒	大きい
		☒	中位			☐	中位			☐	中位
		☐	上がっていない			☐	低い			☐	小さい
	施策への貢献度	☒	高い		事業の実施方法	☐	効果的		行政の関与	☒	市が実施すべき
		☐	中位			☒	中位			☐	民間等でも実施可能
☐	低い		改善の余地あり			☐	民間等が実施すべき				
現状の課題		乳幼児へのフォローアップ強化を図ってきたが、今後は幼稚園児、小学生などへのフォローアップを更に進めていく必要がある。									
今後の方向性	事業内容	☒ 拡充 ☐ 手法改善 ☐ 縮小・統合 ☐ 継続・維持 ☐ 休止・廃止									
		司書配置をした学校を中心に、図書館事業の拡大を図る。									
	[参考] 前年度 2次 (部長) 評価	10ヶ月検診以降のフォロー機会の拡充を図る。									

事業に対する市民意見等							
なし							

部長評価 (2次)		担当部長		百井 宏己											
市民意見等に対する回答			反映												
			一部反映												
			不採用												
			実施済み												
			参考												
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい				
		●	中位			●	中位				中位				
			上がっていない				低い				小さい				
	施策への貢献度		高い			●	事業の実施方法				効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位							●	中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い				
現状の課題		・読書推進におけるブックスタートから小中学校までの体系化													
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 ブックスタート以降のフォローアップの継続や、幼稚園保育園等との連携を始め、学校図書館に人的整備を図るなど子どもたちに対する継続的な読書環境の整備に努める。													

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号		26 - 2		事業名		読書・学習支援事業								
総合計画	テ	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち										
	施	策	1	生涯学習の推進										
	施	策 (小)	1	学習情報の提供と相談体制の整備・充実										
平成24年度担当		所管	生涯学習部 市民図書館		課長	丹羽 秀人		担当	寺尾 陽助		電話	72-2000	内線	
前年度担当		所管	生涯学習部 市民図書館		課長	丹羽 秀人		担当	伊藤 英司					
予算科目		会 計	一般会計		(10 款 5 項 9 目)			事業名		図書館運営費				
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)												
実施形態		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他												
根拠法令、条例等		石狩市民図書館条例												
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 平成 12 年度 ~ 未定 年度												

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)			
	図書館利用者(市外も含む)	→	対象数	不詳
		→	対象数	
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標
	図書館の資料・情報等を活用することで、市民が豊かな学習機会を享受できるようにする。			
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)			活動指標
	・図書館講座、講演会、図書館まつり等の実施。 ・特集コーナーの設置、特別展示等の実施。 ・小中学校等に対する図書館利用ガイダンスの実施。 ※講座等にはフロアボランティアの参加(企画・運営)あり。 図書館まつりは運営委員会を図書館ボランティアを中心とした市民が構成し、企画運営を実施。 その他サイエンスアイ、えい・あい館が定期的に活動。			
	④事業実施の背景・個別計画等			
	石狩市子どもの読書活動推進計画、石狩市民図書館ビジョン2010、石狩市教育プラン			
	⑤この事業に対するの関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
図書館のボランティアが横断的に関わる事業なので、事業の継続を望まれている。				
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果				
図書館まつりで飲食コーナーの充実を図った。				

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			千円				
事業のコスト	事業費	国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	370	370	370	370
	小計(A)		千円	370	370	370	370
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	1.90	1.80	1.80	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	16,745	17,116	17,116	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	16,745	17,116	17,116	
事業費の用途等	総コスト(A)+(B)		千円	17,115	17,486	17,486	
	・図書館講座及び図書館まつり謝礼 ・図書館講座及び図書館まつり各種消耗品			250千円 120千円			

26 - 2 読書・学習支援事業

活動指標	指 標 名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	図書館講座開催回数	回	目標値	4	4	4	4回
			実績値	8	7	5	
			達成率	200.0	175.0	125.0	
	特別展示回数	回	目標値	4	4	4	4回
			実績値	6	7	4	
			達成率	150.0	175.0	100.0	
	小中学校に対する図書館活用指導の実施回数	回	目標値	22	21	21	21
実績値			9	15	15		
達成率			40.9	71.4	71.4		
成果指標	指 標 名	単位		H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	図書館講座参加者数	人	目標値	200	200	200	200
			実績値	300	412	416	
			達成率	150.0	206.0	208.0	
	図書館まつり当日の来館者数	人	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000
			実績値	4,626	5,646	4,912	
			達成率	115.7	141.2	122.8	
	調べる学習コンクール参加数	人	目標値				20
実績値							
達成率							
目標：事業計画（平成24年度から）							

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	☐	上がっている	効率性	費用対効果	☒	高い	妥当性	事業実施の意義	☒	大きい
		☒	中位			☐	中位			☐	中位
		☐	上がっていない			☐	低い			☐	小さい
	施策への貢献度	☐	高い		事業の実施方法	☒	効果的		行政の関与	☐	市が実施すべき
		☒	中位			☐	中位			☒	民間等でも実施可能
☐	低い	☐	改善の余地あり	☐	民間等が実施すべき						
現状の課題		図書館の利用増につながり、図書館の価値を高める講座やイベントを行う必要がある。									
今後の方向性	事業内容	☐ 拡充 ☐ 手法改善 ☐ 縮小・統合 ☒ 継続・維持 ☐ 休止・廃止									
		館ネットワークをはじめ他館や他の組織との共同での催しなど、多様な試みで利用者の増加につなげていく。									
	[参考] 前年度 2次(部長)評価	各種の連携を図るとともに、学習機会の体系化に努める。									

事業に対する市民意見等							
なし							

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位				中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位				中位
		低い		改善の余地あり			低い				
現状の課題		開館以来10年を経過し、図書館が地域に根差し定着はしてきていることから、利用者の新たな層の獲得などこれまでの成果をもとにした、さらなる充実策の検討									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		蔵書、レファレンスなどの基本サービスの充実とともに、社会教育施設との連携を図るなど、生涯学習推進の拠点施設としての機能を一層発揮するよう努める。									

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 9	事業名	特別支援教育運営事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち						
	策	2	学校教育の充実						
	策 (小)	2	特別支援教育の推進						
平成24年度担当	所管	生涯学習部 教育支援センター	課長	森 朋代	担当	森 真弓	電話	76-6798	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 教育支援センター	課長	西田 正人	担当	山谷 睦子			
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 1 項 4 目)			事業名	教育支援センター事業費			
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)								
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
根拠法令、条例等	学校教育法								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 16 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	学校生活や学習上での支援を必要とする児童生徒及びその保護者	→	対象数 不詳
	市内小中学校の教職員	→	対象数 21 校
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	学校生活や学習上での支援を必要とする児童生徒及びその保護者への相談の充実を図る。 対応する教職員への支援の充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
	・特別支援教育コーディネーターの補助等を行う地域コーディネーター(SENCO)及び学級担任の補助を行う特別支援教育支援員を学校に配置する。 ・特別支援教育コーディネーターが有効に支援を行えるように連携を密にする。 ・就学カンファレンスチーム会議(医師、臨床発達心理士、特別支援学級担任等で構成)を開催し、支援の必要な児童生徒に関する検討・相談を行う。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	平成19年度より特別支援教育が学校教育法に位置づけられ、すべての学校において、児童生徒等の支援をさらに充実していくこととなった。		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
特別支援教育支援員を11名から21名に増員し、小学校1年生を中心に配置したことによって、支援を必要とする児童が安心して学校生活を送ることができた。			

事業 の コスト				単位	H2 1	H2 2	H2 3 (見込)	H2 4 (予算)
	事業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	20,969	19,719	24,654	25,354
	小計 (A)			千円	20,969	19,719	24,654	25,354
	人 件 費 等	正職員従事人数 (担当課)	人	1.30	1.25	1.25	特定財源名及び補助率・充当率	
		正職員 ()	人					
		従事正職員の人件費	千円	11,457	11,886	11,886		
その他間接経費		千円						
小計 (B)		千円	11,457	11,886	11,886			
総コスト (A)+(B)			千円	32,426	31,605	36,540		
事業 費 の 使 途 等	・地域コーディネーター報酬・通勤手当 (5名)				9,115千円			
	・特別支援教育支援員謝金 (21名)				12,600千円			
	・検査器具、特別支援学級教材用備品				765千円			
	・特別支援学級運営消耗品等				1,413千円			
	・その他経費				761千円			

27 - 9 特別支援教育運営事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	地域コーディネーターの配置人数	人	目標値	7	6	6	5
			実績値	7	5	5	
			達成率	100.0	83.3	83.3	
	特別支援教育支援員の学校配置数	人	目標値	22	21	21	25
			実績値	8	11	21	
			達成率	36.4	52.4	100.0	
	小中学校における特別支援学級の設置校数	校	目標値	22	21	21	21
			実績値	13	16	17	
			達成率	59.1	76.2	81.0	
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	小中学校における特別支援学級在籍児童生徒数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	67	79	101	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価 (1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい
		中位			● 中位			中位
		上がっていない			低い			小さい
	施策への貢献度	● 高い		事業の実施方法	効果的		行政の関与	● 市が実施すべき
		中位			中位			民間等でも実施可能
	低い	● 改善の余地あり		民間等が実施すべき				
現状の課題		小中学校等への理解・啓発の拡充を図るなど、支援の内容・方法の工夫が必要である。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						
		支援を必要とする児童生徒が増えており、引き続き人的な支援やシステムの工夫・改善を学校や関係機関等協議しながら検討する。						
	[参考] 前年度 2次 (部長) 評価	関係機関との連携、さらには市民団体等の協力を得るなど、工夫改善を図る。						

事業に対する市民意見等		※委＝行政評価委員会、パ＝パブリックコメント	
現在、特別支援教育支援員は小・中学校各1年生を中心に配置しているが、特別な支援を必要とする子どもは継続した支援が大切であることから、支援員の拡大も含め、進級後の支援体制の強化を検討すべきである。〔委〕			

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己								
市民意見等に対する回答		●	反映	・教育支援センターや市の関係機関が連携し、児童生徒、保護者と学校を交え、実態の把握やきめ細かな支援のあり方などを丁寧に対応するとともに、指導、相談や具体的な支援に関わる人的体制の充実について検討する。								
		●	一部反映									
			不採用									
			実施済み									
			参考									
有効性	期待する成果		●	効率性	費用対効果		●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			●			中位		●	中位			中位
						上がっていない			低い			小さい
	施策への貢献度		●	事業の実施方法		●	効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い	
			●		中位		●			中位		中位
			低い					改善の余地あり				低い
現状の課題		・増加する支援を必要とする児童生徒、保護者への対応										
今後の方向性		○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止 教育支援センターを中心に関係機関と連携を図り、児童生徒、保護者と学校を交え、実態の把握やきめ細かな支援のあり方などを丁寧に対応するとともに、指導、相談や具体的な支援に関わる人的体制の充実努める。										

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号		27 - 20		事業名		スクールカウンセラー設置事業								
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち											
	策	2	学校教育の充実											
	策 (小)	4	いじめなどの問題や不登校への対応											
平成24年度担当		所管	生涯学習部 教育支援センター		課長	西田 正人		担当	川畑 昌博		電話	76-6798	内線	
前年度担当		所管	生涯学習部 教育支援センター		課長	西田 正人		担当	川畑 昌博					
予算科目		会 計	一般会計 (10 款 1 項 4 目)				事業名		教育支援センター事業費					
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)												
実施形態		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他												
根拠法令、条例等														
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 平成 7 年度 ~ 未定 年度												

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	児童生徒、保護者及び教員等	→	対象数 7,000 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	児童生徒や保護者などの悩み、精神的不安を解消・軽減し、児童生徒が良好な学校生活を送ることができるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	市内中学校にスクールカウンセラー(臨床心理士 ※以下SCとする)を週1~2回配置する。 ※道費4名、市費1名		
	<SCの業務> ・児童生徒や保護者等からの相談に対応し、不安の解消や心のケアを行う。 ・長期欠席児童生徒や問題を抱える児童生徒に対し、家庭訪問や電話並びに保護者への支援も行う。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	平成7年度に文部科学省が不登校や問題行動の未然防止や早期発見、早期解決のため、児童生徒や保護者が悩みや不安、ストレスを解決することを目的に「心の専門家」であるSCを全国全ての中学校に配置をすすめてきた。		
⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
議会などで、市内小中学校全てにSCを配置し、勤務日数も増やすべきとの意見があった。			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業の コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			道支出金	千円	1,008			
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	1,554	2,075	2,160	2,863
			小計(A)	千円	2,562	2,075	2,160	2,863
事業費 の人件費等			正職員従事人数(担当課)	人	0.15	0.25	0.25	特定財源名及び補助率・充当率
			正職員()	人				
			従事正職員の人件費	千円	1,322	2,377	2,377	
			その他間接経費	千円				
			小計(B)	千円	1,322	2,377	2,377	
事業費の 使途等			総コスト(A)+(B)	千円	3,884	4,452	4,537	
			・スクールカウンセラー報酬	1,965千円				
			・相談用携帯電話料	195千円				

27 - 20 スクールカウンセラー設置事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	スクールカウンセラー年間活動延べ日数	日	目標値	344	320	312	288
			実績値	344	320	304	
			達成率	100.0	100.0	97.4	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	相談件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	585	669	719	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価 (1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位				中位				中位
			上がっていない			●	低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
			中位				中位				民間等でも実施可能
			低い			●	改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		問題行動等の未然防止や早期発見、早期解決を図るために、これまで以上に教職員等との連携を密にしていく必要がある。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		学校とスクールカウンセラー、ふらっとくらぶ (教育支援教室) 及びその他関係機関等の意見を十分聞きながら、引き続きスクールカウンセラーの勤務日数の増など改善に向けて取り組む。									
	[参考] 前年度 2次 (部長) 評価	スクールカウンセラーがさらに機能発揮できる環境やシステムについて、検討・改善を図る。									

事業に対する市民意見等		※委＝行政評価委員会、パ＝パブリックコメント
なし		

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
			中位			●	中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		・課長評価と同様									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		・課長評価と同様									

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号	27 - 21	事業名	不登校児童生徒支援事業							
総合計画	テ	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち						
	施	策	2	学校教育の充実						
	施	策 (小)	4	いじめなどの問題や不登校への対応						
平成24年度担当	所管	生涯学習部 教育支援センター	課長	西田 正人	担当	川畑 昌博	電話	76-6798	内線	
前年度担当	所管	生涯学習部 教育支援センター	課長	西田 正人	担当	川畑 昌博				
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 1 項 4 目)			事業名	教育支援センター事業費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 13 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	長期欠席児童生徒	→	対象数 92 人
	市内小中学校	→	対象数 21 校
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)  成果指標		
	長期欠席児童生徒の学校復帰及び社会的自立を支援する。 長期欠席児童生徒の復帰に向けた学校環境を整備する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)  活動指標		
	石狩市教育支援教室(ふらっとくらぶ)の運営 ・集団生活への適応・情緒の安定、基礎学力の補充、生活習慣の改善のための相談・適応指導を行う。 ・地域コーディネーター(不登校担当)4名、学生ボランティアを配置する		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
	⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		
不登校児童生徒をふらっとくらぶにつなげるための地域コーディネーターによる家庭訪問を開始した。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			道支出金	千円	1,818	1,832	1,356	1,356
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	5,067	3,246	6,820	6,849
			小計(A)	千円	6,885	5,078	8,176	8,205
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人		0.30	1.25	1.25	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人					スクールソーシャルワーカー活用事業
		従事正職員の人件費	千円	2,644	11,886	11,886		
		その他間接経費	千円					
		小計(B)	千円	2,644	11,886	11,886		
	総コスト(A)+(B)		千円		9,529	16,964	20,062	
事業費の 用途等	・地域コーディネーター配置		7,751千円					
	・地域、学生ボランティア謝金		168千円					
	・その他経費		257千円					

27 - 21 不登校児童生徒支援事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	ふらっとくらぶ在籍者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	11	10	13	
	目標:事業計画		達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	ふらっとくらぶ開設日数	日	目標値	236	238	238	未設定
			実績値	236	238	238	
	目標:事業計画		達成率	100.0	100.0	100.0	
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	学校復帰人数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	17	15	16	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	学校復帰人数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	17	15	16	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	学校復帰人数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	17	15	16	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価 (1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位				中位				中位
			上がっていない			●	低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法		効果的			市が実施すべき	
			中位				中位		●	民間等でも実施可能	
			低い			●	改善の余地あり			民間等が実施すべき	
現状の課題		不登校児童生徒数が抱える課題は複雑化、多様化しており、これに対応できる人材の確保と在籍校などとの連携を図っていく必要がある。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		・不登校児童生徒やその保護者に対して、家庭訪問等の支援方策を関係機関と協議しながら、引き続き改善に向けて取り組む。 ・ふらっとくらぶの運営等について、市民団体等との協働を検討していく。									
	[参考] 前年度 2次 (部長) 評価	・不登校児童生徒や保護者への家庭訪問等の支援方策を関係機関と協議しながら、改善していく。 ・ふらっとくらぶの運営等について市民団体等との協働を検討する。									

事業に対する市民意見等		※委＝行政評価委員会、パ＝パブリックコメント
なし		

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位				中位
		低い		改善の余地あり			低い				
現状の課題		・義務教育終了後の支援 ・不登校児童生徒の学習、相談機会の拡充									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		課長評価と同様									

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号		27 - 4		事業名		奨励プログラム推進事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち									
	策	2	学校教育の充実									
	策 (小)	1	学習内容・学習指導の充実									
平成24年度担当		所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	吉田 学	電話	72-3171	内線	432	
前年度担当		所管	生涯学習部 学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	吉田 学					
予算科目		会 計	一般会計 (10 款 1 項 3 目)			事業名		奨励プログラム推進事業費				
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)										
実施形態		☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他										
根拠法令、条例等		学校奨励プログラム等推進事業交付金要綱										
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 平成 22 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	→	対象数 21 校
	市内児童生徒	→	対象数 5,182 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	各小中学校が総合的な学習の時間などにおいて、市が奨励する「環境教育」「人権教育」「平和教育」「国際理解教育」などの今日的な教育課題に関する教育活動を積極的に実施できるよう支援する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	[奨励プログラム] ●教育環境 ●人権教育 ●平和教育 ●国際理解教育 上記の奨励プログラムのほか、学校独自の特色ある教育活動(キャリア教育、連携教育、食育、学校間交流など)に取り組む学校の活動経費の一部を交付する。(学校奨励プログラム等推進事業交付金)		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市教育プラン		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			千円				
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円		5,448	5,534	5,928
		小計(A)	千円	0	5,448	5,534	5,928
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人		0.40	0.05	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	0	3,804	475	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	0	3,804	475	
		総コスト(A)+(B)	千円	0	9,252	6,009	
事業費の 用途等	環境教育に関する取組 678千円 人権教育に関する取組 254千円 平和教育に関する取組 221千円 国際理解教育に関する取組 531千円 その他特色ある教育活動に関する取組 3,850千円 (連携教育、キャリア教育、食育、学校間交流など)						

27 - 4 奨励プログラム推進事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	交付金交付学校数	校	目標値	-	21	21	21
			実績値	-	21	21	
			達成率	#VALUE!	100.0	100.0	
	目標: 予算措置数 (全小中学校)		目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	奨励4項目のいずれかを実施した学校数	校	目標値	-	未設定	未設定	未設定
			実績値	-	19	20	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	上記を体験した延べ児童生徒数	人	目標値	-	未設定	未設定	未設定
			実績値	-	6,666	8,027	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価 (1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法	●	効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
			中位				中位				民間等でも実施可能
			低い			改善の余地あり				民間等が実施すべき	
現状の課題		従来学校が培ってきた特色ある教育とバランスを取りながら、奨励プログラムを実施する必要がある。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		各学校が、特色や地域性を活かしながら、今日的な教育課題に取り組めるよう事業を進める。									
	〔参考〕前年度 2次（部長）評価	現行で推移をみる									

事業に対する市民意見等									
※委＝行政評価委員会、パ＝パブリックコメント									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己								
市民意見等に対する回答			反映									
			一部反映									
			不採用									
			実施済み									
			参考									
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい	
			中位			●	中位				中位	
			上がっていない				低い				小さい	
	施策への貢献度		高い		●	事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
			中位				●	中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い	
現状の課題		・全校が共通課題に取り組むためのプログラム提案や成果の発表、交流機会の手法										
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 現代的課題への対応や、各学校の特色ある主体的な取組が推進されるよう、これまでの実績、成果などをまとめ学校や地域への情報提供を図るなど効果的な実践と理解が図られるよう努める。										

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 17	事業名	小中学校施設整備事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策(小)	3	教育環境の整備							
平成24年度担当	所管	生涯学習部 総務企画課	課長	上田 均	担当	工藤 正美	電話	72-3164	内線	403
前年度担当	所管	生涯学習部 総務企画課	課長	上田 均	担当	田口 昇				
予算科目	会計	一般会計 (10款 2・3項 3目)		事業名	小学校施設整備事業費、中学校施設整備事業費					
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等	耐震改修促進法、建築基準法									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 不詳 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	各小学校	→	対象数 13校
	各中学校	→	対象数 8校
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	安全で豊かな学校施設を確保するため各種整備事業を実施する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	総合計画に基づく学校施設整備事業 ・耐震診断及び耐震改修事業 ・暖房設備改修事業 ・老朽化等に伴う大規模改修事業		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	平成23年度までに必要な学校についての耐震診断が完了した。		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
・学校耐震化改修を重点的に取り組んだ。 ・児童数の増加に伴う緑苑台小増築に取り組んだ。 ・地域暖房供給事業終了に伴う暖房改修に重点的に取り組んだ。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			千円	67,198		226,729	3,000
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	19,915	25,148	471,070	18,000
		小計(A)	千円	87,113	25,148	697,799	21,000
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.35	0.65	0.65	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	3,085	6,181	6,181	・公立学校施設整備費国庫負担金 補助率1/2
		その他間接経費	千円				・学校施設環境改善交付金 補助率1/3
		小計(B)	千円	3,085	6,181	6,181	
		総コスト(A)+(B)	千円	90,198	31,329	703,980	
事業費の 用途等	学校耐震化(設計・改修) 72,227 千円 大規模改修事業 421,031 千円 暖房改修事業 85,607 千円 学校増築事業 118,934 千円						

27 - 17 小中学校施設整備事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	耐震診断実施学校数	校	目標値	12	-	1	0
			実績値	12	-	1	
			目標:事業計画	達成率	100.0	#VALUE!	100.0
	耐震補強改修事業実施学校数	校	目標値	2	-	3	2
			実績値	2	-	3	
			目標:事業計画	達成率	100.0	#VALUE!	100.0
	大規模改修事業実施学校数	校	目標値	1	-	3	1
			実績値	1	-	3	
			目標:事業計画	達成率	100.0	#VALUE!	100.0
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	学校耐震化率	%	目標値	80.8	86.3	94.7	97.3
			実績値	80.8	86.3	94.7	
			目標:事業計画	達成率	100.0	100.0	100.0
	大規模改修実施施設数	棟	目標値	2	0	5	1
			実績値	2	0	5	
			目標:事業計画	達成率	100.0	#DIV/0!	100.0
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価 (1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
			中位			●	中位				民間等でも実施可能
			低い			改善の余地あり				民間等が実施すべき	
現状の課題		耐震補強工事に併せて、老朽化が著しい施設の大規模改修工事を予定していたが、東日本大震災後、国の交付金採択は耐震化や安全対策を優先する状況となっている。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		耐震化工事の終了後、老朽施設大規模改修を中心に計画的な改修を実施する。									
	[参考] 前年度 2次 (部長) 評価	現行のペースで順次耐震化を図る。									

事業に対する市民意見等									
※委＝行政評価委員会、パ＝パブリックコメント									
なし									

部長評価 (2次)		担当部長		百井宏己								
市民意見等に対する回答			反映									
			一部反映									
			不採用									
			実施済み									
			参考									
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい	
			中位			●	中位				中位	
			上がっていない				低い				小さい	
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法		効果的		優先性	施策内における優先度	●	高い
			中位			●	中位					中位
			低い		改善の余地あり					低い		
現状の課題		・課長評価と同様										
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止										
		課長評価と同様										

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号		27 - 14		事業名		小中学校教育用コンピュータ整備事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいき活動するまち									
	策	2	学校教育の充実									
	策 (小)	3	教育環境の整備									
平成24年度担当		所管	生涯学習部 学校教育課		課長	蛭谷 学俊	担当	吉田 学	電話	72-3171	内線	432
前年度担当		所管	生涯学習部 学校教育課		課長	池田 幸夫	担当	吉田 学				
予算科目		会 計	一般会計 (10 款 2.3 項 1 目)			事業名		小中学校教育用コンピュータ整備事業費、中学校教育用コンピュータ整備事業費				
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)										
実施形態		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他										
根拠法令、条例等												
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 平成 4 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	→	対象数 21 校
	市内児童生徒	→	対象数 5,182 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)  成果指標		
	コンピュータを使った授業の充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)  活動指標		
	各小中学校のパソコン教室に児童生徒1人につき1台のパソコンを整備(最大40台)する。 その他、指導者用パソコン、カラープリンタ、液晶プロジェクタを整備している。 現在、契約期間5年間のリース契約としており、別途保守契約も締結している。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	平成2年に全国の公立小学校及び中学校に教育用コンピュータを整備するための国庫補助制度が創設された。 平成6年度から交付税措置され、学校の情報化への対応が求められている。		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			千円				
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	43,944	48,995	43,811	45,224
		小計(A)	千円	43,944	48,995	43,811	45,224
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.20	0.20	0.10	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	1,763	1,902	951	
		その他間接経費	千円				
事業費の 用途等	総コスト(A)+(B)			千円	45,707	50,897	44,762
	[直接事業費] ・小学校(13校)教育用コンピュータリース料:28,627千円 ・中学校(8校)教育用コンピュータリース料:14,682千円 ・保守委託料:502千円						

27 - 14 小中学校教育用コンピュータ整備事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	小学校コンピュータ更新実施校	校	目標値	1	1	0	5
			実績値	1	1	0	
			目標:更新計画	達成率	100.0	100.0	#DIV/0!
	中学校コンピュータ更新実施校	校	目標値	1	1	1	3
			実績値	1	1	1	
			目標:更新計画	達成率	100.0	100.0	100.0
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	コンピュータ1台あたりの児童・生徒数	人	目標値	3.6	3.6	3.6	3.6
			実績値	7.8	7.8	7.8	
			目標:文部科学省の「IT新改革戦略」に掲げられた教育の情報化の目標値	達成率	216.7	216.7	216.7
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価 (1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位			●	中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法	●	効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
			中位				中位				民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		国におけるコンピュータ1台当たりの児童・生徒数の目標数値を大きく下回っている。									
今後の方向性	事業内容	☐ 拡充 ☐ 手法改善 ☐ 縮小・統合 ☒ 継続・維持 ☐ 休止・廃止									
		児童生徒の学習に必要な環境づくりを進めるため、中長期的な展望に立った事業展開の検討を行う。									
		[参考] 前年度 2次 (部長) 評価	タブレット型PCなど、機器整備については常に新しいものを検討する必要がある。								

事業に対する市民意見等		※委＝行政評価委員会、パ＝パブリックコメント	
なし			

部長評価 (2次)		担当部長		百井宏己									
市民意見等に対する回答			反映										
			一部反映										
			不採用										
			実施済み										
			参考										
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい		
			中位			●	中位				中位		
			上がっていない				低い				小さい		
	施策への貢献度		高い		●	事業の実施方法			効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
			中位				●		中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い		
現状の課題		・教育の情報化の今後のあり方の検討											
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止											
		市としての今後の教育の情報化のあり方の検討を踏まえた整備に努める。											

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号		27 - 15		事業名		教育情報化整備事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいききと活動するまち									
	策	2	学校教育の充実									
	策 (小)	3	教育環境の整備									
平成24年度担当		所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	吉田 学	電話	72-3171	内線	432	
前年度担当		所管	生涯学習部 学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	吉田 学					
予算科目		会 計	一般会計 (10 款 1 項 4 目)			事業名		教育情報化整備事業費				
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)										
実施形態		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他										
根拠法令、条例等												
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 平成 21 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	→	対象数 21 校
	市内小中学校教職員	→	対象数 410 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	学校ICT環境の整備を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	・校務用及び教育用パソコンを整備する。 ・書画カメラを整備する。 ・学校ICT環境(校内LAN等)の保守管理を行う。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	H18年度に「IT新改革戦略」が決定、教育の情報化は国の重要な目標に位置付け。 H20年度に「教育振興基本計画」が決定、国において教育情報化の達成目標が明確化。 H21年度に国の「経済危機対策」関連事業を活用し、学校ICT環境の整備充実を図った。		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
平成23年度からの3年間で、小中学校の全クラスに書画カメラを整備することし、平成23年度については、小学校1・2年、中学校1年の全クラスに整備。 市内小中学校におけるICT活用に関する総合的な推進方策について検討を行うため、教育情報化推進検討委員会を設置。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			千円	170,574			
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	8,643	17,685	8,134	7,416
		小計(A)	千円	179,217	17,685	8,134	7,416
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.20	0.20	0.25	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	1,763	1,902	2,377	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	1,763	1,902	2,377	
		総コスト(A)+(B)	千円	180,980	19,587	10,511	
事業費の 用途等	教育情報化推進検討委員会旅費 87千円 情報化システム保守 1,460千円 校務用パソコン購入 3,051千円 書画カメラ購入 3,536千円						

27 - 15 教育情報化整備事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	校務用パソコン整備台数	台	目標値	331	7	16	6
			実績値	331	9	42	
			達成率	100.0	128.6	262.5	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	校務用コンピュータの整備率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100.0	100.0	100.0	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	普通教室の校内LAN整備率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	95.0	100.0	100.0	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	● 高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい
		中位			中位			中位
		上がっていない			低い			小さい
	施策への貢献度	● 高い		事業の実施方法	● 効果的		行政の関与	● 市が実施すべき
中位		中位	民間等でも実施可能					
低い		改善の余地あり	民間等が実施すべき					
現状の課題		書画カメラなどの教育指導におけるICT機器の整備を進める必要がある。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止						
		教育情報化推進検討会議の報告を踏まえ、今後の整備方針を定め事業を実施する。						
	[参考] 前年度 2次(部長)評価	校務の情報化推進による教員の負担軽減をさらに推し進める。授業・学習での情報化推進により、授業での習熟度を高める、自己学習への意欲を高める。このような点を中心に改善・拡充を図りたい。						

事業に対する市民意見等		※委＝行政評価委員会 パ＝パブリックコメント
・先進的な研究事例については、広く周知・PRすることにより、市全体にICT教育の浸透が図られていくものとする。[委] ・教育情報化推進には、ハード・ソフト両面の環境整備が不可欠であるが、特に指導体制の充実を図るため、創意工夫をもった事業展開を期待する。 [委]		

部長評価(2次)		担当部長	百井宏己						
市民意見等に対する回答		● 反映	今後のあり方について検討中であるが、ハードはもとより人的体制の整備も含めた内容となるよう取り進めている。						
		一部反映							
		不採用							
		実施済み							
		参考							
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	● 高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい	
		● 中位			● 中位			中位	
		● 上がっていない			● 低い			小さい	
	施策への貢献度	● 高い		事業の実施方法	● 効果的		優先性	施策内における優先度	● 高い
		● 中位			● 中位				● 中位
		● 低い			改善の余地あり				● 低い
現状の課題		・今後の教育の情報化のあり方の検討							
今後の方向性		○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止 書画カメラの計画的整備を図るとともに、今後の教育の情報化のあり方の検討を進め、具体的整備計画の作成に努める。							

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 28	事業名	学校給食事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち						
	策	2	学校教育の充実						
	策(小)	7	その他						
平成24年度担当	所管	生涯学習部 学校給食センター	課長	伊藤 和哉	担当	佐々木 浩	電話	64-0876	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 学校給食センター	課長	伊藤 和哉	担当	内村 裕之			
予算科目	会計	一般会計 (10款 6項 2目)			事業名	給食センター管理運営費			
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)								
実施形態	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
根拠法令、条例等	学校給食法、石狩市学校給食センター条例、石狩市学校給食センター条例施行規則								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 昭和 42 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	小中学校の児童・生徒	→	対象数 5,182 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	安全・安心でバランスの取れた学校給食を安定して供給できるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	・調理、配膳業務を石狩市公務サービス(株)に対して委託する。 ・配送業務を民間の運送業者に対して長期契約をする。 ・検食は、給食センター及び学校等で行う。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
	⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			千円				
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	232,454	243,299	274,336	280,864
		一般財源	千円	193,070	187,348	133,740	182,996
		小計(A)	千円	425,524	430,647	408,076	463,860
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	1.00	1.50	1.50	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員(厚田学校給食センター・浜路生涯学習課)	人	0.20	0.20	0.20	
		従事正職員の人件費	千円	10,576	16,166	16,166	給食費収入
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	10,576	16,166	16,166	
		総コスト(A)+(B)	千円	436,100	446,813	424,242	
事業費の 用途等	・調理・配膳業務等 80,695千円 ・配送業務 22,890千円 ・その他センター管理運営等 30,155千円 ・食材費 274,336千円						

27 - 28 学校給食事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	給食提供日数	日	目標値	190	190	190	190
			実績値	190	190	190	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	調理数	食	目標値	953,540	952,470	962,031	981,429
			実績値	953,540	956,987	977,983	
			達成率	100.0	100.5	101.7	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価 (1次)									
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい	
		中位			● 中位			中位	
		上がっていない			低い			小さい	
	施策への貢献度	● 高い		事業の実施方法	● 効果的		行政の関与	市が実施すべき	
		中位			中位			● 民間等でも実施可能	
		低い			改善の余地あり			民間等が実施すべき	
現状の課題		東日本大震災により、食材の確保が厳しくなり、献立の工夫をするなどし栄養価の充足率を補っている。							
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止							
		PFIも含めた手法の検討を行う。							
	[参考] 前年度 2次 (部長) 評価	通常の事業のほかに建て替え等の検討事業を加える。							

事業に対する市民意見等		※委＝行政評価委員会、パ＝パブリックコメント
なし		

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位				中位
		低い		改善の余地あり			低い				
現状の課題		・安全・安心で地場の食材の確保 ・食材確保、調理、配送等の専門性を高めた効率的、効果的手法の検討									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 施設の整備を視野に入れた給食事業の運営について、総合的な検討に努める。									

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号		27 - 30		事業名		奨学金支給事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち									
	策	2	学校教育の充実									
	策 (小)	7	その他									
平成24年度担当		所管	生涯学習部 学校教育課		課長	蛭谷 学俊	担当	山下 和乃	電話	72-3171	内線	428
前年度担当		所管	生涯学習部 学校教育課		課長	池田 幸夫	担当	山下 和乃				
予算科目		会 計	一般会計 (10 款 1 項 5 目)			事業名		奨学金支給事業費				
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)										
実施形態		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他										
根拠法令、条例等		石狩市奨学金支給条例										
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 昭和 49 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	経済的な理由によって修学困難な学生、生徒		→ 対象数 不詳
			→ 対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	学生、生徒を修学しやすくする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	奨学金を支給する。 ・選考基準(経済的理由のために進学のために恵まれない者又は修学が困難な者について、学業、身体、家計などについて検討)に基づき奨学生を選考する。 ・奨学金は年2回支給(月額: 高校5,000円、大学7,000円、入学支度金: 高校5,000円、大学10,000円)		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
年2回に分けて支給していたが、支給時期を7月1回に変更した。			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			千円				
事業のコスト		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	3,292	3,238	3,481	3,826
		一般財源	千円				
	小計(A)		千円	3,292	3,238	3,481	3,826
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.10	0.20	0.20	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	881	1,902	1,902	石狩市奨学基金(100%)
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	881	1,902	1,902	
事業費の用途等	総コスト(A)+(B)		千円	4,173	5,140	5,383	
	奨学生への奨学金支給		3,481千円				

27 - 30 奨学金支給事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	申請件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	70	92	84	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	支給人数	人	目標値	47	49	51	
			実績値	47	47	50	
			達成率	100.0	95.9	98.0	
	目標: 予算措置数		目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価 (1次)												
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい	
		●	中位			●	中位			●	中位	
			上がっていない				低い				小さい	
	施策への貢献度		高い		●	事業の実施方法	●		効果的	行政の関与	●	市が実施すべき
		●	中位						中位			民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき	
現状の課題		基金を原資としていることから、将来的な財源確保が必要である。										
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止										
		当面は、現行どおり進める。										
		〔参考〕前年度 2次（部長）評価	当面、現状どおりとする。									

事業に対する市民意見等									
※委＝行政評価委員会、パ＝パブリックコメント									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己										
市民意見等に対する回答			反映											
			一部反映											
			不採用											
			実施済み											
			参考											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい			
			中位			●	中位				中位			
			上がっていない				低い				小さい			
	施策への貢献度		高い		●	中位	事業の実施方法			効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
			中位						●	中位				低い
			低い				改善の余地あり						低い	
現状の課題		・財源の確保 ・社会の環境の変化や要請に応えた制度のあり方												
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 社会の環境の変化や要請に応えた制度のあり方について、持続可能な仕組みとなるよう検討に努める。												

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号		29 - 1		事業名		芸術鑑賞会開催事業					
総合計画	テ	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	施	策	4	芸術・文化の振興							
	施	策 (小)	1	芸術・文化団体の支援や文化交流							
平成24年度担当		所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作	電話	72-3173	内線	
前年度担当		所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	板谷 英郁				
予算科目		会 計	一般会計 (10 款 5 項 4 目)			事業名		文化振興事業費			
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等											
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 不詳 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	石狩市民	→	対象数 61,000 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	教育活動の振興や地域における教育環境の改善、充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
	・情操教育スタートプログラム「おしゃべランド」：全小学校1年生を対象に、ピアノの伴奏と照明効果によって演出した絵本の朗読劇 ・情操教育セカンドプログラム「The Music」(試行)：中学1年生を対象に、プロのジャズミュージシャンが作り出す即興演奏と、生徒との競演を体験するプログラム ・あい風コンサート：小規模の小学校を対象に開催(聚富、八幡、生振、浜益、厚田、望来、石狩) ・美術館へ行こう！：中学1年生を対象に、地元で世界的に貴重な美術作品を所蔵する「石狩美術館」の鑑賞 ・ロビーコンサート・ロビー展：参加希望を募り月1回どちらかを開催		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市教育プラン		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
PTAからは、情操教育セカンドプログラムも、対象校を広く実施して欲しいという声がある。			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
新たに「美術館へ行こう！」を実施し、5中学校、430人の生徒が鑑賞した。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	667	717	1,277	1,086
	小計(A)		千円	667	717	1,277	1,086
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.55	0.60	0.81	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員(厚田生涯学習課)	人	0.05	0.05	0.01	
		従事正職員の人件費	千円	5,288	6,180	7,797	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	5,288	6,180	7,797	
	総コスト(A)+(B)		千円	5,955	6,897	9,074	
事業費の 使途等	おしゃべランド		403 千円				
	The Music		99 千円				
	あい風コンサート		210 千円				
	美術館へ行こう！		366 千円				
	ロビーコンサート・ロビー展		58 千円				
	その他		141 千円				

29 - 1 芸術鑑賞会開催事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	情操教育スタートプログラム実施校	校	目標値	14	13	12	13
			実績値	14	13	12	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	あい風コンサート実施校	校	目標値	7	7	7	7
			実績値	7	7	7	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	ロビーコンサート・ロビー展実施回数(市民文化祭開催月を除く)	回	目標値	11	11	11	11
			実績値	9	9	10	
			達成率	81.8	81.8	90.9	
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	情操教育スタートプログラム参加者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	531	579	626	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	あい風コンサート鑑賞者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	452	414	496	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	ロビーコンサート・ロビー展来場者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	684	1,651	1,542	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義		大きい
		●	中位			●	中位			●	中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い			効果的			行政の関与	●	市が実施すべき
		●	中位		●	中位				民間等でも実施可能	
			低い				改善の余地あり			民間等が実施すべき	
現状の課題		授業時数の確保が難しくなる中で、学校、保護者の理解を得ながら、多くの児童生徒に質の高いプログラムを提供する必要がある。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		試行プログラム(The Music)をアンケート調査などにより改善し広く実施する。									
	[参考] 前年度 2次(部長)評価	23年度から情操教育に新たに美術館鑑賞を加えるほか、あい風コンサート等も改善を図っていく。									

事業に対する市民意見等	
なし	

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己											
市民意見等に対する回答			反映												
			一部反映												
			不採用												
			実施済み												
			参考												
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい				
		●	中位			●	中位				中位				
			上がっていない				低い				小さい				
	施策への貢献度		高い			●	事業の実施方法				効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位							●	中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い				
現状の課題		・各学校の教育課程と芸術鑑賞会事業の意義との連動、連携													
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止													
		各学校との連携を図り、効果的な子どもたちへの芸術鑑賞機会の提供に努める。													

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号		31 - 4		事業名		沖縄県恩納村交流事業						
総合計画	テ	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち								
	施	策	6	国内・国際交流の推進								
	施	策 (小)	5	その他								
平成24年度担当		所管	生涯学習部 総務企画課		課長	上田 均	担当	吉田 雅人	電話	72-3169	内線	402
前年度担当		所管	生涯学習部 総務企画課		課長	上田 均	担当	寺嶋 英樹				
予算科目		会 計		一般会計 (10 款 1 項 4 目)			事業名		沖縄県恩納村交流事業拠出金			
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)										
実施形態		☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☒ その他										
根拠法令、条例等		石狩市・恩納村生徒交流事業実施要綱										
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 平成 2 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内中学校生徒(対象校)	→	対象数 不詳
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	中学生による沖縄県恩納村と石狩市との相互の交流を促進する。		成果指標
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	石狩市・恩納村生徒交流委員会に対し、交流経費(派遣・受入)の一部を交付する。		活動指標
	④事業実施の背景・個別計画等		
	恩納村は昭和62年、石狩市は平成元年に、国体の「ソフトボール」競技開催地となったことがきっかけで、交流が始まった。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
派遣にかかる個人負担の軽減が求められている。			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
・前回派遣時よりも補助を増額し、自己負担割合の軽減を図った結果、参加生徒数減少を解消できた。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	514	178	844	280
		小計(A)	千円	514	178	844	280
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.20	0.17	0.22	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	1,763	1,617	2,092	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	1,763	1,617	2,092	
		総コスト(A)+(B)	千円	2,277	1,795	2,936	
事業費の 用途等	・石狩市・恩納村生徒交流委員会拠出金 844 千円						

31 - 4 沖縄県恩納村交流事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	派遣回数	回	目標値	1	0	1	
			実績値	1	0	1	
			達成率	100.0	#DIV/0!	100.0	
	受入回数	回	目標値	0	1	0	1
			実績値	0	1	0	
			達成率	#DIV/0!	100.0	#DIV/0!	
			目標値				
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	派遣生徒数	人	目標値	25	0	20	
			実績値	15	0	16	
			達成率	60.0	#DIV/0!	80.0	
	受入生徒数	人	目標値	0	20	0	20
			実績値	0	18	0	
			達成率	#DIV/0!	90.0	#DIV/0!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	☒	上がっている	効率性	費用対効果	☐	高い	妥当性	事業実施の意義	☒	大きい
		☐	中位			☐	中位			☐	中位
		☐	上がっていない			☒	低い			☐	小さい
	施策への貢献度	☐	高い		事業の実施方法	☐	効果的		行政の関与	☒	市が実施すべき
		☒	中位			☒	中位			☐	民間等でも実施可能
		☐	低い			☐	改善の余地あり			☐	民間等が実施すべき
現状の課題		経費の多くが参加者の自己負担であり、参加者を広く募る上では、費用負担の軽減が必要である。									
今後の方向性	事業内容	☐ 拡充 ☒ 手法改善 ☐ 縮小・統合 ☐ 継続・維持 ☐ 休止・廃止									
		派遣人数の減少などにより、参加者の費用負担の見直しを図る。									
	[参考] 前年度2次(部長)評価	昨今の経済情勢により、少なからず市民生活は総じて経済的圧迫が生じているものと推測される。自己負担の多寡により参加できないということのないよう、できる限り公費負担の確保を図りたい。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答											
		反映									
		一部反映									
		不採用									
		実施済み									
		参考									
有効性	期待する成果	● 上がっている		効率性	費用対効果	● 高い		妥当性	事業実施の意義	● 大きい	
		● 中位				● 中位				● 中位	
		● 上がっていない				● 低い				● 小さい	
	施策への貢献度	● 高い			事業の実施方法	● 効果的		優先性	施策内における優先度	● 高い	
		● 中位				● 中位				● 中位	
		● 低い				改善の余地あり				● 低い	
現状の課題		・課長評価と同様									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		自己負担の軽減を図り、参加環境の整備を図るよう事業費の確保に努める。									

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 10	事業名	生徒指導上の諸問題対策事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち			5	心豊かに学びいきいきと活動するまち		
	策	2	学校教育の充実			2	学校教育の充実		
	策 (小)	3	教育環境の整備			4	いじめなどの問題や不登校への対応		
平成24年度担当	所管	生涯学習部 教育支援センター	課長	西田 正人	担当	川畑 昌博	電話	76-6798	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 教育支援センター	課長	西田 正人	担当	川畑 昌博			
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 4目)			事業名	教育支援センター事業費			
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)								
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
根拠法令、条例等	北海道青少年健全育成条例								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 16 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	児童生徒・保護者及び教員等	→	対象数 7,000 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	いじめや非行行為などの改善及び青少年の有害環境の整備や防犯対策などにより子どもたちの健全育成を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	・児童生徒のいじめや非行行為、問題行動などに対し、保護者や学校からの相談受理及び警察や児童相談所、その他関係機関と連携した支援を実施する。 ・いじめの早期発見、早期対応のため「いじめ通報ホットライン」を設置する。 ・北海道青少年健全育成条例に基づき市内コンビニエンスストア等に有害図書等の立ち入り調査を行う。 ・子どもたちを地域で見守る「スクールガード」や「声かけ運動」の推進する。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	・青少年の不良化防止を目的に道では北海道青少年健全育成条例を制定し、環境の整備などを行っている。 ・子どもたちが被害者となる殺傷事件やいじめの問題などが社会問題となり、それらへの対応が強化されている。		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
いじめに関して、市内全ての小中学校において児童生徒を対象としたアンケートを実施し、いじめの実態把握を強化した。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			千円				
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円	1,644	141		
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	3,656	2,881	2,836	3,852
		小計(A)	千円	5,300	3,022	2,836	3,852
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	1.25	1.25	1.25	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	11,016	11,886	11,886	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	11,016	11,886	11,886	
		総コスト(A)+(B)	千円	16,316	14,908	14,722	
事業費の 用途等	・人件費 1699千円 (自立支援員・少年指導巡回謝金、相談員報酬) ・施設維持費 551千円 (除雪作業、修繕費、警備委託、火災保険 など) ・光熱水費(暖房用燃料費含) 392千円 ・車輛維持費(ガソリン代含) 105千円 ・通信費 57千円 (電話代、ADSL など) ・その他経費 32千円						

27 - 10 生徒指導上の諸問題対策事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	青少年健全育成条例に基づく立入調査回数	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	小中学校を対象としたいじめ実態調査実施回数	回	目標値	2	2	4	4
			実績値	2	2	4	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
			目標値				
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	青少年健全育成条例違反件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	0	0	0	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	いじめの認知件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	111	77	44	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価 (1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位				中位				中位
			上がっていない			●	低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
			中位				中位				民間等でも実施可能
			低い			●	改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		・学校だけでは対応しきれない諸問題が発生した時の迅速な対応が必要。 ・いじめの未然防止に向けた、児童生徒が主体となる取り組みの工夫が必要。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		複雑多岐にわたる諸問題の迅速な対応を図るため、研修等を取り入れるなど、引き続き学校や関係機関等の意見を十分取り入れながら改善に向けて取り組む。									
	[参考] 前年度 2次 (部長) 評価	成果がより見えるような取り組みにシフトするよう、常に改善の視点をもって取り組む。									

事業に対する市民意見等		※委＝行政評価委員会、パ＝パブリックコメント
・実態調査では「いじめの認知件数」は減少傾向にあるが、潜在的ないじめ自体は減っていないとの認識を持っている。今後も、関係部局との連携や要保護児童対策地域協議会などの関係機関の取組みを強化していく必要がある。〔委〕 ・実態調査（アンケート調査）については、いじめ根絶のため内容をもっと掘り下げるなど、工夫の余地があると考え。〔委〕		

部長評価 (2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答		●	反映	・いじめについては、学校だけではなく、教育委員会も一体となり、未然防止をはじめ早期発見と早期対応に努めている。今後は、いじめに対する研修機会やよりよい学級づくりの取り組み、さらには、生徒指導等に関わる体制の整備に努める。							
		一部反映									
		不採用									
		実施済み									
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位			中位	
		上がっていない			低い		小さい				
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位			中位	
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		・複雑、困難事例等に対応するサポート体制 ・学校における組織的な取組の位置付けや機能する体制づくり									
今後の方向性		○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止 いじめや不登校、問題行動など、支援や各種対応における市としての方針を明らかにするとともに、関係機関とのより一層の連携を図り、複雑、困難事例等への対応に努める。									

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号		27 - 7		事業名		体力・運動能力向上推進事業						
総合計画	テ	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち								
	施	策	2	学校教育の充実								
	施	策 (小)	1	学習内容・学習指導の充実								
平成24年度担当		所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	山下 和乃	電話	72-3171	内線	428	
前年度担当		所管	生涯学習部 学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	山下 和乃					
予算科目		会 計	一般会計 (10 款 1 項 3 目)			事業名		地域教育推進事務費				
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)										
実施形態		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他										
根拠法令、条例等												
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 平成 22 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	→	対象数 21 校
	児童生徒	→	対象数 5,182 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	各小中学校が体力・運動能力向上対策に向けた様々な取組を進めやすくする。 児童生徒の体力・運動能力が向上するとともに、運動習慣が定着するようにする。		
	→ 成果指標		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	→ 活動指標 ・体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、児童生徒の状況を把握する。 ・各小中学校での取組を推進するとともに、スポーツまつりなどの参加を働きかける。 ・市のスポーツソフトボールを小中学校授業などで取り組めるよう支援するとともに、Tボールなど遊びを通した体力向上策を試験的に行う。(ソフトボール協会から指導者を派遣)		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	全国的に児童生徒の体力運動能力が低下しているといわれる中、平成22年度に策定した教育プランの重点施策のひとつとして体力運動能力向上の推進を位置づけている。		
⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業 の コスト				単位	H2 1	H2 2	H2 3 (見込)	H2 4 (予算)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円		100		
	小計 (A)			千円	0	100	0	0
	人件費等	正職員従事人数 (担当課)		人		0.25	0.01	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員 ()		人				
		従事正職員の人件費		千円	0	2,377	95	
その他間接経費		千円						
小計 (B)		千円	0	2,377	95			
総コスト (A)+(B)			千円	0	2,477	95		
事業費 の 使途等								

27 - 7 体力・運動能力向上推進事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	体力・運動能力、運動習慣等調査実施児童生徒数(小5児童及び中2生徒)	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	1,069	1,043	1,139	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	ソフトボール指導者派遣延べ人数	人	目標値	-	未設定	未設定	未設定
			実績値	-	39	39	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	体力・運動能力、運動習慣等調査実技調査の合計T得点(小5、男子・女子の平均値)	T得点	目標値	未設定	未設定	50	50
			実績値	47	46.8	47.3	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	94.6	
	体力・運動能力、運動習慣等調査実技調査の合計T得点(中2、男子・女子の平均値)	T得点	目標値	未設定	未設定	50	50
			実績値	47	44.6	45.9	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	91.8	
		チーム	目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位			●	中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法	●	効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
			中位				中位				民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		学校の授業や行事、学校単位でのスポーツイベントの参加は欠かせないが、事業時数などの問題から限界があり、家庭との連携が必要。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		当面、現行内容を継続する。									
		〔参考〕前年度 2次(部長)評価	引き続き、現行通り実施していく								

事業に対する市民意見等									
※委＝行政評価委員会、パ＝パブリックコメント									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位			●	中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
			中位			●	中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		・学校の授業における体力向上に関わる時間の確保									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 各学校における学校教育活動全般の中での取組の工夫を求めるとともに、継続的な体力づくりの実践に結びつくような各種イベントを通したきっかけづくりや、地域スポーツ活動の情報提供などに努める。									

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号	27 - 5	事業名	子どもへの暴力防止プログラム事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策 (小)	1	学習内容・学習指導の充実							
平成24年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	吉田 学	電話	72-3171	内線	432
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	吉田 学				
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 1 項 3 目)			事業名	子どもへの暴力防止プログラム事業費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☒ その他									
根拠法令、条例等										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 22 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小学校	→	対象数 13 校
	市内児童(3年生)	→	対象数 536 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	市内の児童に自分の心と身体を大切に生きていくための人権意識を育てると同時に、いじめ、虐待、性暴力、誘拐などの様々な暴力から自分を守るためのすべを身につけるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	各小学校で、3年生を対象に「北海道CAPをすすめる会」が行う「子どもが暴力から自分を守るための教育プログラム(CAPプログラム)」を活用できるように市が経費を負担する。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市教育プラン・次世代育成支援行動計画後期計画「こども・あいプラン」		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業の コスト				単位	H2 1	H2 2	H2 3 (見込)	H2 4 (予算)	
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			道支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
			一般財源	千円		522	456	460	
	小計 (A)			千円	0	522	456	460	
	人件費等	正職員従事人数 (担当課)			人		0.15	0.01	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員 ()			人				
		従事正職員の人件費			千円	0	1,426	95	
その他間接経費			千円						
小計 (B)			千円	0	1,426	95			
総コスト (A)+(B)			千円	0	1,948	551			
事業費の 使途等									
	子どもプログラムにかかる経費		246千円						
	大人プログラムにかかる経費		210千円	(保護者・教職員)					

27 - 5 子どもへの暴力防止プログラム事業

	指 標 名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
活動指標	実施学校数	校	目標値	-	13	13	13
			実績値	-	13	13	
			達成率	#VALUE!	100.0	100.0	
	プログラム延べ実施回数	回	目標値	-	未設定	52	53
			実績値	-	63	54	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	103.8	
	目標:事業計画		目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指 標 名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	プログラムを受けた延べ児童数	人	目標値	-	未設定	564	609
			実績値	-	817	562	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	99.6	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価 (1次)									
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	● 高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい	
		中位			中位			中位	
	施策への貢献度	● 上がっていない		事業の実施方法	● 効果的		行政の関与	● 市が実施すべき	
		中位			中位			民間等でも実施可能	
		低い			改善の余地あり			民間等が実施すべき	
現状の課題		事業の効果を得るためには継続的な実施が必要である。							
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止							
		プログラムの成果を得るためには、継続して実施することが必要であり、引き続き実施する。							
	[参考] 前年度 2次(部長)評価	当面現状どおりとし、各学年が均等にプログラム経験を有するようにする。その後、小学校高学年、あるいは中学生でのセカンドプログラムの実施を検討していきたい。							

事業に対する市民意見等									
※委＝行政評価委員会、パ＝パブリックコメント									
なし									

部長評価 (2次)		担当部長		百井宏己					
市民意見等に対する回答		反映							
		一部反映							
		不採用							
		実施済み							
		参考							
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	● 高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい	
		● 中位			● 中位			中位	
	施策への貢献度	● 上がっていない		事業の実施方法	● 効果的		施策内における優先度	● 高い	
		● 中位			● 中位			中位	
		低い			改善の余地あり			低い	
現状の課題		・各学校におけるCAPプログラムを取り入れた効果的学習手法							
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止							
		CAPプログラムの実践の定着を図り、人権、いじめ、暴力などの視点を取り入れた学習の充実が図られるよう努める。							

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号		26 - 1		事業名		家庭教育支援事業					
総合計画	マ	5	心豊かに学びいききと活動するまち								
	策	1	生涯学習の推進								
	策 (小)	1	学習情報の提供と相談体制の整備・充実								
平成24年度担当		所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作	電話	72-3173	内線	
前年度担当		所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	板谷 英郁				
予算科目		会 計	一般会計		(10 款 5 項 3 目)	事業名		家庭教育支援事業			
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等											
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 平成 23 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	中学生までの子どもを持つ親	→	対象数 17,000 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	子どもが心身共に健康に育つために、望ましい生活習慣を身につけさせるための教育力をつける。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	家庭教育に関する講座の開催や、子どもと親が関わって楽しみながら生活習慣を改善できるような取り組み、広報等を使った啓発活動などをする。 ※H22年は、公民館講座の中で幼児を持つ親を対象にした「びよびよ広場」と携帯電話に関する「講座」を実施し、広報いしかりで食育に関する特集を組んで啓蒙活動をした。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	平成22年度全国学力・学習状況調査」によると、石狩市は朝食を食べる割合、家庭学習をする割合が石狩市は低く、テレビやゲームをする時間が長いという結果が出ており、基本的な生活習慣の改善が必要であると考えられる。		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
平成22年度の社会教育委員の会議において、家庭教育及び地域教育の推進を推進すべきであると提言された。			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
石狩市PTA連合会と協働して、親子で生活習慣について考えたり見直したりする機会となるよう「いしかりっ子いきいきカルタ」を作製した。 ・読み札応募1,689作品 ・完成品は小学校、幼稚園、保育所、児童館等に配布 ・広報いしかりに特集ページとして掲載 ・1月にあいぽーにてカルタ大会を開催			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			千円				
事業のコスト	事業費	国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			392	300
	小計(A)		千円	0	0	392	300
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人			0.58	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	0	0	5,515	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	0	0	5,515	
	総コスト(A)+(B)		千円	0	0	5,907	
事業費の用途等	生活習慣カルタ作成 カルタイラスト謝金 100千円 カルタ印刷費 262千円 賞状・ポスター印刷費 30千円						

26 - 1 家庭教育支援事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 21	H 22	H 23	H 24
	家庭教育支援事業数	事業	目標値			1	1
			実績値			1	
			達成率			100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H 21	H 22	H 23	H 24
	参加者数 (応募者数等事業に関わった人を含む)	人	目標値			未設定	未設定
			実績値			909	
			達成率			#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価 (1次)											
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義		大きい
		●	中位				中位			●	中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
		●	中位			●	中位				民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		生活リズムや家庭学習習慣などの課題は数多いが、具体的な改善策の設定は非常に困難であり、さまざまな手法をトライしながら進めていく以外取組みは難しい。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		昨年度作成したカルタの有効活用など種々の取り組みを進めていく。									
		[参考] 前年度 2次 (部長) 評価									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価 (2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		・子どもに対する教育はもとより親自身や親子の学習機会の設定 ・具体的取組に当たったのテーマや手法									
今後の方向性		○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止 当面、現在テーマとしている「望ましい生活習慣」を基に、手法の検討、工夫を重ね、実践を通して家庭教育支援に努める。									

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号	28 - 5	事業名	石狩市PTA連合会運営支援事業							
総合計画	テ	マ	5	心豊かに学びいききと活動するまち						
	施	策	3	青少年の健全育成						
	施	策 (小)	1	青少年健全育成をめざした取組の支援						
平成24年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作	電話	72-3173	内線	
前年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	板谷 英郁				
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 5 項 3 目)			事業名	PTA連合会補助金				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 昭和 60 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内20単位PTAの連合体である石狩市PTA連合会		→ 対象数 1 団体
			→ 対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	教育活動の振興や地域における教育環境の改善、充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	市内教育の振興に寄与するための活動を行う「石狩市PTA連合会」に対し運営費の一部を補助する。 ・補助対象経費の1/2以内を団体へ補助。 (補助対象経費～会議費、消耗品費、通信運搬費、旅費、事業費、負担金) ・市内単位PTAの連絡調整を行う。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	全国的に、現在の教育問題の多様化に対応するため、PTAと地域との連携がより重要となってきた。		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
市PTA連合会事務局より、事業実施に際して、市バス運行の要望があった。			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
石狩市PTA連合会の協力を得て、市内の子どもたちから募集した読み札を選考し、生活習慣改善カルタを作製・大会を開催した。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			千円				
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	328	328	328	328
		小計(A)	千円	328	328	328	328
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.01	0.10	0.13	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	88	951	1,236	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	88	951	1,236	
		総コスト(A)+(B)	千円	416	1,279	1,564	
事業費の 用途等	石狩市PTA連合会への運営費補助 328千円						

活動指標	指標名	単位	項目	H 21	H 22	H 23	H 24
	石狩市PTA連合会研究大会開催回数	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	石狩管内PTA連合会ブロック単位PTA会長会議開催回数	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
			目標値				
成果指標	指標名	単位	項目	H 21	H 22	H 23	H 24
	石狩市PTA連合研究大会参加者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	350	250	200	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	石狩管内PTA連合会ブロック単位PTA会長会議参加者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	33	35	18	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位			●	中位
	施策への貢献度	●	上がっていない		事業の実施方法	●	低い		行政の関与	●	小さい
		●	高い			●	効果的			●	市が実施すべき
		●	中位			●	中位			●	民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		社会には未来を担う子どもを育てる責務があり、学校・家庭・地域が一体となった取り組みが必要とされている中で、その一役を担うPTA活動のより一層の連携が求められている。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		情報の共有などを進めながら、PTA連合会と連携を図り、活動の活性化を図る。									
	[参考] 前年度2次(部長) 評価	協働事業として今年度手始めに家庭教育推進カルタの作成を協働で取り組んでいる。今後さらに連携を深める取組を見い出ししていく必要がある。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位				中位
			低い		改善の余地あり						低い
現状の課題		・団体の主体性を尊重しつつ、現代的課題への対応や市で取組む施策との一層の連携 ・団体活動における不参加層へのアプローチ									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 ・望ましい生活習慣の確立など、今求められているテーマにより、単位PTAや連合会との情報交換を進めるとともに、学習や研修、交流機会などにおいて具体的連携の推進に努める。									

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号	26 - 3	事業名	生涯学習講座開催事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち						
	策	1	生涯学習の推進						
	策 (小)	2	学習機会の整備・充実						
平成24年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作	電話	72-3173	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	板谷 英郁			
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 5 項 5 目)		事業名	生涯学習講座開催費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)								
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☒ その他								
根拠法令、条例等	社会教育法、石狩市公民館設置条例、いしかり市民カレッジ開設要綱								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 昭和 62 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	石狩市民	→	対象数 61,000 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	教育活動の振興や地域における教育環境の改善、充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	市民ニーズや地域課題、年齢層別課題等に基づいた内容の講座を企画実施する。 [実施事業] ・いしかり市民カレッジ⇒市民団体との協働事業で、市民主体で市民講座を開催する本市の新たな学習システム ・はまなす学園⇒シニア世代を対象に、通年で同メンバーと一緒に学び、交流する場(81人×16回+クラブ活動、学園祭) ・公民館分館講座⇒美登位分館、樽川分館にて開催する地域住民を対象とした講座 ・厚田：おらが元気塾 浜益：生きがいづくり学園⇒両区におけるシニア向け講座		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
	いしかり市民カレッジの受講者アンケートでは、カレッジでしか学べないような地元のことを深く掘り下げた講座への評価が高い。はまなす学園生から、秋の学園祭の発表に向けた自主的なクラブ活動が充実してきたという声が聞かれる。		
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
いしかり市民カレッジにおいて、地元の高等教育機関である藤女子大学との共催講座を開催し、内容の充実を図った。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			千円				
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	183	95	56	130
		一般財源	千円	631	636	296	393
		小計(A)	千円	814	731	352	523
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	2.20	1.70	1.71	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員(両支所生涯学習課)	人	0.65	0.55	0.38	
		従事正職員の人件費	千円	25,117	21,395	19,873	講座参加料
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	25,117	21,395	19,873	
		総コスト(A)+(B)	千円	25,931	22,126	20,225	
事業費の 用途等	いしかり市民カレッジ 125千円 (消耗品、印刷製本費の一部。それ以外はカレッジの会計で賄っている) はまなす学園 98千円 (講師謝金) 公民館分館講座 54千円 (講師謝金) 厚田・浜益区講座 18千円 (厚田区講師謝金。浜益区は講師謝金をかけずに実施) その他 57千円 (消耗品)						

26 - 3 生涯学習講座開催事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	講座開設数	コマ	目標値	未設定	未設定	未設定	111
			実績値	112	137	104	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	上記のうち「いしかり市民カレッジ」主催講座数	コマ	目標値	未設定	未設定	未設定	36
			実績値	31	48	48	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	講座応募者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	1,397	1,992	2,049	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	講座参加者延べ人数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	3,154	3,497	3,366	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	いしかり市民カレッジの登録者数	人	目標値	200	200	200	200
			実績値	159	209	200	
			達成率	79.5	104.5	100.0	
	いしかり学びをつくる会会員数(いしかり市民カレッジを運営する市民団体)	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	24	25	23	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	

課長評価 (1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与		市が実施すべき
			中位			●	中位			●	民間等でも実施可能
			低い			改善の余地あり				民間等が実施すべき	
現状の課題		カレッジは市民協働の取り組みとして定着してきており、運営するボランティアの意欲も高いが持続可能な取り組みとするためには、運営者の確保について検討する必要がある。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		市民主体で行われるべき協働事業であり、側面支援を継続する。									
	[参考] 前年度 2次 (部長) 評価	カレッジは成長を続けているので、当面現行とおりで取り組む。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位				中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
			中位			●	中位				中位
			低い		改善の余地あり					低い	
現状の課題		・市民主体による事業も充実期に入りつつあることから、高度化、多岐にわたる参加者ニーズへの対応 ・市民主体の取組や、必要課題、要求課題を勘案した行政としての学習機会等の設定									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		市民ニーズ、年齢対象、地域性などを考慮した学習機会が展開されているため、市民との協働、事業間の連携、学習成果の活用などを視点に一層の充実に努める。									

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号		26 - 7		事業名		公民館管理運営事業					
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち								
	策	1	生涯学習の推進								
	策 (小)	3	学習施設の内容および管理運営体制の充実								
平成24年度担当		所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作	電話	72-3173	内線	
前年度担当		所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	板谷 英郁				
予算科目		会 計	一般会計 (10 款 5 項 5 目)			事業名		公民館管理運営費			
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等		社会教育法、石狩市公民館設置条例									
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 昭和 62 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象 (この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	公民館 (本・分館)	→	対象数 3 カ所
	施設利用者	→	対象数 不詳
	②目的・意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	教育活動の振興や地域における教育環境の改善、充実を図る。		
	③手段 (具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	・公民館を生涯学習の場として提供すると共におよび教育機関として社会教育活動を推進するため団体・個人の支援を行う。 ・公民館等を利用する団体が成果を発表し、さらには会場にいる人々が交流する機会として「公民館まつり」を開催する。 ・石狩市公民館 (本館) ・石狩市公民館美登位分館 ・石狩市公民館樺川分館		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	⑤この事業に対する関係者 (住民、議会、事業対象者、利害関係者等) からの意見・要望等		
	老朽化しているので、利用者から施設を随時修理・改善してほしいとの声が多い。		
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
土日は職員がシフトを組んで2人勤務しているが、平日に比べて利用が多くないことから、H24年度からは管理人を委託して配置することにし、代わりにシフトを組むために増やしていた職員を減らすことで、人件費の削減及び業務の効率化を図ることを調整した。			

事業 の コスト				単位	H2 1	H2 2	H2 3 (見込)	H2 4 (予算)
	事業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円	864	795	662	1,109
			一般財源	千円	6,293	6,574	5,772	6,789
	小計 (A)			千円	7,157	7,369	6,434	7,898
	人 件 費 等	正職員従事人数 (担当課)	人	1.34	0.65	0.70	特定財源名及び補助率・充当率	
		正職員 ()	人					
		従事正職員の人件費	千円	11,809	6,181	6,656		
		その他間接経費	千円					
		小計 (B)	千円	11,809	6,181	6,656		
総コスト (A)+(B)			千円	18,966	13,550	13,090		
事業 費 の 使 途 等	消耗品費	250千円						
	修繕料	48千円						
	役務費 (火災保険料等)	109千円						
	施設維持管理委託料	5, 838千円						
	事務機器賃借料	183千円						
	協議会負担金	6千円						

26 - 7 公民館管理運営事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	公民館定期利用団体数 (本館)	団体	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	37	35	24	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	公民館利用件数 (本館及び分館)	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	2,511	2,435	2,160	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	公民館まつり参加団体数	団体	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	28	25	26	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	公民館利用者数 (本館及び分館)	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	42,679	40,475	36,373	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	公民館まつり来場者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	1,375	1,007	1,028	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価 (1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位			●	中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与		市が実施すべき
		●	中位			●	中位			●	民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり			●	民間等が実施すべき
現状の課題		公民館をはじめとする市社会教育施設の在り方について検討が必要である。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		老朽化した公民館の今後について、学び交流センターや他施設も含めた検討が必要である。									
		[参考] 前年度 2次 (部長) 評価	上記課題を踏まえ、市民の利用しやすさを念頭に常に改善を意識して行きたい。								

事業に対する市民意見等							
なし							

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己										
市民意見等に対する回答			反映											
			一部反映											
			不採用											
			実施済み											
			参考											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義		大きい			
			中位			●	中位				中位			
			上がっていない				低い				小さい			
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的		優先性	施策内における優先度	●	高い		
		●	中位			●	中位					中位		
	低い		改善の余地あり					低い						
現状の課題		・施設の老朽化 ・社会教育施設の今後のあり方												
		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止												
今後の方向性		図書館や資料館などの社会教育施設との連携を図るとともに、今後のあり方について検討に努める。												

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	26 - 4	事業名	図書館運営事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち						
	策	1	生涯学習の推進						
	策 (小)	2	学習機会の整備・充実						
平成24年度担当	所管	生涯学習部 市民図書館	課長	丹羽 秀人	担当	寺尾 陽助	電話	72-2000	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 市民図書館	課長	丹羽 秀人	担当	伊藤 英司			
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 5 項 9 目)			事業名	図書館運営費			
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)								
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
根拠法令、条例等	図書館法、石狩市民図書館条例								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 12 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	図書館利用者(市外も含む)	→	対象数 不詳
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	生涯学習及び地域文化創造の拠点として、また、情報発信の拠点として市民の学びをサポートする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	・図書館資料の収集(図書、雑誌、視聴覚資料等)及び提供 ・レファレンスサービスの実施 ・特集コーナー、特別展示の実施 ・土/日/祝日開館及び夜間開館(水/木は午後8時まで)、夏休み中5日間で30分早く開館 ※夜間・夏休みは本館のみ ・図書館施設維持管理 ・分館の設置(花川南、八幡、厚田、浜益) ※図書館協議会の提言を受けて運営。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市子どもの読書活動推進計画、石狩市民図書館ビジョン2010、石狩市教育プラン		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
分館充実の声が利用者からあがっている。			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
八幡分館で蔵書の大幅リニューアルを行った。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	85,204	87,098	88,699	93,477
	小計(A)		千円	85,204	87,098	88,699	93,477
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	4.05	3.40	3.40	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員(両支所生涯学習課)	人	0.10	0.25	0.09	
		従事正職員の人件費	千円	36,574	34,708	33,187	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	36,574	34,708	33,187	
	総コスト(A)+(B)		千円	121,778	121,806	121,886	
事業費の 用途等	図書館運営のために必要な必要 ・非常勤司書、臨時職員の人件費 27,705千円 ・図書及び視聴覚資料購入費 14,200千円 ・図書館維持管理、清掃業務等の委託 42,058千円 ・その他 4,736千円						

26 - 4 図書館運営事業

	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	開館日数 (本館)	日	目標値	285	286	292	291
活動指標			実績値	285	286	292	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	本の受入冊数 (全館分)	冊	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	(「本」には雑誌、視聴覚資料等も含む)		実績値	11,496	13,552	16,210	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	本館入館者数 (人)	人	目標値	未設定	未設定	未設定	300,000
成果指標			実績値	288,007	302,207	285,989	
	目標: 単年度計画		達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	図書館資料の貸出点数 (全館分)	点	目標値	未設定	未設定	未設定	600,000
			実績値	611,427	594,779	588,171	
	目標: 単年度計画		達成率				
	石狩市の人口に占める市民図書館利用登録者数の割合	%	目標値			35	35
			実績値	27.6	21.0	20.9	
	目標: 総合計画		達成率			59.7	

課長評価 (1次)											
有効性	期待する成果	☐	上がっている	効率性	費用対効果	☐	高い	妥当性	事業実施の意義	☐	大きい
		☒	中位			☒	中位			☒	中位
		☐	上がっていない			☐	低い			☐	小さい
	施策への貢献度	☐	高い		事業の実施方法	☒	効果的		行政の関与	☒	市が実施すべき
		☒	中位			☐	中位			☐	民間等でも実施可能
		☐	低い			☐	改善の余地あり			☐	民間等が実施すべき
現状の課題		来館者、貸出冊数、レファレンス件数などの増加が必要である。									
今後の方向性	事業内容	☐ 拡充 ☒ 手法改善 ☐ 縮小・統合 ☐ 継続・維持 ☐ 休止・廃止									
		学校との連携による登録者増など、これまでにない呼びかけを行う。									
		[参考] 前年度 2次 (部長) 評価	蔵書、レファレンスなどの基本サービスの充実を図るとともに、各種施設、機関、団体等との連携を図り、利用者の拡大を図る。								

事業に対する市民意見等							
なし							

部長評価 (2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位				中位
		上がっていない			低い		小さい				
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位				中位
		低い		改善の余地あり			低い				
現状の課題		・サービスや各種事業の定着による成果をもとにした、新たな利用者の開拓 ・生涯学習拠点施設としての機能、体制等の整備									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 学校図書館の整備や分館事業の充実による利用者の拡大を図るとともに、公民館や資料館等の社会教育施設との連携を図り、魅力ある生涯学習の推進に努める。									

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	29 - 4	事業名	石狩市民文化祭開催事業									
総合計画	テ	マ	5	心豊かに学びいききと活動するまち								
	施	策	4	芸術・文化の振興								
	施 策 (小)	1	芸術・文化団体の支援や文化交流									
平成24年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作	電話	72-3173	内線			
前年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	板谷 英郁						
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 5 項 4 目)				事業名	市民文化祭交付金					
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)											
実施形態	☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他											
根拠法令、条例等	石狩市民文化祭交付金交付要綱、石狩市民文化祭開催要綱											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 昭和 30 年度 ~ 未定 年度											

事業 の 内 容	①対象（この事業は誰、何を対象としていますか？）		
	石狩市民文化祭実行委員会	→	対象数 1 団体
		→	対象数
	②目的・意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか？）		成果指標
	教育活動の振興や地域における教育環境の改善、充実を図る。		
	③手段（具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します）		活動指標
	市民が主体となる市民文化祭を開催している実行委員会に交付金を交付するとともに、事務局として運営を支える。 主催事業 市民発表：石狩会場（舞台：詩吟、日舞、歌謡曲、三味線、琴、バトン、バレエ、フラダンス、ヒップホップ等） （展示：絵画、写真、書道、文芸、陶芸、手工芸、生け花、お茶等） 厚田会場、浜益会場、クリスマスコンサート 共催事業 いしかり菊花展 協賛事業 オータムコンサート		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	⑤この事業に対しての関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からの意見・要望等		
	⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		
これまでポスターは事務局が業者に委託して作っていたが、実行委員会のメンバーが案を作成したうえで意見集約してオリジナルデザインのものを作成した。			

事業 の コスト				単位	H2 1	H2 2	H2 3 (見込)	H2 4 (予算)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	952	952	952	952
	小計 (A)			千円	952	952	952	952
	人件費等	正職員従事人数 (担当課)	人	0.45	0.60	0.41	特定財源名及び補助率・充当率	
		正職員 (両支所生涯学習課)	人	0.35	0.35	0.60		
		従事正職員の人件費	千円	7,051	9,033	9,604		
その他間接経費		千円	1,117	1,117	1,400			
小計 (B)		千円	8,168	10,150	11,004			
総コスト (A)+(B)			千円	9,120	11,102	11,956		
事業費 の 使途等	実行委員会への交付金の内訳							
	・ 石狩会場	384千円						
	・ 厚田・浜益会場	207千円						
	・ その他事業	361千円						

29 - 4 石狩市民文化祭開催事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	会議開催数(市民発表部門・実行委員会、代表者会議)	回	目標値	8	7	7	6
			実績値	8	7	7	
	目標:事業計画		達成率	100.0	100.0	100.0	
	主催・共催・協賛事業数	件	目標値	5	5	4	4
			実績値	5	4	3	
	目標:事業計画		達成率	100.0	80.0	75.0	
			目標値				
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	文化祭入場者延べ人数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	5,985	5,843	6,113	
			達成率			#VALUE!	
	文化祭発表者数	組	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	182	171	169	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位			●	中位
	施策への貢献度		上がっていない		事業の実施方法		低い		行政の関与		小さい
		●	高い			●	効果的			●	市が実施すべき
		●	中位			●	中位			●	民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		市民手づくりの文化祭として定着してきているが、当面市のサポートを継続する必要がある。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		ジャンルの追加や地域間交流など、より多くの市民が文化・芸術に親しめるイベントとして実施していく。									
	〔参考〕前年度 2次(部長)評価	展示部門の作品群をこの文化祭だけでなく、連携した展示の機会を別セットできないか検討するなど、より効果的な方策も検討したい。									

事業に対する市民意見等											
なし											

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		・ 内容、演出の充実に向けた支援									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 市民主体による、企画、周知、運営などが進められつつある中で、文化活動の発表の場の確保はもとより、地域文化の保存交流や特色ある演出など、内容面での充実に向けた支援に努める。									

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号		29 - 2		事業名		石狩市文化協会運営支援事業					
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち								
	策	4	芸術・文化の振興								
	策 (小)	1	芸術・文化団体の支援や文化交流								
平成24年度担当		所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作	電話	72-3173	内線	
前年度担当		所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	板谷 英郁				
予算科目		会 計	一般会計 (10 款 5 項 4 目)			事業名		文化協会拠出金			
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態		☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等											
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 昭和 50 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	石狩市文化協会	→	対象数 1 団体
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	教育活動の振興や地域における教育環境の改善、充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	本市における文化団体の系統的組織化と、市民文化祭実行委員会の中心核として文化活動の振興に努めている石狩市文化協会の運営費の一部、および平成20年度から市から同協会へ主管を移した「俳句のまちいしかり」事業の経費の一部を補助する。 [実施事業] ・石狩市民文化祭 ・俳句事業 ・加盟団体活動支援 ・道内・管内事業への参加 ・芸術鑑賞事業開催 ・広報「かがやき」の発行等		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	市の文化振興のため、団体の設立時から支援している。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
石狩市文化協会からは様々な文化活動を展開する上での組織基盤の強化に協力して欲しいとの要望がある。			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
・平成23年4月にオープンした石狩市学び交流センターに事務所を構えて拠点づくりをし、新たに同センターを活用した主催講座を開催した。 ・俳句のまちいしかりこども俳句コンテストに、はじめて市内のすべての小中学校から応募があった。			

事業の コスト	事業費		財源内訳	国庫支出金	単位	H2 1	H2 2	H2 3 (見込)	H2 4 (予算)
				道支出金	千円				
				地方債	千円				
				その他	千円				
				一般財源	千円	1,795	1,795	1,795	1,845
				小計 (A)	千円	1,795	1,795	1,795	1,845
	人件費等	正職員従事人数 (担当課)		人	0.15	0.27	0.30	特定財源名及び補助率・充当率	
		正職員 ()		人					
		従事正職員の人件費		千円	1,322	2,567	2,853		
		その他間接経費		千円	745	745	600		
小計 (B)		千円	2,067	3,312	3,453				
総コスト (A)+(B)		千円	3,862	5,107	5,248				
事業費の 使途等	石狩市文化協会への拠出金 1,795千円 (人件費780千円、俳句事業250千円、その他765千円)								

29 - 2 石狩市文化協会運営支援事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	実施事業数(主催、関連行事・事業、管内事業)	回	目標値	未設定	未設定	未設定	49
			実績値	38	32	36	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	会議数(総会、各実行委員会等)	回	目標値	未設定	未設定	未設定	19
			実績値	31	24	17	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	加盟団体数	団体	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	65	64	60	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	会員数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	1,015	986	886	
			達成率	#REF!	#REF!	#REF!	
	俳句応募人数(大人+子ども)	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	1,080	1,439	2,171	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	

課長評価(1次)

有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位			●	中位
	施策への貢献度		上がっていない		事業の実施方法		低い		行政の関与		小さい
		●	高い			●	効果的			●	市が実施すべき
		●	中位			●	中位			●	民間等でも実施可能
			低い		改善の余地あり		民間等が実施すべき				
現状の課題		市の芸術文化振興のため、NPO法人である石狩市文化協会の組織強化が必要であり、市がサポートする必要がある。									
今後の方向性	事業内容	☐ 拡充 ☐ 手法改善 ☐ 縮小・統合 ☒ 継続・維持 ☐ 休止・廃止									
	[参考] 前年度 2次(部長)評価	必要なサポートによる安定的な運営を図る。									
		法人化したばかりであり、当面現行どおりとする。									

事業に対する市民意見等

なし

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位				中位
			低い		改善の余地あり						低い
現状の課題		・文化団体の中心となる団体への組織や事業等における支援のあり方									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		法人としての目的や主体的取組を尊重しつつ、市の文化振興の具体施策への参画や協働での取り組みも協議するとともに、団体運営の支援に努める。									

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号	29 - 5	事業名	地域創造アトリエ事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいききと活動するまち						
	策	4	芸術・文化の振興						
	策 (小)	1	芸術・文化団体の支援や文化交流						
平成24年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作	電話	72-3173	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	板谷 英郁			
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 5 項 4 目)			事業名	地域創造アトリエ事業補助金			
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)								
実施形態	☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他								
根拠法令、条例等									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 14 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	NPO法人アートウォーム	→	対象数 1 団体
		→	対象数 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	教育活動の振興や地域における教育環境の改善、充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	石狩市の芸術文化の発信の場となっている花畔のレンガ倉庫「アートウォーム」を使って芸術文化事業の実施と発表の場を確保しているNPO法人アートウォームに対し、施設維持管理経費の一部を補助する。		
	[実施事業] ・招へい事業 ・施設賃貸事業		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
NPO法人アートウォームから、補助金額の見直しと、突発的な大規模修繕への支援の要望があった。			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			千円				
事業のコスト	事業費	国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	680	680	680	800
		小計(A)	千円	680	680	680	800
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.06	0.02	0.03	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	529	190	285	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	529	190	285	
事業費の用途等	総コスト(A)+(B)		千円	1,209	870	965	
	NPO法人への補助金 680千円						

29 - 5 地域創造アトリエ事業

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	自主事業の実施回数	回	目標値	未設定	未設定	未設定	7
			実績値	2	11	6	
			達成率			#VALUE!	
	開館日数	日	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	246	247	244	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	自主事業への参加者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	128	1,490	776	
			達成率			#VALUE!	
	来館者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	2,018	2,090	2,076	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位			●	中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
		●	中位			●	中位				民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		主催事業の充実や新たな取り組みを進めるなど成果はあるが、さらに活性化を図るためには、運営方法について工夫が必要である。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		広く市民が参画できる仕組みが必要である。									
	[参考] 前年度 2次(部長) 評価	10年を契機に検証のうえで決定するが、現段階の見込みとしては、新たな行政課題にも取り組むなど、活動の見直しも進んでいることから、現行どおりとなる可能性は高い。									

事業に対する市民意見等	
なし	

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己								
市民意見等に対する回答			反映									
			一部反映									
			不採用									
			実施済み									
			参考									
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい	
			中位			●	中位				中位	
		上がっていない			低い		小さい					
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的		優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位					中位
			低い		改善の余地あり						低い	
現状の課題		・芸術文化振興と持続可能な団体、施設運営への支援のあり方										
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止										
		特色ある空間を活かすとともに、創造的な事業を展開することにより石狩の文化の発信の場となるよう、主体的な取組を尊重する現行の支援に努める。										

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号	29 - 9	事業名	いしかり砂丘の風資料館管理運営事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち						
	策	4	芸術・文化の振興						
	策 (小)	3	文化遺産の保存・活用						
平成24年度担当	所管	生涯学習部 文化財課	課長	工藤 義衛	担当	志賀 健司	電話	62-3711	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 文化財課	課長	工藤 義衛	担当	志賀 健司			
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 5 項 10 目)		事業名	資料館管理運営費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)								
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
根拠法令、条例等									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 16 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	いしかり砂丘の風資料館	→	対象数 1館
	石狩市の自然、歴史、文化に興味のある人	→	対象数 不詳
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	石狩市の自然、歴史、文化などを学ぶ機会を提供する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	石狩市唯一の学芸員が常駐する資料館として、管理・運営を行なう。 ・自然、歴史、文化等に関する資料・標本の収集、保管、研究を行なう。 ・資料・標本の展示を行い、市民の利用に供する。 ・自然、歴史、文化等への市民の理解のため、体験講座・野外講座を開催する。 ・年4回、資料館だよりを発行する。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市教育プラン		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
これからの石狩市郷土資料の保存・展示のあり方等について、石狩市文化財保護審議会に諮問中。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	600	459	940	940
		一般財源	千円	3,130	3,667	3,617	3,456
	小計(A)		千円	3,730	4,126	4,557	4,396
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	1.60	1.90	1.00	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	14,101	18,067	9,509	入館料 缶詰製作体験料 講座参加料
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	14,101	18,067	9,509	
	総コスト(A)+(B)		千円	17,831	22,193	14,066	
事業費の 使途等		臨時職員賃金 1,057千円 光熱水費 1,576千円 施設維持関係委託費 486千円 事務機器賃借料 113千円 その他経費 1,325千円					

活動指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	開館日数	日	目標値	310	310	310	310
			実績値	310	310	310	
	目標:事業計画		達成率	100.0	100.0	100.0	
	体験講座開催回数	回	目標値	8	8	8	6
			実績値	8	8	8	
	目標:事業計画		達成率	100.0	100.0	100.0	
	資料館だより発行部数	部	目標値	2000	2000	2000	2,000
			実績値	2065	2100	2219	
	目標:事業計画		達成率	103.3	105.0	111.0	
成果指標	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	入館者数	人	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000
			実績値	3,004	2,473	2,474	
	目標:事業計画		達成率	75.1	61.8	61.9	
	体験講座参加者数	人	目標値	105	105	105	80
			実績値	78	82	104	
	目標:事業計画		達成率	74.3	78.1	99.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)							
有効性	期待する成果	● 上がった	効率性	費用対効果	● 高い	事業実施の意義	● 大きい
		● 中位			中位		中位
	施策への貢献度	● 上がっていない			低い		小さい
		● 中位		事業の実施方法	● 効果的	行政の関与	● 市が実施すべき
		低い			中位		民間等でも実施可能
					改善の余地あり		民間等が実施すべき
現状の課題		活動内容の充実の検討が必要となっている。					
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止					
		自然・歴史などに関する情報発信の強化を行なう。					
	[参考] 前年度 2次(部長)評価	学芸員1名を配置する。					

事業に対する市民意見等	
なし	

部長評価 (2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位				中位
			低い		改善の余地あり					低い	
現状の課題		・今後の石狩市郷土資料の保存・展示のあり方									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		今後の資料館のあり方等について、文化財保護審議会への諮問と併せ、行政内においても具体的な調査研究と方策の検討に努める。									

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号		29 - 10		事業名		厚田資料室管理運営事業					
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち								
	策	4	芸術・文化の振興								
	策 (小)	3	文化遺産の保存・活用								
平成24年度担当		所管	生涯学習部 文化財課	課長	工藤 義衛	担当	志賀 健司	電話	62-3711	内線	
前年度担当		所管	生涯学習部 文化財課	課長	工藤 義衛	担当	志賀 健司				
予算科目		会 計	一般会計 (10 款 5 項 10 目)			事業名		資料館管理運営費			
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等											
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 平成 18 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	厚田資料室	→	対象数 1館
	石狩市の自然、歴史、文化に興味のある人	→	対象数 不詳
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	石狩市の自然、歴史、文化などを学ぶ機会を提供する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	資料室の管理・運営を行なう。 ・歴史、文化、自然等に関する資料の収集、保管を行う。 ・資料の展示を行い、市民の利用に供する。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市教育プラン		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
これからの石狩市郷土資料の保存・展示のあり方等について、石狩市文化財保護審議会に諮問中。			

事業のコスト				単位	H2 1	H2 2	H2 3 (見込)	H2 4 (予算)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円		53	64	66
	小計 (A)			千円	0	53	64	66
	人件費等	正職員従事人数 (担当課)	人	0.20	0.10	0.10	特定財源名及び補助率・充当率	
		正職員 (厚田生涯学習課)	人	0.25	0.25	0.35		
		従事正職員の人件費	千円	3,966	3,328	4,279		
その他間接経費		千円						
小計 (B)		千円	3,966	3,328	4,279			
総コスト (A)+(B)			千円	3,966	3,381	4,343		
事業費の使途等	リーフレット印刷費 53千円							
	その他 (消耗品) 9千円							

29 - 10 厚田資料室管理運営事業

	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	開館日数	日	目標値	157	155	157	157
活動指標	目標:事業計画		実績値	157	155	157	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	入室者数	人	目標値	400	1,000	2,000	2,000
成果指標	目標:事業計画		実績値	381	2,816	2,218	
			達成率	95.3	281.6	110.9	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価 (1次)											
有効性	期待する成果	☐	上がっている	効率性	費用対効果	☒	高い	妥当性	事業実施の意義	☒	大きい
		☒	中位			☐	中位			☐	中位
		☐	上がっていない			☐	低い			☐	小さい
	施策への貢献度	☐	高い		事業の実施方法	☒	効果的		行政の関与	☒	市が実施すべき
		☒	中位			☐	中位			☐	民間等でも実施可能
☐	低い		改善の余地あり		民間等が実施すべき						
現状の課題		施設の老朽化が進んでおり、石狩市の資料館のあり方について検討が必要。									
今後の方向性	事業内容	☐ 拡充 ☐ 手法改善 ☐ 縮小・統合 ☒ 継続・維持 ☐ 休止・廃止									
		・平成22年度にリニューアルオープンしたことから、入館者増を図りながら、地域の情報発信を行う。 ・資料館のあり方について検討する。									
	[参考] 前年度 2次 (部長) 評価	厚田資料室については、この成功を引き続き継続するため、当面現状どおりとする。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価 (2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位				中位
		上がっていない			低い		低い		小さい		
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位				中位
			低い		改善の余地あり					低い	
現状の課題		・今後の石狩市郷土資料の保存・展示のあり方									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		今後の資料館のあり方等について、文化財保護審議会への諮問と併せ、行政内においても具体的な調査研究と方策の検討に努める。									

平成24年度(23年度実施事業) 事業評価シート

整理番号	29 - 11	事業名	はまます郷土資料館管理運営事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち						
	策	4	芸術・文化の振興						
	策 (小)	3	文化遺産の保存・活用						
平成24年度担当	所管	生涯学習部 文化財課	課長	工藤 義衛	担当	志賀 健司	電話	62-3711	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 文化財課	課長	工藤 義衛	担当	志賀 健司			
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 5 項 10 目)		事業名		資料館管理運営費			
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)								
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
根拠法令、条例等									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 18 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	はまます郷土資料館	→	対象数 1館
	石狩市の自然、歴史、文化に興味のある人	→	対象数 不詳
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	石狩市の自然、歴史、文化などを学ぶ機会を提供する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	資料館の管理・運営を行なう ・自然、歴史、文化当に関する資料の収集、保管を行う。 ・資料の展示を行い、市民の利用に供する。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市教育プラン		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
はまます郷土資料館のリニューアルについて、石狩市文化財保護審議会に諮問し、答申を得た。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	390	163	360	360
		一般財源	千円	846	1,118	973	1,894
	小計(A)		千円	1,236	1,281	1,333	2,254
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.10	0.10	0.10	特定財源名及び補助率・充当率 入館料
		正職員(浜益生涯学習課)	人	0.10	0.10	0.10	
		従事正職員の人件費	千円	1,762	1,902	1,902	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	1,762	1,902	1,902	
	総コスト(A)+(B)		千円	2,998	3,183	3,235	
事業費の 用途等		管理人人件費 897千円 光熱水費 60千円 施設維持関係委託費 120千円 その他 256千円					

	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	活動指標	日	目標値	157	157	157	157
	開館日数	日	実績値	157	78	157	
	目標:事業計画		達成率	100.0	49.7	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

	指標名	単位	項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
	成果指標	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
	入館者数	人	実績値	1,402	579	957	
	目標:事業計画		達成率	140.2	57.9	95.7	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)

有効性	期待する成果		● 上がっている	効率性	費用対効果	● 高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい
		● 中位	中位			中位			
			上がっていない			低い			小さい
	施策への貢献度		高い		● 効果的	行政の関与		● 市が実施すべき	
		● 中位	中位		中位			民間等でも実施可能	
		低い	改善の余地あり		民間等が実施すべき				
現状の課題		・引き続き石狩市のニシン漁にまつわる歴史・文化の情報発信を行うとともに、建物の歴史性を活かした手法を検討する。 ・石狩市全体の資料館のあり方について審議会の答申を待って検討する。展示の							
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止							
		・引き続き石狩市のニシン漁にまつわる歴史・文化の情報発信を行うとともに、建物の歴史性を活かした手法を検討する。							
	[参考] 前年度 2次(部長)評価	審議会答申を踏まえ、今後見直しを行う。							

事業に対する市民意見等

なし

部長評価 (2次)		担当部長		百井宏己								
市民意見等に対する回答			反映									
			一部反映									
			不採用									
			実施済み									
			参考									
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい	
		●	中位			●	中位				中位	
		上がっていない			低い		小さい					
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的		優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位					中位
			低い		改善の余地あり						低い	
現状の課題		・資料の整理、保存と公開										
今後の方向性		○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止										
		歴史的施設としての保存と公開を進めるとともに、資料については新たに整理、保存し、魅力ある展示を行なうよう努める。										

点検及び評価に対する学識経験者による意見について

点検及び評価の実施にあたっては、平成23年度の事業等について、その進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取り組みの方向性について、内部評価を行うと同時に、学識経験者の知見活用として、「石狩市教育委員会外部評価委員会」から意見や助言をいただくこととしました。

これにより、点検及び評価の客観性を確保するとともに、いただいた意見等については、今後の施策、事業等の展開に活用していきます。

次の3人の方から意見等をいただきました。

「石狩市教育委員会外部評価委員会委員」

役 職	氏 名	所 属 等
委 員 長	村瀬 千樫	北海道教育大学教員免許状更新講習コーディネーター
副委員長	漆 恵子	石狩ユネスコ協会事務局長
委 員	伊井 義人	藤女子大学人間生活学部人間生活学科 准教授

意見の内容

(1) 教育委員会会議等の活動状況について

開催状況について（回数・案件・審議内容等）
教育委員会会議等の活動は積極的に、また、議論も活発に行われているので評価できる。
今後の会議のあり方について（回数・方式・案件内容等）
いじめ、不登校の状況など、生徒指導にかかわる重要な案件を、きめ細かく取り上げる姿勢は評価できる。今後とも、特に児童生徒の生命・安全にかかわることは、継続的に審議していくことを期待する。

(2) 教育委員会会議以外の主な活動状況について

活動状況について（回数・活動内容等）
石狩市民図書館協議会との意見交換など、関係する審議会などとの密接な連携は、事業を充実させる上で大切なことであり、評価できる。
今後の活動のあり方について（回数・方式・活動内容等）
各種審議会等との幅広い意見交換を行い、地域の教育課題について共有することについては、継続的に行うことを期待する。

(3) 施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性

施策（大項目）1 生きる力につながる確かな学力を育む教育の充実

平成23年度の取組状況について
新学習指導要領の小学校全面実施に対応し、ALTの増員を行い、生きた英語に触れる機会を創出したこと、また、学習支援のモデル事業として、TT指導や習熟度別指導等を

行っていることは、児童生徒の学力向上への取組みとして評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
「確かな学力」の定着に向け、継続して学習指導の工夫改善に努めることを期待する。また、SATの活用、学校図書館との連携、小学校3・4年生への生きた英語教育推進、ICTの推進等により、さまざまな取組みが積極的に行われているが、常にその内容を確認し、よりよい教育へ向けた支援を図ることを期待する。

施策（大項目）2 一人ひとりを大切にした教育活動の充実

平成 23 年度の取組状況について
星置養護学校石狩紅葉山校舎が開設されたことは、子ども達の支援の充実のために重要であり、また、特別支援教育へのニーズ拡大に対し、特別支援教育支援員を増員するなど、積極的かつ適切に対処しており、評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
教職員研修などでの、特別支援教育関連講座の充実を図るとともに、特別支援教育支援員の更なる活用などの取組みの充実を期待する。

施策（大項目）3 独自性が発揮できる魅力ある学校づくりの推進

平成 23 年度の取組状況について
教職員研修に参加した割合が高くなっていること、学校ホームページの開設校が大幅に増加していること、また、学校奨励プログラムへの積極的な取組みは評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
教職員研修は重要なことから、今後とも、ICT研修など、時宜を得た適切な研修を持つことにより、参加率が向上することを期待する。また、学校ホームページについては、今後は、情報の質の一層の向上に取り組まれることを期待する。

施策（大項目）4 学校教育を推進する環境の充実

平成 23 年度の取組状況について
食育については、地域の農水産物活用など他部局等との一定の連携が図られ、評価できる。また、安全な教育環境整備を図り、学校の耐震化が着実に進められていることは評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
児童生徒の安全・安心を最優先する観点から、不審者対応訓練については全校での実施を、防災に関する学習や地域と連携した避難訓練などについては、今後とも継続して取り組むことを期待する。
就学援助・食育の領域は、教育委員会以外の担当部局等との連携が不可欠であることから、これらの部局と一層の連携を図り、これまで以上に効果的に推進されることを期待する。
また、厚田区・浜益区などでは、部活動等のスポーツ機会への配慮も含め、より良好な教育環境づくりへの配慮を期待する。

施策（大項目）5 豊かな人間性と感性を育む教育の推進

平成 23 年度の実施状況について
小・中学校におけるいじめの件数が減少していることは、関係者の努力の結果であり評価できる。 また、情操教育については、積極的かつ細やかに取り組んでおり、評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
中学校における不登校の生徒を減少させるべく、スクールカウンセラーの活用や地域コーディネーターによる活動の活発化を期待する。また、いじめ対策については、今後とも未然防止、早期解決を図ることを期待する。 パートナースクール事業については、都市部・地方部の児童両者にとって有益なことから、ICTを活用した日常的な交流なども期待する。 情操教育については、アートウォーム等の施設を活用し、今後とも、より豊かな感性の醸成を図ることを期待する。

施策（大項目）6 心身の健やかな成長を促す教育の推進

平成 23 年度の実施状況について
外部の指導者を活用し、市のスポーツであるソフトボール等に支援を行ったことは、評価できる。また、薬物乱用防止教室を全中学校で実施したことや、携帯電話教室や非行防止教室などの実施は、生徒の安全・安心を守るための取組みとして評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
今後とも、時代に即応した安全教育のために、専門的知識を持つ機関と密接な連携を図り、各種セミナーや教育支援センターの施策を取り進めることを期待する。 また、望ましい生活習慣の定着に向けて、PTA連合会などと連携した一層の取組みを期待する。

施策（大項目）7 次代を担う子どもたちの健やかな育ちの支援

平成 23 年度の実施状況について
CAPプログラムの全校実施については、評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
CAPプログラムについては、今後は、保護者をはじめ、市民に幅広く知っていただく機会の充実を図ることを期待する。 児童生徒の教育活動の充実を図るSAT活動や読み聞かせ活動、中学校における部活動指導など、地域の教育力を活用した取り組みを今後とも期待する。また、ボランティアは、一定数確保されていることから、今後は、ボランティアの効果を向上させるため、分野によっては、資質向上の研修などについて配慮することを期待する。

施策（大項目）8 地域づくりに活かされる生涯学習環境の充実

平成 23 年度の実施状況について
学び交流センター・公民館・カルチャーセンター等の利用者が増加していること、また、市民カレッジやシニアを対象とした地域ごとの講座の充実、市民の学習活動の充実が感

じられ評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
学び交流センターなどの施設利用者は増加傾向にあるが、地域や地域の生産者等と連携し市民カレッジの充実を図るなど、魅力的な取組みを推進し、生涯学習活動を行う市民の一層の増加を図ることを期待する。また、同センターの入る複合施設については、地域との交流などによる連携を図り、思いやりの実感できる環境づくりの推進を期待する。 ユネスコスクールの認定校指定については、より一層の支援を期待する。

施策（大項目） 9 学習の拠点としての図書館サービスの充実

平成 23 年度の取組状況について
図書館が、魅力的な図書館講座や特別展示などを通し、市民に学習機会を提供することは大切であり評価できる。また、図書館新規登録者が増加したことは、評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
図書館利用者の増加に向けた計画的な取組み、寄贈を含めた地域行政資料の充実や地域行政資料に関するデジタル・アーカイブのいち早い設立を期待する。また、図書館講座や特別展示については、より多く市民が参加できるよう、広報が充実されることを期待する。

施策（大項目） 10 石狩文化の活用による自主的・主体的活動の支援

平成 23 年度の取組状況について
市民の自主的な文化活動や、文化活動へ触れる機会の創出については、非常に多岐に渡っており、市民の生活にうるおいや生きがいを見出すものとして評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
市民文化祭などの地域の文化活動振興については、より多くの市民の参加を図り、効果的に、継続して推進することを期待する。また、文化芸術支援制度については、支援企業の確保を図り、今後とも継続して実施することを期待する。

施策（大項目） 11 ふるさとを学び伝える取組の充実

平成 23 年度の取組状況について
石狩市の文化・伝統については、市内外への情報発信を積極的行ったこと、また、いしかり館ネットワークの構築は、評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
石狩市の文化・伝統については、今後、大学を含めた教育機関との連携した取り組みや、歴史のある石狩川・地域に根付いた郷土芸能などをクローズアップし、より地域性を出した取組みを行うことや、いしかり館ネットワークを推進し、参加者数の増加を図ることを期待する。 また、防災に役立つ過去の災害資料などのふるさとを学ぶ資料の充実を図り、無形文化財の調査等も推進するなど、今後とも文化財の活用や保護に力を入れることを期待する。

資 料

資料1

教育委員会委員名簿

(平成23年度末現在)

職 名	ふりがな 氏 名	就任年月日 (任期の満了日)	職業
委員長	なかむら てるお 中 村 照 男	平成20年10月20日 (平成24年10月19日)	団 体 役 員
委 員 (委員長職務代理者)	いとう よしみ 伊 藤 好 美	平成20年10月20日 (平成24年10月19日)	会 社 員
委 員	どい くみこ 土 井 久美子	平成21年10月 6日 (平成25年10月 5日)	無 職
委 員	もん ま ふじこ 門 馬 富士子	平成22年12月25日 (平成26年12月24日)	無 職
教育長	ひぐち ゆきひろ 樋 口 幸 廣	平成21年 6月 1日 (平成24年10月11日)	

資料2

石狩市教育委員会外部評価委員会設置要綱

(目 的)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第2項に基づき、石狩市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する、事務・事業の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行うにあたり、教育に関し学識経験を有するものの知見の活用を図るために設置する外部評価委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 教育委員会が実施する事務、事業の点検・評価。
- (2) その他、委員会が必要を認める事項。

(組 織)

第3条 委員会は、委員3人以内で組織する。

- 2 委員は、教育に関し学識経験を有する者の内から教育長が委嘱する。この場合において、教育長が必要と認めるときは、公募による者を含むことができる。
- 3 委員の任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 委員に欠員が生じた場合における補欠欠員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選によりこれを定める。
- 3 副委員長は、委員の内から委員長が指名する者をもって充てる。
- 4 委員長は、委員会を代表し会務を総理する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会 議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員会は、必要があると認めるときは、会議の委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。
- 5 委員会の会議は原則公開できるものとする。ただし、公開することが相当でないと委員会が認めるときはこの限りでない。

(庶 務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会事務局において行う。

(委 任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成21年5月29日から施行する。

石狩市教育委員会の点検・評価報告書（平成23年度分）原案の一部修正について（案）

【修正箇所】

原案116ページについて、下記のとおり修正する。

記

施策（大項目）8 地域づくりに活かされる生涯学習環境の充実

平成23年度の取組状況について
学び交流センター・公民館・カルチャーセンター等の利用者が増加していること、また、市民カレッジやシニアを対象とした地域ごとの講座の充実は、市民の学習活動の充実が感じられ評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
学び交流センターなどの施設利用者は増加傾向にあるが、地域や地域の生産者等と連携し市民カレッジの充実を図るなど、 <u>引き続き魅力的な取組みを推進し、生涯学習活動を行う市民の一層の増加を図ることを期待する。</u> また、同センターは、 <u>地域との交流などの連携を図り、複合施設としてのメリットが一層活かされるよう期待する。</u> ユネスコスクールの認定校指定については、より一層の支援を期待する。

※修正箇所は下線部分

<報告事項 1>

平成 25 年石狩市成人式の開催について

1. 趣旨

成人としての節目を迎える市民の前途を祝福するとともに、将来の社会を支える一員としての責任を自覚する機会とし、厳粛で温かみのある式典とする。

2. 主催 石狩市・石狩市教育委員会

3. 期日 平成 25 年 1 月 14 日（月・祝）

4. 会場 花川北コミュニティセンター（花川北 3 条 2 丁目 198 番地）

5. 対象者数 557 名（男 287 名、女 270 名）

※平成 4 年 4 月 2 日～平成 5 年 4 月 1 日生まれの市内在住者
（平成 24 年 11 月 1 日現在の住民基本台帳登録データの数値）

6. 日程

13:00	新成人受付、ホール開場
13:55	オリエンテーション
14:00	オープニング演奏、開式のことば 主催者挨拶 来賓祝辞、祝電披露 恩師からのビデオレター ※平成 19 年度の各中学校 3 年担任が出演 成人の誓い
14:44	閉式の言葉
15:05	記念写真撮影

【新】地域の人からの祝福メッセージ

（参考）過去 5 ヵ年の出席者数の推移

平成 20 年	出席者数	457 名	（対象者数	651 名	参加率	70.2%）
平成 21 年	〃	433 名	（	〃 582 名	〃	74.7%）
平成 22 年	〃	449 名	（	〃 563 名	〃	79.7%）
平成 23 年	〃	359 名	（	〃 522 名	〃	68.8%）
平成 24 年	〃	404 名	（	〃 552 名	〃	73.1%）

<報告事項2>

第57回石狩市民文化祭の実施状況について

- 1 主催 石狩市、石狩市教育委員会、NPO法人石狩市文化協会
- 2 主管 石狩市民文化祭実行委員会
- 3 開催状況

市民発表部門

(展示部門)

- ・日時 平成24年10月19日(金)～21日(日) 10:00～17:00
(※21日は10:00～15:00)
- ・会場 花川南コミュニティセンター
- ・参加数 53団体個人・521名 (前年度 57団体個人・518名)
- ・アトラクション 手工芸・生け花の体験コーナー、お茶席・手打ちそばの実演
- ・来場者数 ・1階アリーナ 1,987名 (前年度 1,969名)
【絵画、写真、書道、文芸、手工芸など】
・うち2階多目的ホール 1,243名 (前年度 1,042名) 【陶芸】

(舞台部門)

- ・日時 平成24年10月20日(土) 13:30～16:00
同 21日(日) 11:00～16:30
- ・会場 花川北コミュニティセンター 1階ホール
- ・参加数 27団体個人・238名 (前年度 31団体個人・280名)
【日本舞踊、伝承芸能(詩吟、詩舞、三味線、琴、雅楽など)、
洋舞洋楽(フラダンス、バレエ、バトントワリング、歌演奏など)】
- ・アトラクション お楽しみ抽選会、出店販売
- ・来場者数 861名 (前年度 1,264名)

厚田・浜益会場

厚田会場(厚田生涯学習フェスティバル)

- ・日時 平成24年11月11日(日) 9:00～14:00
- ・会場 厚田総合センター
- ・参加数 ・舞台:10団体・115名 (前年度 8団体・107名)
【厚田区小学校音楽のつどい(3小学校児童による合唱・器楽演奏など)、
サークル発表(和太鼓、オカリナ、紙芝居、詩吟・剣詩舞など)】
・展示:14団体個人・121作品 (前年度 15団体・134作品)
【厚田区小・中学生の作品展示(絵画・書道、壁新聞など)、
サークル発表(手芸、絵画、書道など)】
- ・アトラクション 樽川中学校吹奏楽部演奏、厚田区女性団体協議会による出店バザー
- ・来場者数 270名 (前年度 290名)

浜益会場

- ・日時 平成24年11月4日(日) 9:30～15:30
- ・会場 浜益コミュニティセンター(きらり)
- ・参加数 ・舞台:10団体個人・84名 (前年度 9団体・103名)
【太鼓、カラオケ、舞踊、詩吟、浜益小劇場など】
・展示:12団体個人・100名 (前年度 9団体・76名)
【写真、ステンドグラス、手工芸、デイサービス・保育園・中高生の展示など】
- ・アトラクション 茶道愛好会のお茶席コーナー、浜益青年会による軽食バザー、
手工芸・生け花の体験コーナー
- ・来場者数 300名 (前年度 290名)

クリスマスコンサート2012

※ 協賛 石狩ライオンズクラブ

- ・日時 平成24年12月15日（土） 13：00～15：30（予定）
- ・会場 花川北コミュニティセンター 1階ホール
- ・出演予定団体 石狩エンジェル・クレア少年少女合唱団
南線小学校リコーダークラブ
花川中学校吹奏楽部
花川南中学校吹奏楽部
花川北中学校吹奏楽部
樽川中学校吹奏楽部
石狩南高等学校吹奏楽部
石狩翔陽高等学校吹奏楽局

※吹奏楽部による合同演奏も予定

共催・協賛事業

※会場：花川北コミュニティセンター

第25回いしかり菊花展 平成24年11月1日（木）～3日（土・祝）

出展数 約700鉢、来場者数 1,236名

第15回オータムコンサート 平成24年10月6日（土） 来場者数 167名

< 報告事項 3 >

第 13 回 石狩市民図書館まつりの開催結果について

- 1 期 日 平成 24 年 10 月 27 日（土）／28 日（日）
- 2 会 場 石狩市民図書館（本館）
- 3 入館者数 4,709 人（27 日 2,474 人／28 日 2,235 人） 昨年度は 4,912 人
- 4 内容と参加者数

10 月 27 日	内容	参加者数
9:50～10:00	オープニングセレモニー（1 日図書館長任命式）	65 人
10:15～11:30	調べる学習コンクール～表彰式～	80 人
10:15～11:00	おはなし会（おはなし会 びっくりばこ）	43（大人 14、子ども 29）人
11:30～12:15	マジックショー（北大奇術研究会）	133（大人 54、子ども 79）人
12:15～12:45	おはなし会（サラ&ラルエケ&リア&ローラ）	47（大人 18、子ども 29）人
13:00～13:45	講演会（円山動物園の見どころ）	45（大人 18、子ども 27）人
13:45～14:30	おはなし会（石狩市文庫連絡会）	53（大人 19、子ども 34）人
14:30～15:15	DVD 上映会（フロアボランティア）「フランダースのいぬ」ほか	67（大人 26、子ども 41）人
15:30～16:15	朗読とピアノ「ことば・おと・平和」 朗読：駒井秀子さん / ピアノ：谷百合子さん	58（大人 49、子ども 9）人
10:00～15:00	図書館クイズ・スタンプラリー	155 人
13:00～17:00	電子書籍体験コーナー ※当初予定より早い時間（11 時頃）から実施	80（大人 60、子ども 20）人
10 月 28 日	内容	参加者数
9:50～10:00	開始式（1 日図書館長任命式）	60 人
10:15～11:00	人形劇（やまちゃん はまちゃん おはなしのはこ）	96（大人 40、子ども 56）人
11:15～12:00	おはなし会（厚田童話を読む会：お日さまの会）	43（大人 17、子ども 26）人
12:15～12:45	おはなし会（藤女子大学 サークル ばる～ん）	57（大人 25、子ども 32）人
13:00～13:45	マジックショーと沖縄の三線演奏 マジック：塚田崇さん / 三線：磯木一範さん	143（大人 65、子ども 78）人
13:45～14:30	おはなし会（よみきかせ 子っ子の会）	40（大人 13、子ども 27）人
14:40～15:40	あんどおばさんと日本語であそぼ 元 HBC アナウンサー：安藤千鶴子さん	36（大人 23、子ども 13）人
16:00～16:30	トーンチャイム演奏（藤女子大学 サークル ばる～ん）	55 人
10:00～15:00	図書館クイズ・スタンプラリー	103 人
10:00～17:00	電子書籍体験コーナー	75（大人 58、子ども 17）人
両日開催	内容	参加者数
10:00～17:00	展示「安政五年の石狩改革以降の不振が続く石狩場所の再興を願う明治期の文書を読む」 （村山家文書を読む会）	—
	本の特集「みんなでいこうよ 図書館どうぶつえん」	—
	むかしあそびコーナー（伝承あそびボランティアおてだま）	—
10:00～15:00	布の絵本とおもちゃであそぼう！ （ボランティアサークル布の絵本にじ）	—
	軽食コーナー（石狩市食生活改善推進協議会）	—
	乳幼児休憩室（ブックスタートボランティア）	45（大人 14、子ども 31）人

< 報告事項 3 >

＜報告事項 4＞

平成 24 年度 蔵書点検結果について

(1) 実施日 平成 24 年 8 月 27 日（月）～ 8 月 30 日（木） 4 日間

(2) 不明点数

所蔵館	平成 24 年度			平成 23 年度			増減 (点数)
	点検対象点数	不明点数	不明率	点検対象点数	不明点数	不明率	
本館	252,331	140	0.06%	242,773	108	0.04%	32
花川南分館	9,610	1	0.01%	9,633	13	0.13%	▲12
八幡分館	5,604	5	0.09%	6,196	2	0.03%	3
厚田分館	6,750	7	0.10%	4,914	0	0.00%	7
浜益分館	8,485	0	0.00%	8,359	4	0.05%	▲4
合計	282,780	153	0.05%	271,875	127	0.05%	26

(3) 過去 2 年間の不明資料追跡調査

	平成 23 年度	平成 22 年度
蔵書点検時の不明点数	127	128
返却及び判明した点数	48	57
調査後の不明点数	79	71

＜報告事項 5＞

平成24年度「いじめ根絶！メッセージコンクール」管内表彰について

1. 目的

青少年から、いじめやネットトラブルの根絶に関わるメッセージを募集し、いじめ根絶等に向けた啓発活動等に活用することにより、いじめ・ネット上のいじめ、インターネット上の有害情報による被害などのトラブルから青少年を守るための社会全体の意識の醸成を図る。

2. 主 催

北海道いじめ・不登校等対策本部、札幌市「ケータイ・ネット」セーフティ推進協議会

3. 主管

石狩管内いじめ・不登校等対策本部

4. 对 象

石狩管内の青少年（国・公・私立小・中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の児童生徒等）

5. メッセージの部門

- (1) 標語部門（おおよそ 20 字以内）
・ 小学校の部 ・ 中学校の部 ・ 高等学校の部
- (2) ポスター部門（B3 版または、四つ切りの用紙）
・ 小学校の部 ・ 中学校の部 ・ 高等学校の部

6. 応募数

- ・標語部門 3,757 作品（小：2,162 作品、中：1,314 作品、高：281 作品）
- ・ポスター部門 69 作品（小：32 作品、中：4 作品、高：33 作品）

7. 石狩市の受賞者及び作品

- (1) 標語部門
- ・ 小学校の部：教育局長賞（最優秀作品）・・・花川南小6年 中井 朱花（なかい しゅか）
作 品 「そのいじめ 自分も人も 傷つける」
 - ・ 小学校の部：奨励賞（佳作）・・・花川南小6年 松尾 彩加（まつお あやか）
作 品 「悪口を 言われた気持ちを 考えて」
 - ・ 中学校の部：奨励賞（佳作）・・・花川北中2年 一谷 優美花（いちたに ゆみか）
作 品 「やめようよ そのひとことで 変わる未来」
- (2) ポスター部門
- ・ 小学校の部：奨励賞（佳作）・・・南線小4年 村上 智彩（むらかみ ちさ）
 - ・ 小学校の部：奨励賞（佳作）・・・望来小4年 向井 優太（むかい ゆうた）